

# 激江

DENKO



'93

大阪経済大学同窓会

# 平成5年度 大阪経済大学同窓会総会

11月3日(文化の日)50周年記念館

▼吹奏楽総部による賛助出演



▲岩谷専務理事の祝辞

▼グリークラブによる逍遥歌斉唱



▼続々と参加者が来場



▲万歳三唱



▲磯野同窓会会長あいさつ

▼パーティーでの歓談の一コマ



▲坪内前岐阜支部長へ感謝状贈呈



▲小野愛媛支部長による目録贈呈  
(支部創立10周年植樹目録)



▼松本前和歌山支部長へ感謝状贈呈



▲近藤寮友会代表による目録贈呈  
(寮のモニュメント)

◆お知らせ——事務局……………	75
◆北から南から……………	68
◆OBネットワーク……………	65
◆支部だより……………	56
◆ゼミ短信・先生の近況……………	46
◆キャンパスライフ……………	32
◆学園ニュース……………	20
◆特集 座談会……………	19
◆グラビア……………	14
◆同窓会総会……………	3
◆寮記念碑除幕式……………	2

## 表紙油彩紹介



## 西丸 全一(にしまる・ぜんいち)



1929年5月28日、大阪市平野区に生まれる。1947年に大阪府立生野中学校(旧制)を卒業。1952年に大阪経済大学経済学部卒業、翌年、大信紡績(株)に入社。同時に愛知県半田市に居を移す。1964年に大信紡績の職域生協・大信生活協同組合に常務理事として出向するが、1974年、大信紡績、大信生活協同組合の解散により退職。翌年、愛知中央生活協同組合の理事に就任し、1977年には同組合の理事長に就任。併せて、1972年より1977年までの間、愛知県生活協同組合連合会の理事、監事を歴任する。1991年、全職を退任し、現在に至る。中学時代より絵をはじめ、社会人となつても職務の合間を縫ってアマチュアとして創作活動を続けていた。現在は、絵を楽しむアマチュアのための全国的な会の「チャール会」の仲間であり、また「チャール会半田」の幹事長に就いている。

## 「澱江」の由来

初代校長・黒正巖博士が作詞された旧制・昭和高商の校歌(現在の学園歌)の歌詞「商都の東北澱江に臨みて高くそそり立つ 我等が昭和学園は…」から引用された言葉です。ちなみに岩波漢語辞典によれば、【澱江】大阪の淀川。澱水(でんすい)、澱河(でんが)。「淀」は「澱(でん)」に通ずる。と記載されています。

題字:渡辺達好名誉会長

特集

座談会



平成5年9月2日 レストラン・パレス

心のふるさと、我が母校

# スポーツ監督者の集い

現世の利害を越えた心の故郷  
立ち戻って英気を養う心の基地  
貴重な青春時代の思い出の場  
人生の師や友人との出会いの場

## 出席者

- |            |                 |
|------------|-----------------|
| 八木田 恭輔     | 本学教授、学生部長、陸上部監督 |
| 牧田 安夫 (19) | 準硬式野球部監督        |
| 仲川 雅俊 (30) | 硬式野球部監督         |
| 野路 晋 (30)  | サッカー部監督         |
| 上野 洋一 (32) | ハンドボール部監督       |
| 西岡 保 (32)  | ラグビー部監督         |
| オブザーバー     |                 |
| 磯野 斉 (3)   | 同窓会会長           |
| 松本 義和 (18) | 同窓会副会長          |
| 陰下 嘉典 (16) | 同窓会事務局長         |
| 前田 悦子 (13) | 同窓会常任理事         |
| 司会         |                 |
| 波根 伸俊 (32) | 同窓会広報部長、本学学事課   |



▲在りし日の学生寮



▲寮生たちの  
閉寮パーティー



▲モニュメント「臥竜点晴之地」

臥竜点晴之地とは、この地で寝食を共にし、友愛と研鑽を重ねた寮友が、やがて大空に飛翔し活動を開始する思いの出発点の意。  
この石碑は、昭和三六年から平成二年の三十年間に大阪経済大学学生寮で育った二、六三名の寮友会会員有志が、寮を記念し建立した。  
平成五年十一月三日

モニュメント趣意▶



▲除幕されたモニュメント



▲除幕。緊張の一瞬



▲なごやかなパーティー



▲モニュメントを囲んで

寮のモニュメント

## 『臥竜点晴之地』建立

江口の学生寮は92(平成4)年夏、その使命を終えて撤去されました。昭和36年以降30年間、寮友の育ったなつかしい寮跡地に、OBの心意気を示すものとして、このたび、寮友会記念事業発起人会(代表11近藤哲夫)募金による記念碑が建立されました。

碑文	『臥竜点晴之地』井手口茂美氏揮毫
材質	中国産御影石
除幕	平成5年11月3日(総会当日)

司会 本日は、ご多忙のところ同窓会誌『瀨江』の特集座談会にお集りいただき、ありがとうございます。

特集座談会「心のふるさと、我が母校」シリーズも、今年で5回目。そこで今回は、日頃ご苦労の多いスポーツクラブの監督に、クラブの近況報告や監督としての苦労や喜びなどをお話しただきたいと思います。

それではまず、自己紹介を兼ねて、クラブの近況をお話していただきましょう。まずは、硬式野球部監督の仲川さんから――

クラブの監督仲間

仲川 今は、この9月4日から始まる秋のリーグ戦に向けて練習に打ち込んでいます。

2年前に、この大会で優勝したときの余韻が選手たちにまだ残っているようですが、ただ4回生のほとんどは、卒業を控えて春には引退しています。リーグ戦などで授業を抜けたりしてきたので、そのツケが4回生になって回ってきているんですね。

それで今日は、大学スポーツについていろいろと相談していきたくと思っています。司会 野球部は、神宮球場での全国大会に3回出場しましたよね。なかにはプロで活躍している方たちもいるので、後ほどいろいろとお話をお願いします。

では、牧田さんの準硬式野球部の方はいかがでしょうか。

牧田 今年は春のリーグで、38回目の優勝を果たしました。昭和25年の秋からリーグが始まったので、今年で43年目。シーズンで言えばこの春、86シーズン目を迎えました。そのうち38回優勝ということは、4割4分という優勝率です。

私自身、このリーグ優勝をステップに、今年の全国大会で優勝をおさめ、それを機に引退しようと思っていました。が、全国大会では初戦敗退。試合当日は、学生部長さんにもわざわざ応援に来ていただいたんですが、私は試合当日ベンチに入っていませんでした。というのも、毎年この時期は業務で北京に発ちます。その出発が、ちょうど試合当日になってしまったのです。前の試合などを見て、アドバイスはいろいろしておいたんですが、敗因は監督の私がベンチに入っていなかったからだと思っています。

北京でその報告を聞いて、非常に残念な思いをしました。今秋のリーグ戦も、昨日までに1回戦、2回戦と勝ちました。しかし、今年は、昨年のチームに比べて、投手力がどうかと心配です。秋はともかくとして、来春には昨年並みになると思っています。司会 では次に、サッカー部監督の野路さんをお願いします。

野路 サッカー部も硬式野球部と同様、卒業・就職の関係で、4回生の一部に春の段階で休職の関わりがあります。関西には1部が12校、2部が43校ある、なかなかの強豪揃い。今年4月の関西選手権で、かろうじて1部に残ることができた状況です。それから、8月31日に全日本大学駅伝の予選があったんですが、2分49秒差で関西大学に敗れたため、今年の全国大会出場は不可能になってしまいました。

とにかく部員たちも、夏を徹して練習に頑張っているものの、他校の方がより優秀な選手が揃っている状況。陸上部としては、だんだんと取り残されていくような気がして、残念でなりません。

プロ・社会人を送り出す

司会 現在、体育会系クラブは、全部で33ほどあります。成績を維持・向上させるために、大変苦労をすることもあるだろうし、他の人には分からない喜び、やりがいもあると思います。そういった苦労や喜び、また現在プロ・社会人として活躍している卒業生について、お伺いしたいと思います。

仲川 横浜ベイスターズで活躍中の有働の場合、体は大きいんですけど、力自体は未熟だった。しかし、彼のこれからの可能性に賭けたんです。ピッチャーの場合は、実際にキャッチャーを座らせて、50球ほど投げさせるんですが、

部者ができます。そのため、春から秋にかけては3回生以下のチーム構成で頑張っています。成績についてもここ3年間は、1部、2部を繰り返す苦しい状態です。諸先輩方が築かれた歴史・伝統を再度勉強し直さなければならぬと思っています。

今年からJリーグも始まったことだし、プロを目指す選手も出てくると思います。しかし当面の目標は1部定着です。去年の秋に1部に上がったものの、この春は7位。入れ替え戦にも敗れ、この秋は再び2部でやらなければなりません。

まあ、選手は順調に育ってきているので、この9月19日から始まる秋のリーグ戦では、1部再復帰に向けて努力します。

司会 西岡さん、ラグビー部はどうですか。西岡 ええ、8月31日に菅平から帰ってきました。で、9月中旬頃の調整合宿を見てから作戦を立てようと思っています。

ラグビー部もここ数年、低迷しているんですが、一昨年、去年とやっと入れ替え戦をせずに1部で過ごせました。

うちの選手は、決してトップクラスとはいえないんですが、まじめに頑張ってくれて、関西Aリーグの座を、同志社大学に次いで3年以上も守り続けています。この伝統を守っていきたくと思っていますが、実際にはなかなか難しいですね。去年は、シーズンのはじめにキャプテンが



仲川 雅俊 なかがわ まさとし

昭和39年卒業。硬式野球部監督。昭和58年に監督就任以来、現在までにリーグ優勝5回、明治神宮大会にも出場。兵庫県神戸市在住。

彼の場合、そのうちの2球がグツとくるものがあったんです。それで、すごく思案しました。他にピッチャーがいらないこともあったし、これは本人にもよく言ってるんですが、その2球で取ったようなものなんです。

それから、高校の監督や両親にも会い、オフのときにずっと練習をさせたわけです。そのせいか、キャンプではかなりの力をつけてくれましたね。たまたま使ったのが、いい形で発揮され6勝したんですよ。

スポーツ推薦を決めてから、個人的にかなりやっていたようだし、その辺が春にいい成績となって出てきたんでしょうね。

八木田 そうですね。私も有働が1年に入ったときから陸上のなアドバイスをしていました。とにかく彼の場合は、腰が弱かったんです。仲川さんから話があったように、春の間、

怪我をしましたし、そして今年も期待している選手の一人が骨折に見舞われました。去年同様、非常に苦しい状況です。やはり強い学校とうちの差というのは、選手層の薄さでしょうね。他の学校なら、一人ひとりの実力にムラがないでしょうが、うちの場合は、差がありすぎるんです。司会 ラグビー部はそんな中で大活躍の歴史があるんですが、上野さん、ハンドボール部もかなりの上昇チームみたいですね。上野 今年はずでに関西春季リーグ、新人戦、西日本と大会が三つありました。残念ながら関西リーグでは3位。ここ最近にはない成績の悪さだったんです。しかし、新人戦は今年から新方式が採用され、3回生以下が出場メンバーに。その第1回大会で優勝することができました。

西日本大会については、8月13日に福岡で行われたんですが、残念ながらベスト8までという結果に終わりました。現在の主力選手が2回生なので、今後が十分に期待できると思います。

司会 では、大学の学生部長で全クラブの面倒を見ながら、陸上部の監督をされている八木田教授をお願いします。

八木田 今年の5月から、学生部長という大役を仰せつかり、およそ半年が過ぎました。今日は、学生部長として監督方の意見を伺い、改善すべき点は改善していくつもりで、また陸上部監督としても出席しました。

陸上部は、1部で15年間頑張ってきました。

ずつと走らせていたんですよ。でも神港高校のときは、そんなに苦勞はしなかったみたいですね。自分で、「こうしたらいい」と悟ってしまいうようで、夏も多少宿題を出してやっただけです。個人個人の努力にもよりますが、ちよつとしたアドバイスが本人の成績に影響するんですよ。

彼の場合は、うさぎ飛びをしたり、腕立て伏せや腹筋をしたりと、一所懸命なんです。スピードと腰のねばりがないんですよ。だから私も「腰を強くしないといけないから、ダッシュをしない」と、グラウンドの南側で、うちの選手たちと一緒に走らせたりしてたんです。彼はそういうことに非常に素直で、「こんなことをしても」と疑わずに取り組んでいたので、今思えば良かったんじゃないでしょうか。

司会 有働は確か、ドラフト3位でした。しかも1年目、2年目も活躍しましたね。八木田 ええ、仲川監督の指導もありましたけど、本人も非常に忠実だし、一所懸命やってきました。プロに入ってから2回ほど電話をしたのですが、「厳しい、5割減った」と言っていました。なかなかの努力家ですよ。私は、試合についてはほとんど分らないんですが、グラウンド練習ではうちの部屋にきたり、トレーニング場に来てたりしてました。彼とは親しくしてましたから、よく私のところに来てましたよ。だから、今では、親のよう嬉しい気持ちになります。

仲川 けど、このところ調子が悪くてね。んです。ですから、これからのいい選手を集めていくには、非常に難しい状況になってきています。こういう点で、他大学の監督方もかなりの苦勞があるんじゃないかなと思うんですが。司会 牧田さんは野球だけでなく、生活面や就職など、いろいろと選手たちを見ていますが、その辺をどうお考えですか。

社会人・実業団への道

牧田 大学スポーツとして、OBの方々から期待されているのは分かりますが、今日出席の監督さんが率いるスポーツと私が率いる準硬式野球は、全く違うと思うんですよ。言わば、大学スポーツにおけるメジャーとマイナーの違いでしょうね。

ただ、誤解してほしくないのは、うちの選手は決してマイナーじゃないんです。ほとんどが高校時代に硬式をやってきた選手なんです。技術的にも十分に評価をしています。が、大学スポーツとしては、そういうふうに見てもええないんですよ。

準硬式野球の場合は、大学発足と同時に創部したので、単なるスポーツでは区切れない、大学スポーツの位置づけがあると思うんです。当部はそもそも高校時代に硬式をしていて、大学でもやりたいけれど、いろいろな事情で

技術的なことでなく、「精神面で何かあったんじゃないかな」と心配なんです。八木田 彼の場合、ふてぶてしさが感じられるところがありますからね。でも本当は、そんなことないんですよ。モノの言い方がそう取られがちなので、おそらく今はそこが表に出すぎているだけじゃないですか。

司会 夏に弱いかじゃなくて？  
牧田 全国大会の試合を見せてもらったけど、コントロールはとも良かったですよ。司会 そういえば、在学中は社会人と一緒にかなり練習もしていたようですよ。仲川 やはり、性格ですね。性格のいい選手は大成しますよ。

司会 成功といえは、Jリーグも、長谷川と土田が活躍してますね。  
野路 ええ、鹿島アントラーズで長谷川、浦和レッズで土田、そして広島サンフレッチェで高橋が活躍しています。コーチでも、鹿島アントラーズに里内、横浜フリューゲルスに木村が行っています。  
先日、広島遠征に行ったとき、高橋に会ったんですが、彼はもう選手としてはピークなんですよ。で、向こうの総監督に聞いたら、「まだ27、28歳ぐらいの体を持つてる」と。やはりプロに入ってから、生活もかかっているわけですし、練習が終わった後でも、人一倍頑張っているらしいんです。  
長谷川の場合は大学の3年間、得点王として活躍していました。が、彼の場合、本当は自分でプレーを組み立てるタイプじゃなく、

できないという学生たちの野球への思いを果たすために発足したもので、格好よく言えば、「学問とスポーツの両立」を満足させられればいいという考えでした。



牧田 安夫 まきた やすお

昭和28年卒業。準硬式野球部監督。全国の地方自治体研修所などで講義・講演活動を行う傍ら、東京都日中友好協会副理事長も務める。埼玉県新座市在住。

また、ある意味では、選手が社会に出たとき「野球」というチームプレーをしてきたことで、タメになることがあったり、何か得るものがあると思うんです。

そういったことを狙いにしたクラブでもあつたし、世間一般からマイナースポーツと思われているだけに、優秀な成績を残しても新聞記事に載るような活躍ではありません。しかし、大学スポーツの中にこういう部が一つぐらいあつてもいいんじゃないかと思つています。硬式野球にしても、サッカー、ラグビー、ハンドボールにしても、戦後再発足した当時

使われるタイプなんですよ。周りにジーコやアルシンドといった有力選手がいるんで、うまく生かされているんじゃないでしょうか。残念なのが、土田。半月板をやつて、後期は全然出られないんですよ。早く完全復帰してほしいです。元日本代表ですから。5月15日からJリーグが始まって、経大から選手が3人、コーチが2人活躍しているのは非常に嬉しい限りです。



野路 晋 のじ すすむ

昭和39年卒業。サッカー一部監督。昭和55年から9年間のコーチを経て、監督になる。関西サッカー協会理事・関西学生サッカー連盟理事。大阪府豊中市在住。

けど、仲川さんが言われてたように、ここからの大学スポーツについては、ご相談したいことがいろいろとあるんですよ。とくにサッカーは、プロができたこともあつて見直されてきています。でも、いい高校選手はすぐJリーグへ行ってしまう。Jリーグにはファームがあるから、そこで18歳ぐらいから何年間か養成されて、トップを目指していく

した。他の部の試合があるといえは、自身の試合や練習がない限り応援に行きました。そういう応援者しかいなかった時代から見ても、みんなの努力によって優秀な戦績を挙げ、今は多くの応援があることは嬉しい限りです。が、私にとっては社会に出ていった準硬式の部員たちが、社会人として組織の中で喜ばれ、活躍していることがいちばん嬉しいことです。司会 そうですね。バルセロナオリンピックに向けてハンドボールの日本代表チーム監督をした津川さんなど、たくさんの人が社会人として活躍していますが、何かエピソードとかありませんか、上野さん。  
上野 監督を引き受けて13年になるんですが、当初は1部の最下位をうろうろしてたんですよ。それが最近はずいぶん強くなり、名前が出てきた。すると、自然に優秀な選手が集まるようになりましたね。

監督になつた当初は、なかなかいい選手が集まらなかったんですが、最近では高校のナンバー1選手も入ってくるようになったんです。そういう点では、非常に恵まれていると思つていますね。

うちの部は実業団に入る人間が少ないんですよ。2年前に卒業した広瀬も、187センチぐらいあつてかなり大きく、パワーもあつたのに、全日本に選ばれても合宿に行かないんですよ。で、理由を聞いてみると「4年間ハンドボールをしたら、就職する」と。とりあえず実業団に行け。全日本に入れ。オリンピックに行く」と勧めたんですが、嫌う人間も

いるんですね。反対に、去年卒業して本田技研に入ったのが2人います。これから活躍してくれるのが楽しみです。それで名前が出てくれば、またいい選手が集まるようになりますからね。

ハンドボールも比較的、マイナーなスポーツだけに、当初は部員が集まらないとかで苦労もしたし、誰も相手にしてくれなかった。それが今でこそ、向こうから「取ってください」とお願いに来るぐらいですから、本当に今が幸せな時期なんですよ。

それにもっと強くなれば、西日本や全国大会にどんどん出られる。それで、今まで行きたくても行けなかった大会に出場できたり、あつたことのないチームと対戦できたり、非常に面白いですよ。強くなっているところに行くようになれば、こんなことも夢じゃないんです。もちろん、選手たちの頑張りが大きいんですが、だんだんと実現されてきているのはとても嬉しいですね。

司会 ハンドボールと同じように、陸上部も実業団という形になるんですね。短距離など、いろいろな選手がいたと思うんですが……  
八木田 そうですね、先程から話があるように、選手が全国で活躍するのが、いちばんの喜びであり、楽しみです。

陸上競技は卒業してからは、かなりの努力が必要なんです。優秀な選手はたくさんいるんですが、年齢的なこともあり、各企業に入ってから競技をやめざるを得ない状態になってしまうんですね。

れずに済むとか、ルールや規則で締めつけられない……というイメージも強いです。ですから、在学生を探せば、優秀な選手はたくさんいます。陸上だけでも、30人が40人ぐらいいるんです。が、いくら勧誘してもバスケやテニスの同好会に行ってしまう。サッカーだけでも三つありますし、結局は「きつい」というイメージのクラブでなく、同好会の方に散らばるんですね。

それをどうしたらやる気になるのか、を考えていかなければ、大学スポーツは、だんだんと廃れていくんじゃないでしょうか。

今年、高校のインターハイに行ってきたが、いろいろな選手に聞いてみると、全員が総合大学志向なんです。関西で出てくるのは龍谷や関西大学、同志社、立命館などばかりで、単科大学の名前は全然出ないんです。帰ってから現役に聞いてみると「名前が格好いいから」と。どうせやるなら、総合大学で」という志向が高いらしいんです。単科大学でも、優秀な大学はたくさんあるのにな。それからサッカーについては、野路さんが言うように、Jリーグを夢見ている高校生が多いんですよ。おそらく大学サッカーのレベルでは、プロへのステップにならないと、考えられているんじゃないですか。

こういった高校生や大学生の志向を踏まえた上で、どうやって現役選手を掌握するか、またどうやってレベルアップするかを考えると、大学スポーツは遊びになってしまいがちです。遊ばせていては勝てませんし、勝てな

今年、住友銀行に入った乗松も、あちこちから声がかかった優秀な選手だったんですが、本人は「将来のことを考えて、どうしても住友に行きたい」という希望があつて住友銀行に行き、今では銀行業務に専念しています。だから現在、社会に出て陸上を続けているのは、NTTの松本ぐらいなんです。実業団として活躍する選手は、ほぼゼロに近い状態です。

ただ、今年は全日本駅伝の予選に敗れましたが、選手がこれを踏み台にして、「この悔しさを、来年こそ取り返してやる」という意気込みで頑張ってくれるのは、嬉しいですね。陸上というのは、本を読んだり、ビデオを見ても強くなれません。とにかく朝から晩まで、1週間に60分以上走らないと、鍛えられないんですから。



八木田 恭輔 やぎた きょうすけ

大阪経済大学教授、学生部長、陸上部監督。関西学生陸上競技選手権大会では、1部10位の成績をおさめる。大阪府高槻市在住。

ければいい選手も集まらない。だから、この悪循環の改善を考えていく必要があります。同時に、この現状を監督方に理解していただき、厳しいときは厳しく、あまいときはあま……と、ムチとアメの使い分けをしなければならぬと思います。

野路 私は3年ほど前から、各選手に合宿時、日記を書かせているんですが、個々には全然見せに來ないんです。最終的にキャプテンがまとめて、簡条書みたいなのを持って来るんですが、読んでみたら、学生なりにいろいろな意見・要望が書かれています。

そのひとつを紹介すると、「土・日の指導では少な過ぎる」「それでどうやって選手個人のコンディションを判断するのか」など、いろいろと書かれています。でも、我々はサラリーマンをしているから、毎日行けるわけがないんです。

サッカーは、関西で1部8チーム、2部24チーム、3部30チームあるんですよ。その中の国公立以外のほとんどの大学は、推薦制度をしていると思います。おかげさまで母校にも推薦制度がありますが、今後はその制度のより一層の充実を願っています。

いろいろな高校から「こんな選手がいる」「見てほしい」と言われるものの、公式には見ることができないんです。しかし、経大のグラウンドで、高校生との練習試合など、交流させたりするなどの努力をしています。

先程、八木田先生が「サッカーに同好会が三つある」と言われてましたが、初めて聞き

休み中の合宿では、3回ほど山にこもってかなりきつい練習をします。しかし、苦しいの後は、楽しさがあることも説得していかなければならぬ。これが後々の結果につながって、苦しさと嬉しさが重なってくるんですね。

### これから選手を育てるには

司会 ちなみに当大学には、1部で約5、500名の学生がいるんですが、そのうちの1、000名弱が体育会系クラブに所属。また、芸術会や学術会、同好会・愛好会を含めると、約2、600名の学生がクラブに所属しています。つまり大学は学問だけでなく、文化・スポーツの面も大きな柱になっていると思います。

そこで、大学側としては選手たちをどのように支えるべきなのかを考えなければなりません。海外遠征や海外との交流試合といった夢を含めて、お話をしたいと思います。

八木田 これは、興味ある大きなテーマのひとつですが、実際に正式の体育会としてやっている人数は、およそ600名程度。同好会は最初300名程度だったのが、どんどんと増えてきている状況です。つまり、同好会的なクラブに今の学生の志向があるんですね。同好会なら、監督からきついことを言わ

ましたよ。その中には優秀な選手が、かなりいるんじゃないかな。こういう状況の中でどう良い選手を育て、強いチームをつくらせていくかが大仕事です。しかも、これからは高校から直接プロへ行く選手が増えてくると思うんです。

### 特技推薦入学制度の検討

八木田 特技推薦入学制度については、4年ぐらい前から改革案を出しているんですが、学校側からはまだ答が出されていません。

力のある者、その時にいい者を取るの、スポーツ推薦の本筋だと思っただけで、学校側としては活性化のみを目指しているんじゃないかな。我々からすればスポーツをする以上、チャンピオンを狙っていきたくし、スポーツを通しての大学全体の活性化もしたいと考えています。だから、実技的に優れた選手は絶対にほしいんです。

そのためには、早く学校側と意思の疎通を図り、最善の方法をつくらせていきたいですね。例えば、陸上なんかはタイムがあるから、記録がはっきりしてきますよね。でも他の種目で書類上だけで話を進ませしまうと、いい選手が落ちてしまうんです。で、高校側から「おかしい。何で落ちるんだ」と言われるんですよ。

今では、高校側からのこういうクレームが、大学の信用問題ばかりか、社会的にもかなり騒がれるようになりました。ですから、シーズンのはじめに、入試部長からセレクションをやめるようにという話がありましたよね。学校側は今、こういう問題を解決するために、最善策を練っている最中なんで、曖昧には進めてほしくないんですよ。

将来的に各クラブのセレクションをするにしても、しないにしても、条件やその試験方法など、さまざまな問題をクリアしていかなければなりませんし、高校側との信頼関係も築いていかなければなりません。決して「おかしい」と言われなような制度をつくっていくためには、まだまだ時間が足りないくらいなんですよ。

司会 それは、将来的に公式にセレクションが認められるということですか。

八木田 いえ、認められるかどうかは私にも分かりません。ただ、今言えるのは、大学側が必死で検討してくれているということです。ですから、結果的にセレクションが認められたからといって、すべてを監督に任せることはいらないでしょう。

牧田 私も今のことは非常に重要だと思えます。やはり問題ある方法で、選手を確保していくのは無理がありますからね。それに以前、うちのクラブで書類上の選考はしたものの、故障でもう使えないというケースがありましたし、たし。スポーツは過去の記録も大切ですが、現時点の状態というのはいくらも大切なんです。

八木田 私もそう思いますね。グラウンドや施設に比べたら、かなり優秀な成績です。こんな施設で、これだけの成績の大学なんて、ほかにはないんじゃないですか(笑)。私も推薦制度の検討に加えて、設備面の充実も願っています。

野路 サッカーの場合、リーグ戦は、1部は芝でできますが、2部・3部は学校のグラウンドになるんですよ。うちは今2部にいますから、学校のグラウンドになるわけです。が、関西学生サッカー連盟のランク分けでは、うちのグラウンドはCランクになるから、試合のほとんどを他校でやっています。

関学の場合は、サッカー専用のグラウンドを持ってますし、試合となれば、そういうところに集中するのは当然ですよ。しかも、我々のチームがそこへ行くとなれば、経費も時間も必要です。うちの大学でできれば、そういう面が楽になると思うんですが。

野球も、ラグビーも、サッカーも、ハンドも限られた場所と時間でやらないといけない。だから設備についても検討してもらえれば、時間的にも経費的にもありがたいですね。西岡 ええ。設備を充実してもらえたら、そういう時間的なことを含めて、もっと強くなりますよ。そうすれば、チームの成績も上がるだろうし、学校全体の活性化を図ることもできると思います。

仲川 リーグ優勝とかでスポーツ記者が来たときなんて、びっくりしてますよね。「よくこんなところで……」って。しかも、高校時代の

よ。少なくとも入試段階で確かめられるようにしないと、せっかくの推薦制度がダメになってしまいますからね。

ただ、学校側がセレクション制度を決定するにあたっての危惧を持っているのは分かります。高校側との調整もあるし、きついことだとは思いますが。しかし、お互いが思っていることをぶつけ合わずに、あやふやにする方が、私は問題だと思えますね。

だから、八木田先生が言ったように、疑念の湧かない方法をできるだけ早くつくってほしい。我々は、将来的に有望な選手を集めていきたいんですから。

司会 チーム競技の場合なんかは、強いチームや学校でなくてもいい選手はいますしね。西岡 ええ。でも我々は学校の教員じゃないから限られた時間でしか動けないんですよ。



西岡 保 にしおか たもつ

昭和41年卒業。ラグビー一部監督。大阪府ラグビーフットボール協会書記長。平成5年度は大阪府下大学7人制で優勝。兵庫県川西市在住。

方が立派な設備でやっていたという選手もいるぐらい。本当にガタガタですよ(笑)。反対に、これがいいときもあるみたいですけどね。プロや実業団に入った選手から聞いたんですが、そういうところは素晴らしい設備が整っているから、今までガタガタだっただけに反動で思い切りできるそうなんです。けど、最近は軟弱な選手も多くなりましたね。今年書類で入ってきた選手なんですけど、キャンプに2、3日来て卒業式で帰ったきりそのままなんです。去年もそういう選手がいきましたし……。

司会 それは入学しないのですか。それとも入部しないで学生として残っているのですか。仲川 去年の子は入学はしましたが、今年の子は入学さえしませんでしたね。そんな例にもあるように、軟弱な選手が増えてきているのは確かです。

ですから、こういうことにならないよう、私としては、できるだけ早くスポーツ推薦を現実させてほしいと思うんです。私たちが見るにしても、検討委員が見るにしても現在の状態を目で見て、そして確かめてほしい。と思う選手を取れるのが、一番いいですよ。キャンプなんか今までは福山で9年やってたんですが、気分転換の意味も含めて、今年香川県観音寺市でやったんですよ。で、前もってその周辺の関係を持っていた高校に「見に来てください」と連絡をしておいたんです。

すると、地元高校の監督やコーチなど、野

しかも、「ほしい」と思っても、今の制度では条件が合わなければならぬ。

例えば、菅平の合宿で、いつも関東の監督に話んですが、ネームバリエーションが違うんですよ。これは、さっき話があった単科大学と総合大学の違いもあるんですが、セレクションをしているかどうかもあります。その監督の場合は、「いい」と思えば「おい」と声をかけられるような学校なんです。そんな時、我々にも、こういうチャンスを逃さないような制度があれば……と思えますね。

今年も何校からか、声がかかりました。しかも、ちよど機会があったんで、見てみれば本当に優秀なんです。が、学校の採点がクリアになっても、うちの大学は過去のチーム成績などを重要視しますから、条件が合わないといけない。野路さんが言うように、現時点での状態も見てほしいんです。非常に悔しい思いをしたので、早く改善策ができることを期待しています。

練習しやすい環境を

西岡 あと、設備面についてなんですけど、豪華なものとは言わないから、せめて練習に没頭できるグラウンドがほしいですね。現在は同じところで野球、サッカー、ハンドボール、ラグビーをやっている状態なんですから。

球に関連している人が見に来てくれたのがよかったようで、選手たちがかなり意識したようだし、やりがいがあるんですよ。しかも、キャンプの後半は高校生と合同練習をしたりして、非常に有意義でした。地元の高校生で一般推薦で受けるという連絡もありましたし、うちの選手たちもよかったです。環境を変えてやるというように作用してくれましたよ。

司会 ラグビー部は一度ニュージランドに遠征しましたよね。ハンドボールも海外ではもともと人気のあるスポーツですし、今後の夢とかありませんか。

上野 一度OBの中で、単独チームで韓国に遠征しようという話がありました。しかし、なかなか実現できないんですよ。

司会 それは、費用的にですか。

上野 いえ、近いですから、それほどからじゃないんですが、話が具体的ににならないんですよ。それにうちは、中京大学で合同合宿をさせてもらったり、本田技研や日新製鋼で合宿をさせてもらっているから、費用的には安くあげています。それに、社会人と組んだりできるから、けっこう効果はあります。選手としては、絞られるのが分かっているから、嫌がるものもあるんですが、結局はそこに行きますね。

あと、私自身がサラリーマンなので、見る時間がないというのがあります。そこで学校側に、コーチ陣やスタッフの充実もお願いしたいと思っています。お願いばかりで頭が上がり

ます。



上野 洋一 うえの よういち

昭和41年卒業。ハンドボール部監督。平成5年度は関西春季リーグ戦3位、新人戦優勝、西日本大会ベスト8の成績。大阪府高石市在住。

ませんが、なんとか実現させてほしいです。あわせて、先程から話題になっていた推薦制度の改善や設備についても、忘れずにお願ひします。

野路 設備といえば、大阪商大のサッカー専用グラウンドは「これでよく日本一になれたなあ」というようなグラウンドです。うちも相当なもんですが、あちらも負けず劣らずスゴイ(笑)。ところが夏休みになると、ここに高校生が練習にくるんです。学生会館にちゃんと宿泊施設もあるし、近所に食堂もある。いろんな選手も見られるわけです。事実、優秀な選手がけっこう集まっていますよ。

そこで、経大も出かけていき、練習試合を組ませてもらうような状況です。うちの大学にもそういう施設があれば……って思い

ますね。だから、チームを強化するためにも、海外遠征とかも考えるわけです。韓国だったら、大学の合宿所とかに泊めてもらうとかすれば、金銭的にも安価で済むし、練習試合を毎日すれば、かなりの強化になるだろうと。でも、これをするのには学校側に問題はないのでしょうか…。

八木田 学校側としては、事故の問題とかがあるんで、そっちの方をクリアして、届を出してもらえればいいですよ。ただ、援助は今のところ期待できないですけど…。

それとチームスポーツの場合、推薦でチーム自体は強いけど、その中で最下位の選手を出される時とか、たまにありますよね。反対に、全国大会などには出ていないが、飛び抜けていい選手の時もあります。こういうムラをなくすためにも、学校側にはなんとか頑張ってもらいたいと思います。学問で優秀な教授、優秀な学生を集めるのは当然だし、どんどんやってもいい。けど、スポーツも華やかにしたいんです。

今は15のクラブで推薦をしていますが、これもその競技の時々によって、枠の制限を変えた方がいいと思います。その方が、スポーツを通しての活性化が絶対にやりやすくなるのじゃないでしょうか。



学校が、クラブが好きだから…

学当局から交通費や宿泊費など、多少出るようにはなっています。しかし、監督は本職の合間で、しかも無報酬です。これは、一年で計算すると相当の時間になるでしょう。

野路 私の場合も、サッカーが好きだから…というのがあります。それに、勤務先の社長がサッカーに理解ある人なので、休みとかを調整しやすく助かっています。

でも、合宿なんかの場合にOBから援助金を集めるんですが、わずかなんです。そういうのは選手に優先的に使うので、結局我々は交通費も出ません。正直言って、遠征や合宿の場合は、学校からちよつとした援助をいただければありがたいですね。

西岡 私は、結構そういう金銭的なことに無頓着なんです。だから、ちよつと皆さんと

先ほどから話があるように、環境面についてもそうです。学問に関する環境も大切なんです。それにプラスしてスポーツや芸術、学術など、いろいろなクラブの環境づくりを並行させて、バランスの取れた大学教育をしてほしいですね。

スポーツなら同好会でも使えるように、練習場を広げたり、設備をつくる。そうすれば、同好会の人たちも正規のクラブに入部しようという気になるんじゃないでしょうか。それが結果的に、学校の活性化につながるのなら、私はベターだと思いますよ。

八木田 ええ、学術会や芸術会の人たちも、同じようなことを言っていました。

司会 それについては、同窓会の方でスポーツ・学術振興積立金というのを何年前からか始めましたので、将来的にはそれぞれのスポーツや学術を後援するようになるでしょう。まだ2,000万円ぐらいなんで、設備運営とかは難しいんですが、いずれまとまった金額になれば、スポーツ振興基金や学術振興基金として有効に使われますよ。

金銭的に言えば、監督方は無報酬で、仕事の合間でやっていますよね。しかも、それであれだけの成績をあげられているんですよ。八木田 学生部長の私としては、その件について本音を知りたいですね。というのも、うちは全くの無報酬で監督やコーチをお願いしている。こういう大学は珍しいんじゃないかなと思うんです。

チーム遠征の場合は、後援会や同窓会、大ありがたいんですが、好きでやっていることなんです。我々から要求できる問題でもないと思うんです。

西岡 我々のような卒業生の監督もいれば、外部の人もあるわけなんです。他校では、職員で、また専任で身分保証されているケースがあることも知っています。でも、我々からすれば、母校にもっと発展してほしいという気持ちもあるわけです。仕事の合間を縫って来るんですよ。他校のようにしてもらいたいんですよ。いいんですが、我々の場合は「好きだから」という気持ちが先行しますから、とくに苦に感じることもないんですよ。

ですから、学校側にはスポーツ推薦や設備面などの充実を考えてもらいたいですよ。そうしてやりやすい環境になった後で、次監督や次コーチに我々の仕事を譲ってほしいですね。

仲川 以前、サッカー部、ラグビー部の部室工事のときにあったことなんです。練習時間をつぶすのは少し考えてほしかったな…。トラックは出入りするし、あちこちに穴を掘っているし…。つくってもらうのはありがたいけど、かえって練習ができないんですよ。バッテリーもストップしますし、あのとときは大変でしたね(笑)。でも今は、とてもありがたかったと思っています。

司会 時間がまいましたので、これで終えたいと思います。本日は、長時間ありがとうございました。 (文責 広報部)

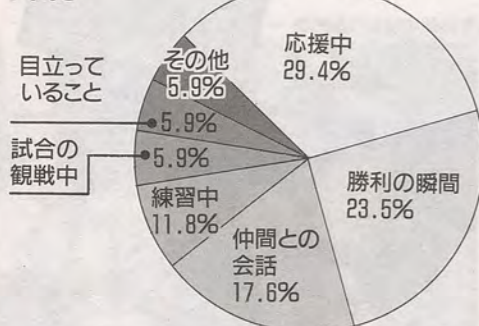


## チアリーダー アンケート

(当日9名での応援のため、9名で集計)

**Q3.** チアリーダーをしていちばん楽しいことは? (複数回答)

**A3**



クラブ活動をしている時が楽しいようですが、17.6%の仲間との会話にも注目。1回生～4回生までが、先輩・後輩の分け隔てなく、楽しく活動していることがうかがえます。

**Q4.** チアリーダー以外にやってみたいことは?

**A4**

他のスポーツ	40%	おけいここと	40%	バイルト	10%	勉強	10%
--------	-----	--------	-----	------	-----	----	-----

スポーツとおけいこことが、ともに40%と、かなり高い数値です。とにかく体を動かすのが好きなのか、反対にいつも体を動かしているの、たまには、おけいこごとでせおらしくしたいのか…という両極端な回答でした。



▲長居陸上競技場で



◀練習場はE館前



▼ガンバレ経大



8月のある快晴の日。大阪長居陸上競技場において、アメリカカンファットボールの秋季リーグ戦が幕を開けようとしています。この日、大経大のチアリーダー『JANUS』の応援風景を取材できると聞き、さっそく出かけました。

——到着すると、彼女たちは試合のはじまる何時間も前から、打ち合わせをしていたらしく、練習に余念がありません。一人ひとりが一所懸命に応援の練習をしています。

## JANUS プロフィール

●発足  
1991年4月に発足。体育会本部のバックアップのもと、チアリーダーをしてみたいと思う女子学生が集まったのがキッカケ。一人ひとりが明るく、積極的に毎日を充実させたいと思っています。

●『JANUS』  
『JANUS』とは、門出・出発という意味。大阪経済大学で、女子だけで結成された新しいクラブとして、この名称にしました。

# キャンパスライフ

## チアリーダー ～JANUS～



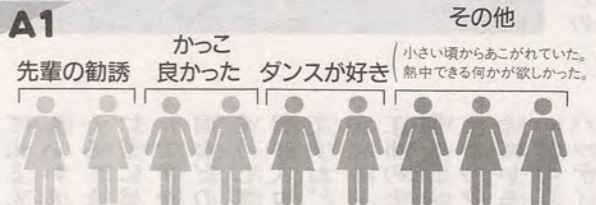
数年前までは、野球などの応援に行くと、団旗をひるがえし、ガクランに身を包んだ応援団が大きな声で声援していました。そして今、彼らに代わって、鮮やかなコスチュームに身を包んだ、「チアリーダー」の姿が、グラウンドにあります。そこで今回は、誕生して間もないチアリーダー『JANUS』を取材しました。

## チアリーダー アンケート

(当日9名での応援のため、9名で集計)

**Q1.** なぜチアリーダーに入ったのですか?

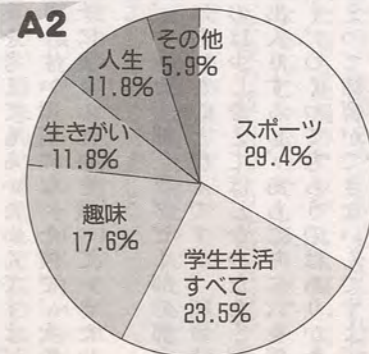
**A1**



先輩の勧誘があるとしても、だいたいの人が、チアリーダーへのあこがれを持っていました。

**Q2.** あなたにとってのチアリーダーとは? (複数回答)

**A2**



やはり応援中に体を動かし、声を出すだけあって、スポーツという回答がトップ。その他の答も、学生生活や生きがいなどがあり、チアリーダーを通して、何か大切なことを得たようです。



## チアリーダー アンケート

**Q7. 彼氏はいますか?** (当日9名での応援のため、9名で集計)

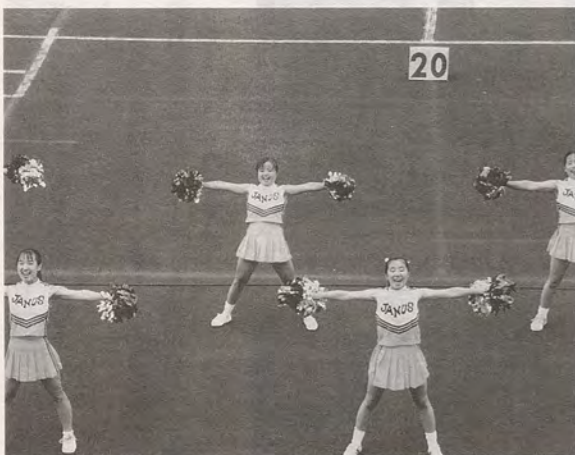
**A7**

YES 42.9%	その他 14.2%	NO 42.9%
--------------	--------------	-------------

YESとNOが同じ42.9%。YESと答えた人は、応援を通して選手と知り合った人いるのではないのでしょうか。しかし、その他14.2%というのは、どういうことなのか気になります。



◀先輩の模範演技を見守る



▲晴れ舞台上でイキイキと!

そんな熱戦の中、選手たちの声に負けじと一所懸命に頑張っていたのがチアリーダーです。9名という少数でありながら、その威力は絶大で、ハーフタイムを除いて、試合中のほとんどを休憩なしで応援しています。その勇姿は観客席にも伝わり、客席の応援が、だんだんと大きくなっていくのが分かります。大経大チームの選手の声に、チアリーダー、そして観客の応援が加わると、試合の流れは一気に大経大の押し寄せムードに…。

試合前から選手たちの気合いが入っているせいか、かけ声が止みません。大経大、大工大ともに、大きな声を出して、試合の流れを自チームに持っていこうとしています。



▲振付の説明をするリーダー



◀食事中もビデオを見ながら研究している

## JANUS プロフィール

●今、望むこと  
とにかく、もっと多くの入部者がほしい。時には練習がきつかったり、遊ぶ時間が減ったりするときもありますが、満足感と応援をしているときの感動は格別です。1年生から4年生まで、なかよく練習しているので、思い出に残るような楽しい大学生活を過ごすことができます。



## JANUS プロフィール

●活動理念  
大阪経済大学のイメージアップを目指して活動。そのために、技術の向上を目標に頑張っています。

●活動の危機  
発足当初は初心者ばかりで、チアリーダーがどういふものか分かりませんでした。しかし、いろいろな講習を受け、2年目にして、ようやく活動ができるようになりました。

現在は、部員不足が大きな問題。チアリーダーに対して間違った先入観を持っているせいか、入部を断られることが多くあります。ですが、先入観を捨てて、温かな目で見守ってほしいと思います。



▼休憩中はいつも笑顔



▲アメリカンフットボール 経大VS大工大



長い夏休みの間、練習に明け暮れていたチアリーダー。アメリカンフットボールの秋季リーグ戦の開幕と同時に、彼女たちの秋もじまるのです。

そんな彼女たちの姿を見に来た私たちも、試合前の練習風景と試合での頑張りに驚きました。

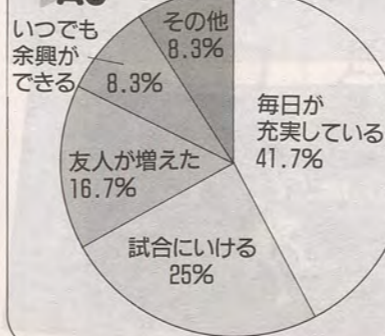
大経大の秋季リーグ戦第1戦目の相手は「大阪工業大学」。有力選手の揃った強豪チームだけに、初戦から、力の抜くヒマのない戦いとなりました。

## チアリーダー アンケート

(当日9名での応援のため、9名で集計)

**Q5. チアリーダーに入って良かったことは?**

**A5**



毎日が充実しているという人が、半数近い41.7%。練習や応援を通して、学生生活をエンジョイしているようです。また友人が増えたというのも、やはり自分の視野を広げられたという点では、充実した毎日につながるのでは…。

**Q6. チアリーダーに入って困ったことは?**

**A6**



女性だけに日焼けには気を使っているようです。しかし、活発な彼女たちなら多少の日焼けがより健康的な女性に見せてくれるでしょう。

## 平成5年度クラブ戦績

(10月現在)

空手道部	全日本学生空手道選手権大会出場
日本拳法部	全日本学生選手権大会出場
柔道部	関西学生優勝決定戦ベスト16 関西学生体重別選手権 71kg 以下クラス 3位 全日本学生柔道大会出場
剣道部	関西学生剣道優勝大会 3位 全日本剣道選手権出場
合気道部	全日本合気道演武大会出場
少林寺拳法部	第31回関西学生記念大会出場
硬式野球部	関西六大学野球春季リーグ戦 2位 秋季リーグ戦 4位
準硬式野球部	近畿六大学春季リーグ戦 優勝・関西選手権優勝 全国大会出場
硬式庭球部	関西大学対抗テニス2部リーグ 3位
ソフトテニス部	全日本学生選手権 (豊田・玉井組) ベスト16 天皇杯・総理大臣杯出場
サッカー部	関西学生サッカー秋季リーグ戦 2部Aリーグ 1位 (1部入替戦へ)
ラグビー部	大阪セブン 優勝 関西学生ラグビーAリーグ戦 6位
ハンドボール部	西日本インカレ ベスト8 関西学生ハンドボール春季リーグ戦 3位 関西ハンドボール秋季リーグ戦 2位 全日本大会出場
卓球部	関西学生春季リーグ戦 2部 第3位
バスケットボール部	西日本学生バスケットボールトーナメント大会 ベスト16 全関西学生選手権 ベスト16
バレーボール部	西日本学生選手権 ベスト8
アメリカンフットボール部	近畿学生選手権 3回戦進出
ボクシング部	春季近畿学生ボクシングリーグ戦3戦トーナメント 3位
陸上競技部	関西インカレ 総合10位
バドミントン部	西日本学生バドミントン選手権大会 (織田・藤井組 2位) 全日本選手権大会出場
自転車部	関西学生リーグ戦 1部 3位 全日本学生サイクルサッカー選手権 ベスト16 関西インカレ ベスト8
山岳部	前穂岳 山行 剣岳~槍ヶ岳周辺 山行
アイス・スケート部	第16回全大阪ショートトラック・スピードスケート選手権大会2部男子 (正影選手 総合5位) 関西学生氷上フリー競技会 男子B級 総合1位
ゴルフ部	関西学生秋季リーグ戦 2部 (第7位 3部降格)
競技スキー部	全関西学生スキー選手権大会 3部優勝 (2部昇格) スラローム 優勝 ジャイアントスラローム 優勝
カヌー部	第5回 アジアセンター選手権大会 (SK-2 500メートル 山本選手 準決勝2位) 平成5年度日本カヌー選手権大会 (優勝 山本選手)
自動車部	全関西学生ダートトライアル選手権大会 団体 優勝 全日本学生ダートトライアル選手権大会 男子13位 女子5位 全日本学生ジムカーナ選手権大会 8位
ヨット部	関西インカレ 個人戦・団体戦出場
洋弓部	関西学生フィールド競射会 女子個人 優勝
重量挙げ部	関西学生選抜選手権大会 (108kg 超級 越名選手 優勝)
水泳部	関西学生選手権水泳競技大会 優勝 (2部昇格)

## JANUS プロフィール

- 活動内容  
アメリカンフットボール、硬式野球、準硬式野球、バスケットボールの応援をしています。  
4~5月は  
春季リーグ戦応援 新入生歓迎  
基礎練習 1日講習会参加  
7月は  
サマーキャンプ (合同合宿)  
1日講習会参加  
8月は  
夏期集中練習  
9月~11月は  
秋季リーグ戦応援  
1日講習会参加  
3月は  
1日講習会参加  
と、さまざま活動をしています。
- 現在の部員構成  
1回生2名 2回生4名  
3回生1名 4回生4名



▲高度な技術の練習



▲E館1フロビーにて



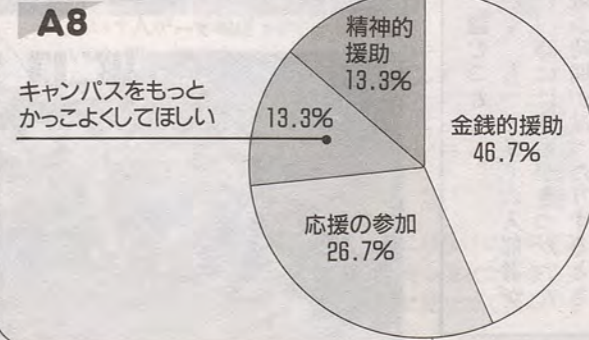
応援の甲斐あって、試合展開はスムーズになり、見ごと初戦を勝利で飾ることができました。  
幸先の良いスタートをおさめました。2戦目以降もチアリーダーの応援を交え、頑張っ

卒業生に「温かな眼差しで見守っていただき、応援に来ていただき、試合を見に来ていただき一緒に応援しましょう」

## チアリーダー アンケート

(当日9名の応援のため、9名で集計)

### Q8. 学校に望むことは? (複数回答)



学校側に応援の参加を望んでいる人が割と多いようです。やはりメンバーが応援好きだけでなく、他の人にもその楽しさを味わってほしいと思っているのでしょう。

「早いものであれから」とは、いかにも月並みな表現ですが、昨年11月学長に就任以来、間もなく1年が経過します。あの時、重責への緊張感で身が固くなっていたと思いますが、この間を振り返ってみると、果たして、どれだけ大学のお役に立つことができたのか、同窓生や教職員の方々のご期待に應えることがほんの少しでもできたのかと思えば、今は身の縮むような気がいたします。

ところでこの1年間、新学長ということ、マスコミ・報道



学長 上島 武

13年のmas

関係の方からインタビューを受ける機会が多々ありました。決まって尋ねられるのは、私学の生き残り戦争の中の経大の基本戦略は何か、経大における教育の最大特徴はどのようなものかということでした。

幸い、前者については、全学の共有財産たる立派な「学園マスタープラン」があつて、今ようやくその実現作業が緒についているようなものですから、受け答えも簡単なようですが、内心はそれどころではありません。例えば、その中核をなす新学部設置構想にしても、それが実現するまでに乗り越えるべき障害が山ほどあり、その一つひとつがまた、なかなかの難事であることをよく承知しているからです。

後者についてはいえば、これもまた、本学が建学以来堅持してきた基本方針、すなわちゼミナールを中心とした小人数教育、これ以外にありません。しかしながら、ここにも少なからぬ問題があります。今年からのカリキュラム改訂で、4年間ゼミ一貫制度が実現したのは良いので

固なものになってきていることは、とくに嬉しく思うものであります。

例えば、50周年記念事業にはじまり、公開講座、臨時定員増各種推薦制度の導入、そして長年課題であった経営情報学科の新設など、私としては、できる限りのことはすべて行ったように思います。とくに同窓会、後援会のご寄付による彫像を流政之氏によって、八風・雲・花Vと3部作に統一して完成させたことは、私にとっても永く憶い出になることです。

この度、昨年11月から新学長が誕生し、この7月には理事会が新しいメンバーで構成されました。

私どもは、この新体制の確立を機として、理事会、教学、同窓会、後援会が一致協力して、次の目標である「新学部の設立」に向かって、現在いろいろな意味で厳しい条件がつけられているところですが、前進していきたいと願っております。同窓会のみなさまも全面的にご支援くださるよう、お願いするものであります。

ですが、その受け入れ体制が万全であるか、ゼミ教室は質・量ともに保証されているか、16人ゼミが本当に実現できているか、などが心配です。加えて今、私が心配しているのは、学内における先生方の「雑務」が膨張しますます膨張する結果、学生一人ひとりに行き届いた教育的目配りができるだろうかということとです。本学の生き残りを賭けたさまざまな大学改革に先生方が多くの精力と時間を振り向ける結果、「本業」としての研究に支障をきたすことも大いに懸念されます。これは、「学長職とは本を読めぬことと見つけた」といった私的感慨とはまったく次元を異にする問題です。

とはいえ、あるいはだからこそ、教師と学生の密接な交流を緩めるわけにはいきません。これは、同窓会の会合に出席して私が今さらのように再確認することでもありません。古い同窓生が黒正先生の思い出を語る時、その声は弾み、目まで生気を帯びるではありませんか。そして新しい同窓生のみなさんも…。

一般教育科目については、科目名・内容ともに一新。各分野から1科目以上の選択（従来は2科目以上）となった。さらに新しい分野として「現代の文化を理解するための科目（2年次から）」が設けられ、世界各地の文化論や宗教、スポーツ文化論などが学べます。

語学についてはこれまでの6カ国に「朝鮮語」を加えました。保健体育も「運動・スポーツ科学」として理論と実践を結びつけた内容に。外国語とスポーツについては「自主科目」を設け、自由に学びながら卒業の単位に含めることができます。

〔経済学部経済学科〕  
経済学の基礎となる経済原論教育が、1年次から2年間に（従来は2年次配当1年間）これにより経済学の基礎理論をじっくりと学べます。

2年次から開始するコース制では、総合コースをはじめ、アジア太平洋経済、経済情報、企業法務、ファイナンスの四つの専門コースの合計五つのコースから選択することができ、体系的・系統的に授業科目を履修し、習得できることを目的としています。専門コースではコース特殊講義を新たに設け、学外講師によるユニークな講義が

学園ニュース

新体制のもと、  
新たな目標に  
向かつて前進を

理事長 鈴木 亨



1993年度、大阪経済大学同窓会の機関誌『濃江』が発刊されますことを心からお慶び申し上げます。この度はどのような新趣向や企画が凝らされているか、拝読するのが今から楽しみです。

私が学長・理事長に就任してから、もう13年が過ぎました。その間、いろいろなことがありましたが、同窓会と大学側との友好関係がますます深まり、強

私どもは、この新体制の確立を機として、理事会、教学、同窓会、後援会が一致協力して、次の目標である「新学部の設立」に向かって、現在いろいろな意味で厳しい条件がつけられているところですが、前進していきたいと願っております。同窓会のみなさまも全面的にご支援くださるよう、お願いするものであります。

大学は、ひとつの学問を深く学ぶとともに、いろいろな学問や文化と出会いながら、幅の広い豊かな人間形成を行う場です。そうした視点からも、新たにカリキュラムを改訂しました。

〔教養課程〕  
ゼミナール（教養演習）の選択が1年次から可能に。興味のあるテーマのゼミを選択し小人数で授業を掘り下げていきます。

カリキュラム改訂

カリキュラム改訂による教育システム

学年	経済学科専攻科目	経営学科専攻科目	商学科共通科目	総合教養科目	教職課程
4年	経済情報コース 企業法務コース	ファイナンスコース 企業法務コース	法と政策コース 企業取引コース 会計情報コース 情報環境コース 国際環境コース 企業マネジメントコース	現代の文化を理解するための科目 現代の科学・技術を理解するための科目 思想・歴史・芸術を理解するための科目	教職に関する科目 レクリエーション
3年	経済情報コース 企業法務コース	ファイナンスコース 企業法務コース	法と政策コース 企業取引コース 会計情報コース 情報環境コース 国際環境コース 企業マネジメントコース	現代の文化を理解するための科目 現代の科学・技術を理解するための科目 思想・歴史・芸術を理解するための科目	教職に関する科目 レクリエーション
2年	経済原論 I-B 経済原論 II-B	ファイナンスコース 企業法務コース	法と政策コース 企業取引コース 会計情報コース 情報環境コース 国際環境コース 企業マネジメントコース	現代の文化を理解するための科目 現代の科学・技術を理解するための科目 思想・歴史・芸術を理解するための科目	教職に関する科目 レクリエーション
1年	経済原論 I-A 経済原論 II-A	ファイナンスコース 企業法務コース	法と政策コース 企業取引コース 会計情報コース 情報環境コース 国際環境コース 企業マネジメントコース	現代の文化を理解するための科目 現代の科学・技術を理解するための科目 思想・歴史・芸術を理解するための科目	教職に関する科目 レクリエーション

受講できます。

コース制に加えて、2年次からゼミナール(演習)を開始。「対話型小人数教育(定員16名)」による演習Ⅰ(2年次)、演習Ⅱ(3年次)、4年次には演習Ⅲ(卒業研究)へとステップアップします。

〔経営学部経営学科〕

1993年度入学生から1年次に「現代経営入門(必修・新設)」を受講。前期に経営学の入門的学習、後期には各コース・分野別に授業内容のエッセンスを学び、2年次からスタートするコース制の選択を助けます。

経営学科のコースは全部で7コース。それぞれ特色あるコースで、自主的な学修スタイルを選択できるようになっています。なかには資格取得に役立つコースもあり、コース特殊講義を新たに設け、学外講師によるユニークな講義も受講できます。

経営学科のコース制の特徴は、ゼミナール(演習)の選択と区別されていること。ゼミナールを選択すると、演習Ⅰ(2年次)、演習Ⅱ(3年次)の対話型小人数学習に参加し、4年次には演習Ⅲ(卒業研究)での卒業論文作成などにより卒業単位を取得できるようになりました。

人事

◎理事・監事・評議員改選  
学校法人 大阪経済大学は、平成5年6月22日(火)に理事会を開催し、評議員の選任を決定しました。また7月23日(金)に理事会・評議員会を開催し、理事、監事の選任を決定しました。

◎名誉教授称号授与

1993年3月末をもって特任教授を退任された井上清先生に、大阪経済大学名誉教授(第19号)の称号が4月1日付で授与されました。

井上先生は昭和22年本学に着任され、「工業経済論」の講義を担当されるかたわら、経営学部長、大学院委員長および図書館長などを歴任されました。

◎新任

よろしくお願いします  
経済学部経済学科  
講師 伊田 広行  
(労働経済論担当)  
教授 稲場紀久雄  
(生命の科学担当)

TOPICS

学生相談室を拡張し、待合室を設置

90年に本館西棟3階に宿直室兼和室が設置されて以来、旧宿直室の利用計画が検討されていましたが、この度の事務組織改革に伴い、事務室に転用されました。今回の工事で、旧宿直室の一部を縮小し企画室を、また学生相談室を部分拡張して待合室を設置しました。それに伴い、事務室の移転も行い、情報処理センター分室は旧広報室へ、広報室は旧企画室へ移転しました。



広くなった学生相談室。学生の評判も上々。

◎退職

永い間ご苦労さまでした  
教養部(定年) 井手 經三  
※井手先生には特任教授として引き続きご指導いただきます。  
特任教授(任期満了) 井上 清  
技術職員(定年) 田頭 良門  
内倉 千歳

◎海外出張

小川 雅弘 助教授  
期間/1993・4・1  
1994・3・31  
行先/イギリス ウォーリック大学  
目的/調査研究  
二宮 正司 教授  
期間 1993・4・1  
1994・3・31

行先 アメリカ合衆国

カリフォルニア大学

パークレー校

目的/調査研究

山本 正 助教授

期間/1993・4・1

1994・3・31

行先/アイルランド ダブリン

トリュニティーカレッジ

目的/調査研究

◎役職者一覧(1993・10・1)

理事長 鈴木 亨

学長 上島 武

専務理事 岩谷 宣治

経済学部長 森田 寿一

経営学部長 上田 慧

経営情報学部長 藤本 寿良

教養部長 門田 俊夫

大学院委員長 松原 和男

教務部長 北村 和男

入試部長 松村 幸一

学生部長 八木田恭輔

就職部長 田淵 進

図書部長 北崎 豊二

情報処理センター長 泉 弘志

体育館長 近藤 秀磨

日本経済史研究所長

山田 達夫

中小企業・経営研究所長

高城 寛

事務局長 中田 伊織

(理事長・学長・事務局長は昨年のまま)

\*\*\* 教学関係 \*\*\*

◎1992年度卒業式

学位授与式の挙行  
3月25日(木)、体育館第4教室において、学部並びに大学院の卒業式・学位授与式がとり行われました。

経済学部は697名、経営学部は642名の計1339名が卒業し、大学院経済学研究科博士前期課程(修士課程)は4名が卒業しました。

◎「古稀記念論文集」献呈式

3月29日(月)午後2時から本館4階会議室において、「井手經三教授古稀記念式典」が行われました。上島武大阪経大学会会長より『井手經三教授古稀記念論文集』が献呈され、その後、井手經三先生に

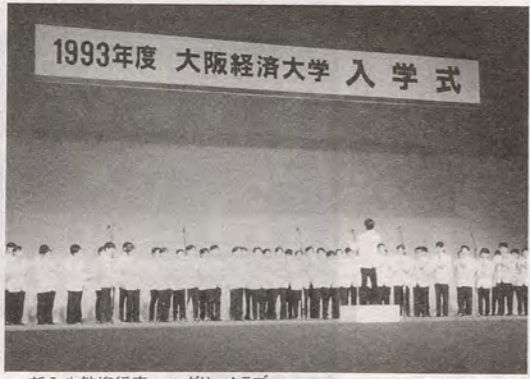


古稀記念講演中の井手教授

よる「古稀記念講演」が行われました。

◎1993年度入学式の挙行

4月6日(火)、難波の大阪府立体育会館において、1993年度学部ならびに大学院の合同入学式が盛大にとり行われました。



新入生歓迎行事—グリーンクラブ

新入生1,900余名、ご父母、来賓および教職員が出席しました。近年、本学では女子学生が増加していますが、今年も新しく204名の女子新入生を迎え、厳粛な中にも華やかな入学式となりました。

◎新入生歓迎行事

1993年度入学式に引き続き、午前10時30分より新入生歓迎行事

が行われました。

まず最初に、「ヨットウーマン」今給黎教子さんによる、「夢追い人の航海—単独無寄港世界一周278日」と題した記念講演が行われました。

今給黎さんが体験した278日間におよぶ航海中のさまざまな苦悩や迫力あるシーンの、ビデオを駆使しての講演には説得力があり、会場を埋めた新入生や父母の方々を魅了させるに十分でした。とくに、海の世界、ヨットの世界を愛し偉業を成し遂げた今給黎さんの、「目的を持つことのすばらしさ、夢を持ち夢を追うことのすばらしさ、……苦しさはやがて楽しさに変わるものです」との言葉は強く印象に残るものでした。

講演終了後、昼食をはさみ午後1時から、学生クラブによる歓迎行事に移りました。

松本安湖さんによる学生時代の体験談などユーモアを交えたさわやかな司会のもと、本学チャリダーのリズミカルな演技に始まり、最後は吹奏楽総部の荘重な演奏と行進で新入生歓迎行事の幕を閉じました。出演クラブはチャリダー、軽音楽部、グリーンクラブ、マンドリンクラブ、ギター部、吹奏楽総部。





見学会の受付にきた受験生

◎DAIKEI CAMPUS '93  
一昨年から実施している本学のオープン・キャンパス(受験生のための大学見学会)は、今年は7月21日(水)にAct Iを実施し、第2回目として10月2日(土)にAct IIを行いました。  
見学会当日は、推薦入学希望者を中心に昨年を上回る受験生(外国人留学生を含む)や父母が来学

・東洋ホテル  
大阪・三重・滋賀・京都・奈良・和歌山・富山・石川・福井・愛知・岐阜各府県の高等学校対象

- ◎A方式(英語1教科)入試  
1 募集学部・学科・人員  
経済学部 第1部 経済学科 60名  
経営学部 第1部 経営情報学科 40名  
経営学部 第1部 経営情報学科 30名
- 2 試験日  
1994年1月30日(日)
- 3 試験地  
大阪・岡山・名古屋(新設)
- 4 試験科目・配点・時間

- ◎B方式(3教科)入試  
1 募集学部・学科・人員  
経済学部 第1部 経済学科 445名  
経営学部 第1部 経営情報学科 290名  
経営学部 第1部 経営情報学科 175名  
経済学部 第2部 経済学科 100名  
経営学部 第2部 経営情報学科 100名
- 2 試験日  
2月8日(火)
- 2 試験日  
2月9日(水)

- 5 出願期間  
1994年1月6日(木) ~ 1月21日(金)  
(消印有効)
- 6 検定料  
30,000円
- 7 合格発表日  
1994年2月17日(木)
- 8 入学手続  
1994年2月25日(金)  
締切(入学金)

教科	科目	配点	時間
外国語	英語 I・II・IIB・IIC	150点	70分
国語	国語 I・II (漢文を除く)	150点	70分
選択(1科目)	政治・経済・日本史・世界史・地理・数学 I	100点	60分

- 3 試験地  
大阪、東京、名古屋、金沢、姫路、高松、広島、福岡で同日実施
- 4 試験科目・配点・時間(解答は全科目オール・マーク方式)  
2月10日(木)  
経営学部(第1部・第2部)試験地

し、楽しいミニ講義が始まる一連のスケジュールに熱心に参加する姿が見られました。

## 1994年度入学試験概要

1994年度は1993年度同様、A方式(英語1教科)入試とB方式(3教科)入試の二つの方式で実施します。主な変更点は次のとおりです。

- (1) A方式  
名古屋試験場を新設
- (2) B方式  
解答は全科目オール・マーク方式

学の現実を、同時にシビアに捉えておく必要があります。  
ほかに本年度入試の結果で、とくに目についた点をあげます。大きな変化があった経済学科を中心に、入学の難易を反映しやすい競争倍率を見ると、1教科では経済学科だけが0.8ポイントのUP、対照的に3教科では経済学科だけが0.5ポイントDOWNしています。また、一定レベルにある女子受験生の動向を知る意味で合格者段階の数字を見ると、1教科では経済・情報学科で女子占有率が増え、3教科では経済学科微増、経営学科増加、情報学科減少の傾向を示しています。(ちなみに、第2部の女子占有率は1%台まで低

下)  
合格者の浪人生占有率(現浪比)は1教科で経済学科が3.8ポイント、経営学科が14.4ポイントUP、情報学科は7.0ポイントDOWN、3教科では経済学科が9.3ポイントDOWN、経営・情報学科が2.0ポイントUPと、これまでとかなり異なる傾向を見えています。  
最終歩留率はともかく、経済学科(3教科)の入学金歩留率が50%台と従来になく高い数字を示していることが、女子の、浪人生の動向の変化と併せて何を示唆しているのか、今後注目する必要がありますように思われます。

都道府県別受験・合格者数  
第1部・第2部 (英語1教科入試+3教科入試)

都道府県名	受験者数	合格者数	都道府県名	受験者数	合格者数
北海道	13	2	滋賀	542	126
青森	1	0	京都	1008	185
秋田	4	2	大阪	5788	1518
岩手	1	1	兵庫	4022	928
山形	3	0	奈良	437	100
福島	3	1	和歌山	415	93
栃木	2	0	鳥取	93	13
群馬	9	2	島根	82	21
茨城	10	2	岡山	297	84
埼玉	5	2	広島	327	62
千葉	21	5	山口	136	24
東京	34	6	香川	168	30
神奈川	16	3	徳島	73	9
新潟	23	6	愛媛	71	21
富山	81	27	高知	48	17
石川	96	34	福岡	88	19
福井	74	17	佐賀	16	4
長野	29	3	長崎	45	9
山梨	3	0	大分	51	15
岐阜	70	17	熊本	23	6
静岡	86	10	宮崎	13	3
愛知	175	44	鹿児島	32	7
三重	207	47	沖縄	4	0

## 1994年度推薦入学選考日程

- ◎特技(スポーツ)推薦  
出願期間  
1993年10月18日(月) ~ 10月22日(金)
- 選考日  
1993年11月5日(金)
- 合格発表  
1993年11月13日(土)
- 入学手続  
1993年11月19日(金)
- 募集学部・人員  
第1部 経済学科 35名  
経営学科 20名  
経営情報学科 15名
- ◎普通科・商業科推薦  
出願期間  
1993年11月22日(月) ~ 11月26日(金)
- 選考日  
1993年12月5日(日)
- 合格発表  
1993年12月11日(土)
- 入学手続  
1993年12月17日(金)
- ◎推薦入学説明会の開催  
入試部では普通科対象推薦入学説明会に、推薦依頼校(252校)の進路指導担当者を招き、次のとおり実施しました。
- 6月21日(月) 高松市  
・京王プラザホテル高松  
徳島・香川・愛媛各県の高等学校対象  
6月22日(火) 岡山市  
・岡山ターミナルホテル  
広島・岡山・山口・島根・鳥取各県の高等学校対象  
6月30日(水) 神戸市  
・神戸東急イン  
兵庫県高等学校対象  
7月7日(水) 大阪市

- 募集学部・人員  
第1部 経済学科 140名  
経営学科 70名  
経営情報学科 50名  
(商業科)
- 募集学部・人員  
第1部 経済学科 20名  
経営学科 30名  
経営情報学科 30名
- ◎推薦依頼は全国の商業高校および商業科のある高校に対して行います。被推薦者は各依頼校より各学科へ1名。

※入試要項について  
推薦入試を除く一般入試全ての願書・要項を一括封入。発行は11月上旬の予定です。

就職関係

◎1993年卒業者の就職状況  
40年近く続いた就職協定の変更と平成不況の中、本学学生に対する求人は6,003社と前年に比べて12・5%減少しました。就職内容をみると、大企業への就職者比率は48・7%で、上場企業への就職者比率も32・6%となりました。地域別では東京での就職者比率は21・8%、大阪での就職者比率は45・7%となり、東京での就職者は減少し大阪では増加しました。業種別での就職者比率が前年より高くなったのは建設、小売、金融・保険、運輸・通信、サービス、公務の6業種で、低くなったのは製造、卸売、不動産の3業種となりました。

◎就職特別講演会開催

開催日 3月30日(火)  
演題 「就職戦線の展望」  
講師 東洋経済新報社  
第2編集局長  
宮崎 一幸氏

◎教養集中講座

開催日 4月7日(水)  
8日(木)  
9日(金)

「企業採用試験・公務員試験受験」  
講師 公務員試験セミナー  
武藤 政行氏

◎就職説明会

開催日 4月16日(金)  
テーマ 「就職活動を始めるにあたって」

◎就職模擬試験

開催日 4月23日(金)  
講師 リクルート大阪支社  
事業推進課長  
岡本 直也氏

◎産業セミナーと懇親会開催

就職部では、全国の優良企業の人事担当者にお集まりいただき、標記セミナーと懇親会を次のとおり開催しました。

開催日 5月26日(水)  
場所 ホテルプラザ  
講演 「クリントン時代の日米関係はどうなるか」  
東洋経済新報社  
取締役国際業務室長  
伊豆村 房一氏

国庫助成

◎平成4年度私立大学等経常費補助金について  
平成4年11月24日付で申請していただきました標記の件について、平成5年8月20日付で確定通知がありました。

「確定額」  
354,313,000円  
(海外研修派遣補助金2,789,000円を含む)  
※前年度比4・53%増

新刊紹介

太田 幸一 著  
『VILLAシステム』  
—多目的に応用可能なアイコンの  
論理言語のシステム—  
嵯峨野書院 1993年2月発行  
180ページ  
大阪経済大学研究叢書第22冊

西山 豊 著  
『電子体温計の研究』  
法律文化社 1993年3月発行  
300ページ  
大阪経済大学研究叢書第23冊

【おもな就職先】

(水産)	アセガ	マク	ダス	大阪	銀行
宝幸水産	三井物産	三菱商事	大東	近畿	三井
(建設)	住友	フジ	京セラ	住友	住友
佐伯建設	東洋	三洋	東洋	東洋	東洋
大日本建設	三井	三井	三井	三井	三井
南中海建設	三井	三井	三井	三井	三井
竹中洋本	三井	三井	三井	三井	三井
東日若積	三井	三井	三井	三井	三井
積水ハウ	三井	三井	三井	三井	三井
和ハス工	三井	三井	三井	三井	三井
大和熟工	三井	三井	三井	三井	三井
高砂エ	三井	三井	三井	三井	三井
協和(製)	三井	三井	三井	三井	三井
アサヒビー	三井	三井	三井	三井	三井
加昭和本	三井	三井	三井	三井	三井
日不丸大	三井	三井	三井	三井	三井
山崎印同	三井	三井	三井	三井	三井
雪共東三	三井	三井	三井	三井	三井
福カラス	三井	三井	三井	三井	三井
立川ブ	三井	三井	三井	三井	三井
大建家	三井	三井	三井	三井	三井
小野薬	三井	三井	三井	三井	三井
科研京	三井	三井	三井	三井	三井
東山化	三井	三井	三井	三井	三井
富山新	三井	三井	三井	三井	三井
日日本	三井	三井	三井	三井	三井
扶桑薬	三井	三井	三井	三井	三井
持田製	三井	三井	三井	三井	三井
ラカ木	三井	三井	三井	三井	三井
栗本鉄	三井	三井	三井	三井	三井
三協共	三井	三井	三井	三井	三井
和洋製	三井	三井	三井	三井	三井
東京洋	三井	三井	三井	三井	三井
吉川工	三井	三井	三井	三井	三井
旭ダイ	三井	三井	三井	三井	三井

【業種・規模別就職状況】

業種	人数	規模				規模不明
		大企業	中堅企業	中企業	小企業	
農林・水産・鉱業	1	1				
建設	54	33	16	4	1	
製造	287	153	85	47	2	
卸売	251	78	105	68		
小売	120	70	33	14	1	2
金融・保険	143	119	19			5
不動産	15	7	4	3		1
運輸・通信	44	31	10	2		1
電気・ガス・水道						
サービス	122	37	28	26	1	30
公務	46					9 国家 地方37
その他	4					4
合計	1,087	529	300	164	4	90
		48.7%	27.6%	15.1%	0.4%	8.3%

【地域・規模別就職状況】

	大企業	中堅企業	中企業	小企業	規模不明	計
北海道・東北	6					6
関東	147	71	13		6	237
中部	7	2	1			10
北陸	14	13	4			31
近畿	15	3	3	1	1	23
三重	2	2				4
滋賀	6	3	1			10
京都	10	7	12			29
大阪	218	156	82	2		458
兵庫	60	27	29	1		117
奈良	3	2	2			7
和歌山	13	1	1			15
中国	17	7	8			32
四国	8	5	8			21
九州	3	1				4
合計	529	300	164	4	90	1,087

本学で開催された  
学術講演会・学会

◎1993年度 大阪経大会研究会  
◇第1回研究会  
日時 6月18日(金)午後2時  
場所 本館3階 特別会議室  
報告者 国友 順市氏  
テーマ 「イギリス会社法のいくつかの問題」

報告者 楠葉 隆徳氏  
テーマ 「科学史上の原典を編み直す—サンスクリット数学を例にして—」

◇第2回研究会  
日時 6月26日(土)午後1時30分  
場所 記念館7階 会議室  
報告者 L・M・カレン教授



学長と談笑するL.M.カレン教授夫妻



(アイルランド・ダブリン大学近代史学科)  
 テーマ 「アイルランド近代史像  
 再検討の動き(修正主義)」  
 司会 本多 三郎氏  
 出席者 19名

◎第3回中小研フォーラム開催  
 5月15日(土)、ハーバード大学  
 助教授 David E. Weinstein氏を迎え、記念館7階で、「Administrative Guidance and Cartels in Japan (1957-1988): Did MITI Really Coordinate Japanese Industry?」を題して、第3回中小研フォーラムを開催しました。



講演中のDavid.E.Weinstein氏

当日は当研究所の所員や、学外からも中京大学の寺岡寛先生をはじめ、7大学の専門家が出席され、

今回の受講者は、60名(学校関係22名・一般申込38名)。  
 パソコン通信やデータ・ベース操作は初めて、という方がほとんどでしたが、どの講義にも熱心に取り組まれていました。  
 実習には、学生アルバイトを含め、7名のTA(Teaching Assistant)がお手伝いしましたが、大変好評でした。

講座のプログラムは左記のとおりです。

8月18日(水)  
 「情報と流通」

講師 藤本 寿良  
 「パソコン通信および、TSSと電子メール・電子掲示板」  
 講師 松本 良治

8月19日(木)  
 「メーカーから見たコンピュータ産業」

講師 松本 恵一  
 「データ・ベース操作」  
 講師 横本 淳子

8月20日(金)  
 「これからの情報処理教育」

講師 定道 宏  
 「コンピュータによるプログラミング教育支援システム」  
 講師 太田 幸一

活発な討論があった後、和やかな親睦会が行われました。  
 (出席者 計16名)

◎その他の学会

第161回関西中小企業研究会  
 1993・3・27  
 日本経営学会 関西部会  
 1993・6・19  
 第162回関西中小企業研究会  
 1993・6・26  
 日本商業学会 関西部会  
 1993・7・17  
 第163回関西中小企業研究会  
 1993・7・17  
 日本経営診断学会 関西部会  
 1993・8・26

## \*\*\*\*\* 公開講座 \*\*\*\*\*

◎第11回公開講座  
 (大阪府立文化情報センター共催)  
 「メインテーマ」

今、リストラを見つめなおす  
 — 21世紀を生きるために —  
 (趣旨)  
 みんなで同じ夢を見たバブル経済  
 ものの見事に破綻して  
 目覚めてみれば  
 世界情勢は激動の変革期  
 これからどこへ行くのか日本経済  
 現在進行中の

組織と制度の

リストラクチャリングに  
 厳しくメスを入れ総点検し  
 来るべき21世紀の  
 日本を見つめなおす

[日時]  
 1993年9月9日(木)

10月21日(木)

(9月23日を除く) 毎木曜日  
 午後6時30分〜8時30分  
 [場所]  
 大阪府立文化情報センター

〔スケジュール〕  
 9・9 ハイテク摩擦と日米企業文化  
 9・16 米国における産業と金融  
 のリストラクチャリング  
 — 日米比較 —

9・30 人に優しいコンピュータ  
 の役割 松本 良治氏  
 10・7 成熟経済への移行をめざす韓国 宋 仁 守氏  
 10・14 先進国の政治と日本のゆくえ 加藤 普章氏

10・21 経済のグローバル化とヨーロッパ統合の歩み 長岡 延孝氏

## \*\*\*\*\* マスコミ関係 \*\*\*\*\*

◎1993年

4/14 新聞紙上での本学記事  
 夕刊フジ  
 「子供時代のナゾ  
 現代科学で解明だ」  
 助教授 西山 豊

4/20 読売新聞  
 「ルーキー活躍」  
 関西六大学野球

4/21 毎日新聞夕刊  
 「市民教養講座  
 大阪経済大学が開く」

4/26 朝日新聞  
 「大経大の連勝6に伸ばす」  
 読売新聞  
 「大経大、開幕6連勝」  
 関西六大学野球

6/13 日刊スポーツ  
 「大経大男子初代王者」  
 関西六大学野球  
 ハンドボール選手権大会  
 信濃毎日新聞朝刊  
 「来春に著作集刊行  
 思索深める哲学者」  
 理事長 鈴木 亨

8/26 読売新聞  
 「大経大Aクラス入り目標」  
 ラグビー部

9/4 スポーツニッポン  
 「大経大Aクラス入り目標」  
 ラグビー部

9/11 日刊スポーツ  
 「大経大  
 強力FWで勝負」  
 関西学生ラグビー

9/21 読売新聞  
 「ニューフェース活躍  
 大混戦」  
 関西六大学野球

10/17 朝日新聞  
 「地方分権のあり方探る」  
 京都新聞朝刊  
 「進む生活格差拡大」  
 助教授 山本 恒人

◎平成5年度大阪市民教養講座  
 (大阪市教育委員会共催)

平成5年度の大阪市民教養講座  
 は、延べ1,341名の出席者を得て、下記のとおり実施しました。  
 日時 5月15日(土)  
 7月10日(土)

毎土曜日14時〜16時まで  
 場所 50周年記念館大会議室  
 テーマ 法律を通して  
 暮らしを見直す

◎「社会人のためのコンピュータ講座」開催

8月18日(水)〜20日(金)の  
 3日間、経営情報センターにおいて「社会人のためのコンピュータ講座」(93 KEIDA I Summer School)が開催され、無事終了いたしました。



太田先生によるコンピュータ実習

## \*\*\*\*\* 『略奪した文化 —戦争と図書— 』 松本 剛 著

本書では、第1章・プロローグ  
 において、まず本学が登場し、1  
 986年の復旦大学への図書の寄  
 贈、さらには本学の保管文書(文  
 部省の通知文書)が取り上げら  
 れています。そしてこの導入部が  
 本書を構成していくうえで大き  
 な役割を果たしています。



岩波書店 1993年5月刊  
 303ページ 2,600円

戦争は、人命、土地、資源を奪う  
 にとどまらず、図書や古文書、美術  
 品を奪い去り、他国文化の破壊と略  
 奪をも行う。かつての日本も膨大  
 な図書を奪い、自国に持ち帰まし  
 た。中国の人々は、図書館を奥地へ  
 と移動させ、命を懸けてこれを守  
 うとしました。

少年時代の特異な体験に根ざし  
 た著者の視線が、多くの資料を照  
 射し、文化の略奪史を浮き彫りに  
 していきます。戦争について根源  
 的な問題を提起している書物です。



10/24 読売新聞  
 「ルーキー活躍」  
 関西六大学野球

# 短信

## 古文書の読解

家近良樹先生

経大に赴任して、2年目を迎えました。去年よりも若干、余裕ができた分だけ、経大を取り巻く、厳しい現状ならびにバラ色ではない将来に対して、いろいろと考えることが多い毎日です。実にさまざまなことを自分なりに考えますが、その一つとして、将来社会人に開かれた大学となることが不可避と考えています。それで私は、社会人にも需要があるであろう、古文書の勉強に取り組んでいる最中です。もともと、読んでいて、情けないぐらいで、読解力は飛躍的には身につくまいが、とりあえず来年は専門ゼミで古文書(学会未紹介のもの)を取り上げ、学生諸君と読解していこうと考えております。(歴史学)

## 労働体験レポートを

池野重男先生

世の中が動いています、私の思うのとは逆に動いています。このままだと、ますます差別が拡大し固定してしまっています。あなたはどう考えてますか? ぜひ一度、みんなで集まってゼミをしてみませんか?

## '93の仕事

伊田広行先生

93年の仕事としては、主に、女性差別一福祉関連問題をしていました。9月に啓文社から、翻訳『福祉国家の国際比較研究』(テボラ・ミツチエ著)が出ました。竹中恵美子編『グローバル時代の労働と生活』(ミネルヴァ書房)に「シングル単位論観点による社会保障制度・税制度などの再検討」を書きました。久場嬉子・竹中編『労働力の女性化』(有斐閣)に「経済のサービス化の下での性別分離構造」を書きました。赤穂市の「老

## 先生の近況

### OB諸君へ

稻原康雄先生



暫しご無沙汰の間に、ソ連がなくなりロシアに変わりましたが、みなさんはお変わりありませんか。パブル疾病事故など不幸な方々の消息には敏感ですが、音沙汰無き向きは無事の証しとご同慶に存じます。はて「鉄道斜陽論」は、何年の頃だったか。今やアムトラックもコンレールさえも元気に走っています。マイルストーンは石炭に限らず、ダブルスタッカーになって米大陸を横断しています。化石エネルギーの有限性からも地球環境の危機からも、良識が営利原則を制約せざるをえない時がきました。分らないのは、同じバイブルから生まれた兄弟が何故あの民族的宗教的死闘を続けるのかということ。マルクスからマルサスへもあるまいに。迷世教授の話の聞きにどうぞ。

### 元教授

岩井 茂先生



なにしろ満95歳になりましたので、カクシヤクとはい

人保健福祉計画策定調査」および「老人保健福祉計画提言・報告書」を書きました。堺市の「女性白書(女性の現状)」も執筆しました。今は、「家事労働論」の執筆に取り組んでいます。(労働経済論)

## うーむ!!

伊藤正之先生

7月に、長子が誕生したため、夏の間はもっぱら家事と育児とで過ごしておりました。赤ん坊というのを見てみると面白い、という諸先輩からは「親馬鹿丸だし」と笑われるかもしれませんが、なんと言われようと不思議で興味深いものと感じています。

もともとタンパク質の結合でしかないものが、遺伝子情報によって細胞分裂を繰り返すうちにどうして「自我」なるもの、父のものとも母のものとも異なる「個性」と呼ばれるものを手にいれられるのだろうか、考えるとワクワクして楽しくてたまりません。ああ、ゴタクを並べているうちにも、私も一歩一歩親馬鹿チャンリンになつていくんだなあとかみしめる今日この頃です。(投資戦略論)

## 教員の喜び

稲場紀久雄先生

この4月から『生命の科学』を担当しています。私は、生命と環境と経済の諸問題は三位一体であり、『生命の科学』という科目は経済学と深いかわりがあると考えています。生命や環境に対する理解を持たずして、持続可能な発展を支える経済システムを構想することはできません。21世紀の経済を担うことになる学生諸君には、ぜひとも『生命の科学』に関心を持って欲しいと、講義では常にそれなりの工夫に努めています。講義の一環として環境基本法政府案の基本理念、国会審議の内容、この法案が示唆する将来の経済システムなどを取り上げた時は、熱心に耳を傾けてくれました。この時初めて教員としての喜びが理解できたと感じました。(生命の科学)

## 退任のあつち

井上 清先生

私は1993年3月末をもって特任教授の任期が満了し、4月1日付をもって本学名誉教授の末席を汚すことになりました。思えば戦後の混乱の真つ只中、1947

## 先生の近況

### 蟬しぐれ

倉辻平治先生



えませんが、とにかく日常生活には支障なく暮らさせていたでいます。実をいうと2カ月前、高い所のものを取ろうとして、しりもちをつき、したたか腰を打ち安臥してしまいました。が、今では平癒いたしました。ありがたいことです。今までに書きためた色紙がかなり多数ありますから、もしご希望の方があれば送らせていただきます。ご遠慮なくお申し出ください。蟬しぐれ

が、暇な折には、学校でも自宅でも、どちらでも結構ですから連絡してください。飲んで歌って、近況などお話しただければ嬉しいのです。彼(女)のいる人はぜひ同伴してください。学生時代の笑話で盛り上げてさしあげますので。

(会計監査論)

### 上田ゼミ同窓生のみなさんへ

上田 慧先生

元気でご活躍のことと思います。私は最近、学会などの報告が多く、公務も多忙な毎日です。後輩諸君は、ワープロ・統計実習、卒論執筆、懸賞論文応募など、熱心に勉強し、就職も良い結果を出しています。ゼミ旅行は、前年度はアメリカ西海岸。淀川でのソフトボール大会も復活しました。

ゼミ同窓生は、現役含め500名になりました。6月に、1部ゼミ2期生が本学でOB会を開き、他日、現役生に就職ガイダンスまでしていただきました。懐かしさとともに、たいへん感謝しております。

みなさんは、多忙とは思いますが、健康に留意し、いつその活躍を願っています。できましたら

暇なときに、異動先などの近況を知らせてください。(公益企業論)

### ウオリック大学の生徒たち

小川雅弘先生

今年4月1日から1年間の予定で、イギリスのウオリック大学(コベントリー)で勉強しています。下宿と図書館とスーパーマーケットの3カ所を往復する毎日です。学期中の図書館は、たいへん混雑

していて、開館時には入口に行列ができるほどで、空席を探すのに苦労します。学生たちは本や専門誌、統計を山積みにしてレポートを書いていきます。1、2週間の集中的なゼミナール講義のあと、1、2週でそのレポートを提出するという繰り返しだそうで、かなりきびしい学生生活のようです。もともと一つの学期は10週間といっても、実質はもっと短く、7週目くらいから学生の姿は減っていつていきます。(国民経済計算論)

### 奉職7年目

片山麻美子先生

経大の変化を最近肌で感じるよ

とを望んでいます。

(経済学特殊講義)

### 絶対矛盾の自己同一

高寺貞男先生

京大を定年で退いた後、本学に移ってきて、「会計情報システム論」と「人間情報処理論」を担当しています。

これまでと同じように、すべてに渡ってが制約条件の下における選択ではなく、制約条件そのものの調整を志向して、非線型的な微調整を積み重ねてゆきたい、とっています。

とはいえ、根が茨城県育ちですので、時として「水戸っば」流のリゴリスティックな行動に出ることがあるかもしれません。その折には、「また始まった」と軽く受け流していただければ幸いです。

本人は常に「絶対矛盾の自己同一」に心がけていますので、よろしく願います。

(会計情報システム論)

### 私の夏休み

滝内大三先生

みなさんお変わりありませんか。私は今夏、完全に1ヵ月間、自宅軟禁の状態で、留学時代の成果をまとめました。苦しくもまた充

うに思います。決して大きくはないキャンパスですが、頑張っている学生に出会えるのは嬉しいものです。4年間のうち、英語の授業で提供できるのは、ほんの少しの知識で、時には教員の私が逆に励まされ、学生のみなさんと一緒に英語を学ぶのを楽しんでいます。卒業していった方々にも大学時代の「はつらつ」とした気持ちを失わず、精進してください。私もやっとなんか最近になって自分の関心の本が少し読めるようになって喜んでいます。(英語)

### 近頃のぼやき

久保田 諄先生

私の最初の「宇宙科学」の講義を聞いた卒業生の子供が、また私の授業に出席しても不思議ではないほどの年月が流れました。思えば今から27年前の宇宙科学は内容的に大きく違っており、その間、この分野の進展は目を見張るばかりです。昔、熱心に講義を聞いてくださった卒業生の諸君に感謝しています。現在の本学における講義では講義終了後の質問もほとんど無く、少し寂しい感があります。学生の気質が昔と大きく変わったためです。

実した毎日でした。1日14時間机の前に座り続けると、今まで見えなかったものが、少しずつ見えるようになりました。そのかわり、浮世のことはさっぱり分からなくなり、世間オウチの私は、この激動の時代に、ますますとり残されていくのかもしれない。しかし、すべてを忘れて打ち込める体力と気力がまだ残っていたことに、満足のいく夏休みでした。(教育学)

### 先生の近況

#### 短歌で近況を

平 實先生



私は、神のお召しに従って、我が天職を全うしたり。私は経済学の研究に思い残すことなし。経済の学を究めてよかつたとは、しみじみ感ず昨今なるが、さはあれど、ロマンチズムは本来の我が性格に根付きものよ。それゆえに文学老年に立ち戻り、余生を愉しく過ごさんものと、かくて今、水を得たりし魚のごとく、我はヒチヒチ跳ね回りける。詩をつくり、短歌を詠みて俳句吟じ、川柳ひねる日々を送りぬ。なかなか短歌の道に深入りし、10冊近き歌集を出せり。我が夢は、茂吉・品子に劣らざる短歌の数を詠み残さんと、欲張りて英・仏・独語の歌集など、いつか編みたく野望を持てり。

#### 人間相互皆師論

田中健一先生



茲に師とは我々が学び学ばせてくれる他人のこと、その意味で人間は相互に皆師なのである。親は赤子をもって初めて種々のことを学び教えられ、学校教師もその教え子から種々学ぶことが多い。実に親や学校教師の師は、自己の子供であり教え子なのである。老生は文字通り健(康)一(番)、老犬ならぬ老健(84歳)なのだが、55年間の学研・教育生活第一線引退後、老妻がアルツハイマー型痴呆・恐怖症・脚弱となつて5年、加えて去る7月、左手首骨折、ついにねたきりとなつたため、家庭介護・家事万端に努めねばならなくなり、これまで老生に「教えて」といつてきたのと逆現象を来しているのである。ここに、人間相互皆師論を以前に増して強調するのである。

最近、学生たちと旅行して思うのですが、事前に中学生に対するのと同様な細かい指示が必要で、それを怠った場合には驚くべき事態が発生することがあります。これを家庭教育の欠除とか受験教育のひずみだと逃げて良いのでしょうか。

(宇宙科学)

### 私の近況報告

末永隆甫先生

私は今年度で、本学での教師生活を終了します。ふり返ってみれば1981年5月に特任教授として本学で勤務するようになって以来、すでに12年を越えました。最初に勤務した大阪商大・大阪市大経済学部で26年、次に勤務した神戸商大で9年間ですから、本学での勤務は神戸商大時代よりも長く、学者生活47年のうち、最後の4分の1以上を本学で過ごしたことになります。過去半世紀近い学生生活の最後の締めくくりとして、私は目下、ライフ・ワークの作成に努力をしており、自身の経済原論を書きつつあります。構想が膨大なので残存寿命の間に完成することは困難かも知れません。心ある若い研究者が追跡してくれるこ

## TOPICS

### 奥山岳風と中国・蘭州の書画家

書道家・奥山岳風(正美)さん(21)は奈良県橿原市で書会を主宰、92年日中友好20周年を記念して訪中、中国蘭州の書画家の作品を権威ある『書道藝術』に紹介して交流を深め、あわせて当会25周年記念展を迎えられました。

また、同氏は毎年4月29日(みどりの日)には、橿原文化会館で書展を開催、子弟の書道教育に精励されています。(前田記)

### 北京经济学院代表团が来学

10月22日(木)午後、夏期の中国語研修の受入校としてお世話になっている「北京经济学院」の副院長、ほか3名の訪日代表团が本学を訪問されました。

今回は、今後も本学との交流を深めたいという趣旨で訪問されており、本学側からは、学長はじめ連絡協議会の代表、国際交流委員、中国関連科目担当教員などが出席。学内で昼食・懇談会および学内見学を行った後、京都で歓迎夕食会を開きました。

懇談会では、夏期の研修を継続・実施していくほか、今後の交流について前向きに検討していくことが話し合われました。

ゼミの声を

谷口明丈先生

我がゼミのテーマは、長年にわたって巨大企業の戦略とか組織を中心としたものでした。その成果は、1986年度から『日本電気の研究』『松下電器の研究』『トヨタの研究』『電機産業の研究』『現代企業の経営戦略』『現代企業の研究』『現代企業の戦略展開』という卒業論文集にまとめられてきました。昨年、阪大と一橋大に内地留学をした際に、考えるところがあつて、今年は「サラリーマンの研究」という新しいテーマで勉強をしています。サラリーマン受難の時代ともいえるこの頃ですが、現役サラリーマンの生の声をゼミの後輩に聞かせてやってくれませんか。その気になったら連絡してください。(経営史)

日独経営比較研究

田淵 進先生

一昨年から日本とドイツの研究者それぞれ約10名のグループに加わり、両国の経営の比較と研究に携わっている。両国から1名ずつペアをつくり、一つのテーマにつ

今年のカリ

(経営学総論)

田村寛康先生

今年のゼミは、国宝『一遍上人絵伝』(鎌倉時代)を講読しています。この絵巻は、一生を賦算と遊行に生きた捨て聖、時宗の開祖一遍智真の伝記です。現在、4巻目あたりを講読中なので、当初目標にした12巻を通読することは、少しおぼつかなくなってきました。しかし、日本の四季折々の自然を描いた大和絵の美しさと、神社仏閣的確な描写力、流麗な詞書などを通して、『質実な鎌倉美術を十分に満喫してもらっているもの

と確信しています。ゼミの主旨はこの点にあるのですが、一切を捨てた一遍上人の生きざまを見て、この恵まれた時代に生まれ育った学生諸君が今後の人間形成の肥しにしてくれることをも念願しています。(芸術学)

ある夏の日の開き直り

土居充夫先生

戦後の日本で、なぜ自民党だけが強いのか。これが今年度の講義のテーマである。結党以来、自民党はずつと政権にいたわけだから、自民党を語ることは戦後日本政治を語ることでもある。私のテーマ設定はきわめて常識的なものである。ところが総選挙後の8月、非自民の連立政権が誕生したので。

政治学者であるのに、なんと想像力の乏しかったことか。しかし思い出してみれば、ソ連の消滅やベルリンの壁の崩壊、少し古くなるがオイル・ショックやニクソン・ショックと誰もがびっくりしたのではなかっただろうか。そうだとすると、想像力が乏しいのは私だけではない、それに先が見えないことはある意味で面白いことだし、自分を慰めたのであった。(政治学)

最近の関心と

研究テーマ

長岡延孝先生

ヨーロッパ諸国の政治や経済について研究しておりますが、激変が続き、なかなか本質をつかめない状況です。景気や政治の一時的な変動にとらわれず水面下に流れるものを明らかにすることが、肝要であると思います。ヨーロッパの情報を集めることに追われ、ゆつくり考える時間を持ってないことを反省しているこの頃です。同時に、激変する日本についても、考えなければならぬと痛感していますが、なかなか果たせず、少しあせっております。(経済政策)

中川操ゼミのみなさんへ

中川 操先生

こんにちは。みなさんの休み中、いつも私はアメリカに居るので申しわけなく思っています。私の米国の家(ワシントン州、スポーケン市)は、経大主催夏期英語の研修が行われる場所でも過去の参加者3名が現在大学院で学んでいます。その一人の中川昭君は、まもなく

ドイツの今・日本の今

六浦英文先生

新聞や雑誌で、「アウトバーン94年に有料化」、「独、福祉削減に着手」、「シラー劇場閉鎖決定の波紋」などという記事を読むと、統一ドイツが現在抱えている財政・社会問題の深刻さが、こちらにも伝わってくる。文化や自然環境を大切に守ろうとするドイツの基本方針に変更があるだろうか。長い目で見て、そうは思えない。

一方、日本は、巨額の貿易黒字を抱えて、他の国から羨まれるくらいである。それなのに、庶民の胸のうちに、豊かさの実感が少しも湧いてこないのはなぜだろう。国民は本当に黒字の恩恵を受けているのだろうか。日本は「生活者重視の政治」に方向転換できるのだろうか。そんなことを考えているうちに、冷夏が過ぎていく。(独語)

お礼と近況

山本晴義先生

まずは昭和61年以来、昨年に行たるまでの学長在任中、磯野会長はじめ各支部長、同窓会のみなさまからいただいたご支援・ご厚情に対し、衷心よりお礼申しあげま

もつと本を読んで、もつと文章を覚えて...

永野 仁先生

経大に勤めて27年目になります。ペテランと呼ばれる歳頃ですが、私自身は、いまだに若造の気分です。

一番の苦労は、作文の添削。受講者数の制限をしたくなる年があります。それこそABCから訓練しなくてはならないほど、今の大学生は文字を知らず、文章が書け

ないのです。ただし、「文章表現」を担当する者の役得というものがあります。若者の「心」が分かることです。数年後に還暦を迎えるので、そろそろ研究論文を一冊の本にまとめなくては...と、思いはじめています。たまには、母校を訪ねてください。私の住所も電話番号も、20年前と同じなので、連絡もしてください。(日本文学)

後輩の就職をよろしく

松原和男先生

卒業生のみなさん、元気で活躍のことと存じます。不況の折から、今年の就職は難しいと言われていましたが、ゼミの諸君は、みなさんのご尽力もあつてなんとか内定をもらったようです。私は今春から就職部長を辞めて、大学院委員長をすることになりました。が、苦労性からでしょうか、ゼミ生や学生諸君の就職は相変わらず気がかりでした。本学の就職の向上のために、今後ともみなさんのご協力をお願いいたします。

私のゼミのトピックス 今年の教養ゼミには女子学生が8人、(こ

一年間の充電

松村文武先生

ゼミOG・OBのみなさんお元気ですか。私はこの1年間、京大に籍をおく形の国内留学中の身です。朝起きて一日中研究することのみが仕事なのです。生まれて初めてのことです。自分が研究者であることを実感しています。大学は一職員退職問題がまだスッキリと解決しておらず、本学の今後にとって大きな汚点といえます。「お上一人のため民草枯る」という敗戦時、駐ソ大使の特電が想起されます。さて、小生4年間の就職直後の内留ゆえ、リハビリを兼ねながらの研究生活と生きていたのですが、出版社に寄り切られました。『体制支持金融の世界』ドールのブラックホール化(青木書店、1994年1月刊行予定)の執筆に追われ、週休二日さえ取れない毎日です。みなさんのご健勝を祈ります。(国際経済論)

私のゼミのトピックス 今年の教養ゼミには女子学生が8人、(こ

す。本当にありがとうございました。

その後、教授として元に戻り、本来の研究と教育に専念しております。常時、学生諸君と直接交わるよろこびを味わっております。目下のところ拙著『新しい思想の地平』の原稿の完成を目指して四苦八苦しているのが現状です。

どうか今後ともよろしくご指導のほどお願い申し上げます。  
(倫理学)

### 不況の時こそ

#### 実力を発揮

渡辺 泉先生

OB諸君、元気で活躍のことと思います。不況の波はかなり深刻です。が、考えようによっては、こんな時こそ実力が発揮でき、面白い仕事ができるのかも知れません。ともあれ、頑張ってください。役職から解放され、本業に専念しています。11月末には、次の本『決算会計史論』（森山書店）が出版されます。寝つきの悪い諸君にぜひ1冊。現在、『税経セミナー』にも毎月掲載しています。一度本屋で立ち読みでもしてください。スコットランドの勅許会計史協会から『スンマ』出版500年の

記念フェスティバルの招待状が舞い込みました。せっかくの招待なので、行ってみようと思っております。3月初めのエジンバラは、まだ寒いかも知れません。  
(複式簿記システム論)

## ゼミOB会

### 勉強と歓談の交流

清寿会文化サロンOB会

1月31日、湖西は北小松のビワ湖クラブで一泊し、鶴田廣巳教授から「日本経済と資産アフレ」の講演を聞き、一夜懇談した。

4月3日、大阪城京橋口赤レンガビル前の庭園で桜狩りをする。

5月22日、大学院講師の松本茂郎先生宅で、イタリアはナポリ大学院生のフランチェスカ・パツチアノさんを囲んで、「イタリア人の見た日本」を話題に、楽しく一夕を過ごした。

8月28日、大和御堂筋倶楽部で、6月下旬にロシア旅行をした酒井亮介氏の「ロシア経済の民営化を中心に」を話題に歓談した。

今後も好企画を準備中、経大卒生なら誰でも参加できます。参加ご希望の方は、下記連絡先まで。

### 青春を我が手に

清寿会（井上ゼミOB会）

井上先生ご夫妻を囲んで発足した「六甲シルバー会」。14回の野鳥さんなど、多数の参加者が「青春時代を振り返り、今再び青春を」と、8月7、8日に六甲保養荘に集いました。今回は5周年記念会



元気な六甲シルバー会

です。

写真は、酒井夫妻、蒔野、貝塚、菅、福田、中山、松本、中村、細井、北辻、宗田、内海、石川、野

菅 脩 (16)

### 11年ぶりの再会

上田ゼミOB会

去る6月13日に、上田ゼミ2期生の同窓会を母校50周年記念館会議室において開きました。

当日は、11年ぶりの再会ということもあり、学生の頃の話や仕事、結婚、家族の事など、話題が尽きることなく盛況のうちに終わりました。また上田先生より、卒業後の経大の様子やゼミの歩みなどもお聞きしました。そのお話の中で、今春、先生が経営学部長に就任になり、公務にご多忙な様子も伺いました。今回初めてゼミ同窓会を開きましたが、今後も定期的に行いたいと思います。

島、吉田、野村、と先生ご夫妻。榎田、竹延両氏も出席。常連の陰下氏は急用で欠席し、残念でした。前夕は、飲んで語ってカラオケ（井上夫人は美声）で賑わい、二次会は文化研究発表（酒井氏）や麻雀会と深夜におよびました。頭髪すでに銀色といえども、その意気たるやまさに青春。翌朝は温泉に浸り、再会を誓いました。前回は藤原先生も来ていただきました。5周年を機に、当会の幹太くなれと、握手のうちに散会しました。  
中村行男 (16)

今回の同窓会を機に、上田ゼミ卒業生名簿を作成しますので、ゼミ卒業生のみなさまは、必ず左記住所までご連絡先をお知らせください。

立見政弘 (48)



若き恩師を囲んで

### 冷夏・不況もなんのその

倉春会（倉辻ゼミOB会）

今年も倉辻先生を囲んで、楽しい一夕を過ごすことができました。今年初の試みとして、土屋先輩の提案で参加者全員が近況報告を行い、世代を超えた交流が一層充

実したように思います。

一念発起で転職された方、娘さんが嫁がれ奥様とのフルムーン気分先輩、経済不況をものともせず活躍中の若者…など、いろいろなスピーチが飛び出し、会場はアツトホームな雰囲気でした。

わずかなひとときではありましたが、来年7月第2土曜日の再会を約束し、学歌熱唱、万歳三唱で散会いたしました。



月…生徒師弟が幹負いもちて…月

本誌をご覧の倉春会員諸兄の参加を心よりお願いし、今年の倉春会のご報告とします。

先生は、ますますご健康、バンザイ!!  
森川雅晴 (39)

### 生涯学習ゼミ

松村(幸一)ゼミOB会

毎年梅雨の候、お初天神近くの居酒屋で、酒を酌み交わすのが恒例となつてから、早20年が過ぎようとしています。学生時代、ゼミが終わってからソフトボールを楽しむのが習慣となつた我々のため

に、わざわざ新しい運動靴を買ってまで参加していただいた松村幸一先生を囲んで、厄年を迎えた10人余りが、今年も元気に集いました。

営業の第一線で働く企業戦士たちが利害関係なく、業界・職場の現況、子供の教育・進学問題などを語り、それを学生時代と変わらないあたためたい目で見守つてくださる松村先生。昭和48年度の松村ゼミ卒業生は、楽しく「生涯学習ゼミ」を続けています。

また来年は、卒業20周年の記念ゼミ旅行を計画しています。  
八木真一郎 (40)

## TOPICS

### 「淀川定期戦」30年の歴史に幕

昭和39年、淀川の流れをはさみ南北に位置する大阪工業大学と本学の定期戦が発展した「淀川5大学総合定期戦」は、今回の記念大会をもって幕を閉じることになりました。

今回が最後となる第30回記念大会は、大阪電気通信大学が主催校となり、6月5日から2週間にわたり熱戦を繰り広げました。本学体育会所属チームは、同定期戦の最後を飾るにふさわしく、26度目の総合優勝を成し遂げました。



訃報

北里武三先生の

真摯な人生を慕う



本学名誉教授北里武三先生が、2月5日に逝去されました。享年86歳。

先生は、昭和25年本学に赴任、昭和56年3月最後のゼミ生を送り出すまで、数多くの人材を世に送り続けられました。図書館長、経営学部長、専務理事の要職を歴任

されました。また研究の分野においても、『ペイトン・リトルトン企業会計序説』の翻訳の業績を残されています。

その温厚で、人生に対して真摯に生きた先生に共感をもたれた方は多かつたと思います。

戦争中、京都の軍需工場長として働く人たちを守った日々。大学において、専務理事として、大阪経済大学の財政を一手に担って悪戦苦闘された事は、先生の姿をよく表していると思います。晩年の先生の口癖は、「私は、何も思い残す事はないんです。一家総勢二十数名の子や孫に囲まれて過ごすことが何よりの楽しみ」でした。

何の気負いもなく、優しいまなざしを見ていると、まるで自分の祖父と接している気持ちになりました。惜しむらくは、先生に永遠の命が与えられなかったことです。しかし、先生の教え、思いは、いつまでもみんなの心から離れるこ

とは決しないでしよう。冥福を祈り、合掌。

北里ゼミ25期生  
大門 由秀 (46)

浅沼玄恵先生を追憶す



京都のある骨董屋に上がり込んで談じていると品のよい小柄な紳士が音もなく入ってきて、私を見るなり「おお」といって「何かありましたか」と弱い声で話しかけてきた。

これが骨董を介しての先生との交流のはじまりであった。先生ご自身の話だと大学2年の頃、詰襟服ではじめて東京美術倶楽部の交換会に見学的参加をしたということであった。古い話である。

骨董に対しては周囲の人々の雑音に惑わされることはなかった。それは先生ご自身の人生観に深く根差していると思われた。淡泊にして執拗、好みに合わないものは数千円のものでも買わず、欲しいとなると百万のものにも挑戦した。箱書きや形式を重んずる茶方のものに手を出さず、くすりのない陶器や鉄製のものを好み、きずものでも時代があり、ほのぼのとした味わいのものを愛した。その点で先生は、関西の珍品堂主人であったし、気品あふれる孤高の数奇者であった。

経済学部  
教授 浜田 幸策

訃報

鈴木正里先生を偲ぶ



平成5年2月末、元教授鈴木正里先生が逝去されました。先生が遺された業績につきましては、多くの人の知っておられることでもあり、公的なご生活については他に適当な方がおられることでもありと思われま

す。小生は「もはや戦後ではない」と言われ始めた昭和29年鈴木ゼミ第1期生として、第2期生とともに先生の薫陶を受け、卒業後も、およそ40年に渡り、懇意なお付き合いをしていただきました。長岡

京市のご自宅にも参上させていただいておりました。大阪、京都の酒席に同伴させていただきました。人生論、社会論を良く伺ったものでした。先生は大阪経大を退職するや、福祉事業に身を投じられ、結果的にはこのような事業に冷淡な社会組織に一穴を開ける契機となったのも、先生のお人柄のせいであつたと申せましよう。

聞くところによりますと、ゼミ2期生のF君などは、先生の自宅へ泊まり込みで卒業論文を仕上げたとか。先生の温厚なお人柄と相俟ってゼミ生全員の信頼は、絶大なものがあつたように思われます。とくに小生などは卒業後、四国の高松に居住しておりました関係上、上阪する度に、土産として「さぬきうどん」を持参して参りましたが、「うまい、うまい」と舌つづみをうってくださった先生のあの笑顔は今も忘れることができません。小生も、両親がこの世にはおりません。鈴木先生の死去は、

もうひとりの父の死去のように思われます。本当に衷心より先生のご冥福をお祈り申し上げます。この気持は、鈴木ゼミ卒業生全員の心境と思われま

鈴木正里ゼミ1期生  
萩本 (六車) 実記 (22)

松本 剛先生の思い出



私が本学の2部に入学したのは昭和37年、松本先生は20代、講師になられて間もない時期で、文学を愛する社会正義に燃える先生でした。

夢と知識に飢えた我々との初めての出会いは、授業を終えた夜9時頃から当時顧問をされていた、会計学研究部の学習会で、勉強の内容は高度でした。テキストは馬場克三著『減価償却論』、ノートは取り方についての質問に対しては、レーニンの『国家論ノート』を拝借しました。学問の必要性とおもしろさを教えていただいたと思っています。

卒論は、直訳で意味をなさない外国文献の翻訳文を丁寧に赤ペンで修正された原本が我が書架に眠っています。不幸にしてその後、病気がちな不本意な人生が続く中、学者の自分を忘れず、専門外の本も出版され、納得のいく人生を歩まれたと思います。ご冥福をお祈りするばかりです。

松本ゼミ第1期生  
植村祐三 (32)  
(関病中、最後の出版となった『略奪した文化』は、本誌31ページで紹介されています。編集部)

# 父母懇談会にあわせて支部総会を開催



同窓会 会長  
磯野 啓

関西国際空港の来年9月開港が確視される昨今、欧米をはじめ、アジアの世界四十数カ国が新空港乗り入れを予定していることを考えると関西空港の開港は、東京を経由しない大阪の国際化を画的に促進し、世界情報の集合と人、物、金の交流拠点として、関西全体の活性化と新事業を誘発することになると思われますが、長期不況に喘ぐ関西経済界をはじめ各業界の期待は大きく膨らんでいます。

この時期に大阪市立大学は社会教育の一環として夜間大学院の開校を発表しました。社会的要請に即応するその速さに驚きました。母校大阪経済大学は、そのアカデミックな伝統を生かして、大阪府公開講座を開講してすでに11年、市民の間に定着した評価を得ておりますが、市内の立地条件を生かして、更に国際人教育に新しい構想を展開して欲しいものです。

高、香川地区で開催された父母懇談会は、上島新学長に積極的な引継ぎが行われ、今年も金沢に次いで岡山、香川で極めて成功裡に開催されましたが各地域における同窓会ではこの大学行事に合せて、支部総会を開催しました。どこでも盛大な大会合となり、大学の将来について新学長の抱負を拝聴する良い機会になりました。

本年も職域支部が誕生しました。数年にわたる懸案であった国税局支部が長谷川周平氏のお骨折りで大手前大樟会として力強く発足しました。これを機に110名を数える会員相互の親睦を図り交流を深められるようお祈りする次第です。

平成5年10月

## 平成5年度 総会レポート

平成5年度同窓会総会は、恒例の11月3日(文化の日)、母校50周年記念館で開催された。

### ◆総会セレモニー

津秋総務部長(20)の司会で開会。物故者の冥福を祈り黙禱を捧げた後、水納総会特別委員長が、人生における人とのふれあいの大切さを経験談を交えて話し、各自がこの日の会合を有意義なものにしてほしいとあいさつした。グリーンクラブの学歌斉唱に続いて、磯野会長から、次のような要旨のあいさつがあった。

- ①不況下にあつて、その影響を心配したが、鈴木理事長、上島学長はじめ来賓多数のご臨席、また例年にも増して多くの会員諸氏の参加を得て盛大な総会を開催することができたことを嬉しく思う。
- ②新会員の前途を祝福し、相携えて母校並びに同窓会の発展に努力したい。
- ③母校の後援会主催の父母懇談会が開催されている地域においては、同窓会支部総会もその日程に合わせて開催。今後より一層大学当局との関係を親密なものにしたい。
- ④卒業生の国税職員によって、新

しく「大手前大樟会」が結成されたが、今後ますます新しい組織が結成されることを希望する。

⑤全国各地に同窓会支部が結成されているが、支部創設以来その発展充実に尽力され、この度、その職を後進に譲られた支部長各位の功績をたたえ感謝状を贈りたい。

⑥寮友会有志一同による記念碑の建立並びに創設10周年を迎えた愛媛支部有志一同による記念植樹の目録贈呈が行われる予定であり、また、昨年に続いて母校に多数の樹木を寄贈された清水好喜代氏(3)らの母校を愛する会員諸氏に心から感謝の意を表する。

- 来賓ごあいさつ
- 鈴木理事長ごあいさつの要旨
- ①平成7年には、経営情報学科新設に伴う文部省の制約も緩和されるので、新学部・学科の増設を目標に努力したい。
- ②経営学部の大学院設置に努力するとともに生涯教育を念頭において、第2学部の活性化を図りたい。
- ③18歳人口の激減期を迎え、経営は非常に難しい局面を迎えるが、卒業生の岩谷専務理事(11)、桑律学内理事(11)の就任を得て、今後の発展に努力したい。
- 上島学長ごあいさつの要旨
- ①本学は以前から先生と学生の親

密な関係を維持してきた。新しいカリキュラム導入によって、新入生からゼミに参加するよう、小人数教育の実践に努めたい。

②新学部・学科の増設は非常に困難な事業である。今後の大学経営にあたっては、常に「先見の明」を持たねばならない。

岩谷専務理事ごあいさつの要旨

卒業生として、学校の経営に携わることとなったが、これからは母校発展に尽力したいと思うので諸氏の協力をお願いしたい。

- 来賓紹介
- 波根広報部長(32)から、来賓各位の紹介があった。
- 感謝状贈呈
- 前三重支部長水上敏夫氏(3)、前和歌山支部長松本旬弘氏(5)、前岐阜支部長坪内敏男氏(9)、前鳥取支部長亀井寛氏(12)の諸氏が退任されたので、その功績を称え感謝状が贈られた。
- 目録贈呈
- 寮友会有志が学生寮跡に記念碑を建立し、愛媛支部から創設10周年を記念して母校に桜の苗木が寄贈され、それぞれの代表から鈴木理事長にその目録が贈呈された。
- 支部長・同窓会来賓紹介
- 陰下事務局長が支部長・同窓会長・顧問・副会長を紹介し、セ

## 平成5年度 理事会レポート

レモニーのすべてを終了した。

### ◆総会パーティー

車野組織部長(27)の司会で開会し、恒例の鏡開きに続いて、3学部長・大学院長を代表して、上田慧経営学部長の音頭で乾杯の祝杯をあげ、会場の雰囲気は一気に盛りあがった。

- 参加者は例年より多く、会場は少々窮屈かと思われたが、お茶席の利用者も結構多く、和やかな雰囲気の中に予定時間は過ぎ、グリーンクラブの道通歌斉唱の後、井阪東京支部長(19)の音頭で万歳三唱し、午後2時散会した。
- ◆日時 平成5年6月26日(土) 午後6時開会
- ◆場所 新阪急ビル12階、レストラン・パレス
- ◆磯野同窓会会長あいさつの要旨
- 毎年この会合で元気に再会できることを大変嬉しく思うが、今後とも健康には十分留意されたい。
- 決算・予算については各担当部長が説明するので、慎重に審議願いたい。
- 三十数年前、当時の財務担当長岡辰生氏(5)の提案で、こつこつ

積立てしてきた基金が今年度で1億円... 円の太台に乗ることになり、継続... 今更ながら痛感している。

◆議長選出

慣例によって、磯野会長を議長に選任し、直ちに議案を審議した。

◆議案審議

第1号議案 昨年度決算について 本案件については、中村財務部長(31)が収支各項目の詳細を説明し、その後6月15日に山上監事(2)が監査を行い、その処理は「正確かつ適正であった」旨の監査報告が行われた。続いて、議長が本案件について、その賛否を問うたところ満場一致で原案通り承認可決された。

第2号議案 本年度予算(案)について

水納総務部長(25)が、平成5年度予算案について、とくに今年度は同窓会の財政基盤充実のため特別基金組入1,000万円、スポーツ・学術振興積立金700万円を計上したことなど、各項目について詳細な説明を行い、本案件について、満場一致で原案通り承認可決された。

可決された。

第3号議案 役員改選について

水納総務部長(次期役員選考委員長)が、本部役員全員が任期満了となることを説明の後、常任理事会で選任された、次期役員選考委員会委員の氏名を発表し、選考委員一同は、直ちに別室で協議の結果、新常任理事並びに監事が選任された。

選任された常任理事は直ちに別室で協議し、磯野会長を次期会長に再選した。

第4号議案 その他

磯野会長から、永年常任理事、監事を務められた山上善彦氏(2)を顧問に推挙したい旨の提案があり、続いて、陰下事務局長が理事各位に留任を要請し、全員異議なくこれを了承し、議案の審議を終了した。

議案審議終了後、来賓としてご臨席いただいた鈴木理事、上島学長以下15名の教職員各位にご入場いただき、鈴木理事、上島学長のお祝いの言葉に続いて、松村幸一入試部長、田淵進就職部長から今年の入試状況、就職状況についてご説明をいただき、陰下事務

局長がご来賓各位を紹介して理事会を終了した。

当日ご臨席いただいたご来賓各位。 鈴木理事、上島学長、渡辺泉経営学部教授(理事)、香川一男教養部教授(理事)、森田寿一経済学部長、上田慧経営学部長、門田俊夫教養部長、北村実経営学部教授(教務部長)、八木田恭輔教養部教授(学生部長)、松村幸一経済学部教授(入試部長)、田淵進経営学部教授(就職部長)、北崎豊二教養部教授(図書館長)、森川滋教養部教授(広報委員長)、中田伊織事務局長、鳥居洋総務部次長、(順不同)

恒例の懇親会は、例年通り立食パーティー形式で開催。 来賓の教職員各位と同窓会役員が和やかに懇談し、午後8時30分、来年の再会を希望しながら散会した。

◆懇親会

平成5年度 全国 支部長会リポート

日時 平成5年6月26日(土) 午後2時30分から

場所 新阪急ビル12階 レス トラン・パレス

出席者 磯野会長以下常任理事15名並びに東京・東海・岐阜・滋

賀・京都・富山・福井・和歌山・和歌山市・奈良・大阪市・大阪市役所・豊中・尼崎・西宮・神戸・丹有・姫路・岡山・備後・広島・山口・香川・愛媛・徳島・熊本・南九州の各支部長(代理を含む)

◆開会

今年度の支部長会は、前年度の支部長会および平成4年度同窓会総会の後で開催された支部長会連絡会の際の懸案事項もあり、中山西宮支部長の開会のあいさつに続いて、磯野会長から経過報告も兼ねて要旨次のようなあいさつがあった。

①新卒会員の入会を歓迎し、その前途を祝福したい。

②支部長各位の努力によって、全国各地の支部が力強い発展を遂げ、とくに、昨年は広島・高松において大学後援会主催の父母懇談会が開催され、学長以下多数の教職員が協力され、それぞれの支部がその日程に合わせて総会を開催されたこと、さらに今年には金沢・岡山・高松で父母懇談会が開催されるので、それぞれの地域において立派な成果が得られるよう協力を要請する。

③最近、職業会計士の会員諸氏によって「税理士大樟会」が、東京では1部上場企業の役員諸氏によって「東京春秋会」が結成され、

さらに国税局に勤務する会員諸氏によって「大手前大樟会」が発足することはまことに喜ばしいことである。

◆協議事項

前年度同様、梶村丹有支部長(支部長兼幹事長)を議長に選任し、筒井豊中支部長の司会で協議をすすめる、おおむね次のように取りまとめられた。 ①諸事情の経緯は了解した。会長の尽力に感謝する。 ②母校は建学以来の重要な時期に直面している、関係者は一丸となって、特徴と魅力ある大学づくりに努力してほしい。 ③そのためには、次の事項の実現に努力されたい。

◆協議事項

イ 大学の積極的、効果的なPR、誠意ある入試説明会の開催。

平成4年度収支決算書 (単位:円)

自平成4年4月1日 至平成5年3月31日

Table with 6 columns: Section (収入/支出), Item (科目), Budget (予算), Actual (決算), etc.

平成5年度収支予算表 (単位:円) 自平成5年4月1日 至平成6年3月31日

Table with 6 columns: Section (収入/支出), Item (科目), Budget (予算), Summary (摘要), etc.

ロ スポーツ振興による知名度の高揚と効果的な推薦入試制度の検討。

ハ 好感を持たれる高校・予備校、マスコミ対策の実現。

ニ 教職関係卒業生との懇談会を継続し、協力関係を密にされたい。

最後に太田大阪支部長のあいさつで閉会した。



富山支部は富山県内に在住の約200名の同窓生により構成され、母校の発展を願ひ、みなさんの親睦を図りつつ、職場や地域でそれぞれ活躍されております。年1回

## 富山からの志願・合格者数が増加

富山支部



老若男女が一体となって

加藤支部長の知人であるテイチク専属歌手の応援もあり、老若男女一体となってナツメロなどを歌ったりし、楽しい総会となった。今年には若手同窓生を多く集めようと、次の方々に幹事を引受けていた。38回は西川(新田)雅美さん、39回は梅垣高夫さんである。

阿部淑子(13)

滞りなく総会を閉会いたしました。続いて、待望の懇親会は支部長の乾杯の音頭で始まり、和やかな雰囲気の中で杯を酌み交わし、自己紹介や学生時代の思い出話に時間は瞬間に過ぎていきました。そして、全員で肩を組んで学歌・逍遙歌を斉唱、万歳三唱し来年の

の総会や懇親会、忘年会、ゴルフなどの催しを行い、みなさんのまともにもあります。平成5年度の富山支部総会は、7月18日(日)高岡市において開催いたしました。本年度は、大学より経営学部長の上田慧先生、同窓会本部より南部俊一副会長(9)、鶴谷利一常任理事(28)の三氏をご来賓としてお迎えしました。総会は重松支部長(23)のあいさつで開会し、ご来賓のみなさまより社会変化に対応し、さらに発展を続ける母校の現状をそれぞれご報告いただきました。とくに入試状況のご報告では、全体として減少傾向の中で富山県からの志願者数・合格者数の増加、就中合格者数は昨年度の2.3倍以上の27名に及ぶなど参加者一同心強く感じました。事業報告や、決算報告などの各種報告や役員改選の案件を承認し

再会を期して会を終え、夜の街の二次会へと足を運んで行きました。最後に、ご来賓ならびにご出席いただきました会員のみなさまに厚くお礼を申し上げます。支部長 重松 尚

## 創立10周年を盛大に祝つ

福井支部



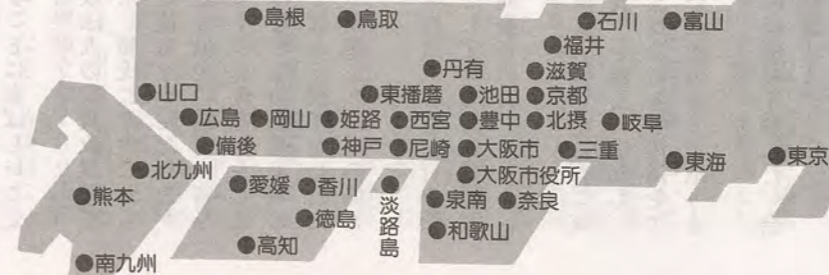
思い出話に花を咲かせ

創立10周年を迎えた大淀会では、去る8月7日、夫人同伴による記念パーティが盛大に催された。この会は、県内に在住50歳未満の若手同窓生で構成され、毎年6回の例会と年1回の家族ぐるみの親睦会が計画されている。今までに「つくば万博家族旅行」、福井近郊・奥



夫婦同伴で催した記念パーティー

越での「家族キャンプ」、母校への見学会」などが行われ、ユニークな企画で会員の心をとらえている。普通の同窓会とは違った若さと和やかさがみぎる行事となっている。福井県の支部活動も、これら若手同窓に支えられながら、確実な歩みが続けている。2年後に支部設立30年を迎えるが、これを契機に若手の創意性に学び、マンネリ化しがちな同窓会に新風を吹き込みたい気持ちでいっぱいである。吉田 毅(20)



## 「北」向かて北に立つ

北海道支部

本年7月、北海道南西沖地震によって大災害を被った奥尻島に、母校のシンボル「雲に向かて雲に立つ」他三体の製作者流政之先生の作品が島の西海岸に四点設置されています。これは通称「ナガレ公園」として、島の人たちに親しまれ、また観光名所となっています。



流政之先生作の彫刻。その姿は、きびしくも美しい

この島は北海道江差町の西北61\*の日本海に浮かぶ周囲84\*の島で、南北に長い台形状の形をしています。人口4,700人の漁業と観光の小さな島です。流先生とこの島との関係は定かではないが、このシンボルは昭和57年につくられました。また札幌にある北海道

## バスと舟下りで支部総会

東京支部

庁の知事室前にも先生の石彫作品「北の旗」が飾られています。こうした事実から母校と北海道は、先生の作品を通して決して無縁ではなく、因縁めいたものを感じています。支部長 田中喜三郎

5月15日、上島学長のご上京を頼み、東京支部総会初めてのバスと舟下りで東京の名園と十一橋下りを楽しみました。バスの中で井阪支部長のあいさつに次いで上島学長のユーモアあふれる自己紹介と大学創立以来初



上島学長を囲んで和やかに

## 若手同窓生の参加を!

東海支部

の最年少学長就任ということまででない潑刺とした学園を思う気持ちで明快にお話しいただき、同窓生一同、新鮮なイメージとともに大いに期待するところがありました。

さて、その日は五月晴れに恵まれ、ご家族で参加された方もみんな和やかに言問だんごを口に、東京の下町を眺めたり、東京湾ウォーターフロントの目ざましい発展に驚嘆の声をあげました。こうして一日を有意義に楽しく同窓の温かい絆を再確認し、再会を約束し散会しました。西山昭吾(16)

名古屋には多少の増減はあっても、常に400人前後の同窓生がいる。女性には20人不足だが、毎年増えていく傾向にある。ありがたいのは、入試の志願者が減らないこと。来年も英語1科目と経済、経営両科の3日間が予定されている。経大の東の砦として、同窓生一同がこの地位の確保を願っている。さて、支部総会は11月下旬に磯野会長、松原教授らを迎え、名古屋国際ホテルで盛大に行われた。

支部を情報基地に

岐阜支部

本支部も今年で59回の卒業生を迎えました。世代ごとにもその様相はさまざまに移り変わってきましたが、今、ここに同窓生として年代の異なる者が集い、学生時代の思い出を語り合うということだけでは、支部同窓会への出席者が減少するばかりだと思えます。

岐阜支部の今年の計画としては、若年世代より提案のあった「支部を情報交換の場として」と「支部同窓生の情報を冊子にして、年2回ぐらいの定期発行をする」案を本年度の支部総会の議題にしようと思っております。

岐阜に帰郷して頑張っている同窓生、また就職で来岐した同窓生は情報を入れてください。必ず役に立つと思います。

支部長 長崎和夫

経大出身の佛師

京都支部

私事で恐縮ですが仏像彫刻家としての私の現況を紹介させていただきます。京都府船井郡日吉町禅宗滝沢寺に建立される23日の大観音像(石像)の原型を私が木彫で制作し、現在中国の浙江省で制作中

です。この11月には日本に搬送され、当寺に安置いたします。私はその指導のため中国に3度参りました。

この観音像は過日の大戦で没された日本民間人の遺霊を弔うために発願されたもので、この模様はNHK・民放のTVで放映されました。中国仏教協会の仲介で、中国四大霊場の観音霊場である普陀山禅寺のご分身を胎内に祀ることにしています。

来春には開眼供養の予定で、再度TVで紹介されます。経大出身の彫刻家としてのトビックスとして紹介させていただきます。

支部長 深田 稔

母校の発展をめざして

和歌山支部

平成3年4月、和歌山支部総会で、4支部に独立し、発展発展することにしました。これは和歌山が南北に長いいため、なかなか一堂に会することができないからです。

その3ヵ月後、いち早く和歌山市支部が会員450名で結成。続いて那智・有田各地区も、結成準備の集いが開かれました。が、結局互いに独立せず、元の和歌山支部の下に設けられ、和歌山市地区(阪中伊作・15)、那智地区(中村

熙・22)、有田地区(平岡増三・22)の各地区長が選任され、松本旬弘(元支部長)を相談役として間もなく海南海岸地区、橋本伊都地区の集いも持たれます。

最新情報の名簿も作成し、縦横の連絡網もできました。会員相互の親睦交流を密にして、和歌山での大経大の輪をますます拡大しています。各地区の集いや職場の集い、各期(1〜29回、30〜39回、40〜58回など)の集い、各クラブの集い、講師を招いての集い、忘



交流の輪をますます拡大

心のふるさと奈良

奈良支部

大和は国のまほろば、たたなづく青垣——文字通り奈良大和は1200年の昔から国の中心として、栄えてきました。現在も近隣大都市のベッドタウンとして、有数の人口増加県であります。

古都奈良を故郷とする私たち奈良支部は、総数1、500名を数えるにいたりしました。中には県外への通勤者もいますが、支部員の多くは、県内各地のいろいろな分野で活躍しております。

とくに今回ご紹介するのは、前支部長の野尻忠正氏(12)であります。氏は本年4月に、全国一

ネルソン博士招き国際交流

豊中支部

平成4年度の支部総会は、10月3日(土)ホテルアイボリーにおいて開催しました。本総会の特色は、金子実(44)氏の紹介で、ネルソン・ウイターナゲ経済学博士の「外国人からみた日本人と日本文化」の特別講演。

また懇親会でも同博士が会員の輪に入り、親しく話し合い、また閉会時には門田弘敬(19)氏が英語

でお礼の言葉を述べ、国際交流の一コマとなりました。

支部同好会は、恒例となった刀禰啓一(19)氏の春秋のハイキングで5月31日は豊中百景南部、10月4日は、歌と芝居で有名な野崎観音などを探訪しました。夫婦で、またお孫さんと参加する家族ぐるみの楽しい懇親となりました。

5年2月6日は一泊旅行と読書会を兼ね、赤穂御崎「かんぼ保養所」へドライブ、翌日は花岳寺などを訪ね、帰路につきました。

支部長 筒井英夫

池田の夜祭り

池田支部

「池田が熱く燃える夜」が毎年8月24日にやっています。

晩夏の宵を彩る伝統行事「がんがら火祭り」と猪名川花火大会をご紹介します。

この祭りは、江戸時代の正保元年(1644年)頃から「家内安全」、「火難厄除け」を願って大阪府池田市で始まったと伝えられています。また、江戸時代後期の読本作家・滝沢馬琴が「町外れから眺めると星のようだった」と絶賛した火祭りは、大たいまつ(長さ4尺、重さ100kg)の「人」の字形2組が五月山の大字を背に

して街を鐘の音と和して揺れ動く。同時に猪名川では4、500発の打上げ花火と「未知との遭遇」をテーマにした仕掛け花火が夜空に舞う。勇壮にして優雅のうちに、池田の夜がふけていきます。

支部長 渡邊泰敏



仕掛け花火

関西新空港を見学

泉南支部

平成5年度の泉南同窓会が6月19日「ゲストハウスめぐり」において行われました。大学より門田俊夫先生をはじめ、松本義和氏、西本集一氏、和歌山支部より坂田文治氏、宇藤博之氏もご参加いただき来年開港を迎える関西新空港の見学を行いました。地元府会議員の松浪啓一氏より空港の進み具合や泉州地方発展への話など聞かせていただき、空港本島へ関西国際空港の船で渡り、ビデオ上映のあと屋上より、すでに完成している管制塔や連絡橋、滑走路、巨大



泊旅行で読書会

豊中百景南部へハイキング

ご家族の悲しみはもろろん、大阪市にとっても大きな損失であり、まして当支部としては大変な痛手となりました。

ここに、寄吉氏のご冥福をお祈りするとともに、当支部の発展を見守ってくださるよう願います。

支部長 角谷泰秀

な屋根の建物など目の前にしながら、来月9月の開港を実感することになりました。泉南同窓会の地元より世界へ飛び立つことをPRしたいと思っています。

市場谷楠雄(35)

若年層の参加が課題

尼崎支部

同窓生のみならず、お元気でいらっしゃいますか。当尼崎支部は毎年4月に総会を開催しております。本年も約40名の参加を得ました。盛大に会員相互の交流を深めることができました。学校からは、香川一男理事と磯野会長のご出席のもと、学校の運営に関わるお話など聞かせていただきました。



世代を超えて、親睦を深める...

現在、我が支部の課題は、約1,000名にもおよび尼崎市内の同窓生が在任しているにも拘わらず、残念ながら毎年約40〜50名の参加

しかありません。とくに若年層の参加者が少なく頭を痛めております。一昨年には、尼崎支部の存在を知ってもらうために、会員名簿の作成を行い、全在任者に配布したのですが、参加に対する理解も少ないのが現状であります。今年も一人でも多く参加してもらえよう頑張ります。

藤縄健一(37)

各分野での活躍を

神戸支部

神戸は今、「アーバンリゾートフエア」が開かれ、新しい「街」ハーパーランドを中心に、市全体が盛り上がっています。その最中、第75回全国高校野球大会では、兵庫県代表の「育英高等学校」が見事全国優勝し、華を添えました。その育英高をはじめ、神戸にも教職関係ほか、各界・各層のリーダーとして活躍されている母校出身



日常生活、ビジネスの中でも交流を

の先輩諸兄や同窓生がたくさんおられ、私たちとしても大変心強く思います。年に一度の総会の場だけでなく、ビジネスの中で、また日常生活の中...といったあらゆる活躍の場で、同窓生に会える、そして有意義な情報交換など、交流を深め、各分野で大経大OBとして胸をはって力強く歩んでいきたいと思っています。

これが我が神戸支部の願いです。

支部長 桐月正邦

まちづくりで会員増

丹有支部

丹有支部内の三田市は、田園都市の創造を目標に、まちづくりが進められ、日本一の人口増加率が続いています。嬉しいことに、転入会員が70名ほどに増え、当地域からの大経大生が約80名にもなったことが、何よりのトピックスと言わねばなりません。

さて、今年の総会は7月18日(日)、水上郡水上町の「やすらぎ」で開催。初めて、家族同伴を歓迎しました。丹波の正倉院・達身寺で、多数の国重文の仏像などを拝観した後、近くの高台で、「丹波肉」のバーベキューを楽しみました。

緑豊かな森を背景に、前方の池の向こうには、青々とした稲穂が



家族同伴の会員も参加



バーベキューで楽しむ

各市町で支部結成を

東播磨支部

ここ数年、同窓会を開かず、申し訳ありません。深くおわび申し上げます。

なにしろ、東播磨支部の同窓会員は1,000名を優に超えているため、躊躇してのびのびになり、責任ばかりを感じております。

幸いにも同窓会誌を通じまして、一つの提案をさせて頂きたく、お許しを得たいと存じます。

それと申しますのは、東播磨支部の各市町で、大阪経済大学の同窓会を結成していただきたいという事でございます。

会員のみならずからのご意見など、お聞かせくだされば幸いに存じます。

一度は総会を開いて、とも考えております。支部結成をいたしたとの情報、ご連絡をいただければ有難いとも考えております。

みなさまのご健勝をお祈り申し上げます。

支部長 永井 宏

姫路城より瑞光原頭を顧みて

姫路支部

平時経済より準戦時体制への移行期。絶対的変化を味わいつつケネシー、スミス、リカード、レバケ、シユピトホフ、ハイエク、シユンペーター、ケインズ、ウエーバー、マルクスの思い出が蘇生。弁証法的思考、経済学の本質と現象形態、黒正イズム、働くものから見るものへの西田哲学。転換期の世界観は存在論的となり安定期社会では認識論的となる発想を経て、ゴットルの生活経済学。さらに「永遠

の経済とは何か」との愚問を彼に問いかけながら夢多き哉人生。明年喜寿を迎える。姫路支部閑人閑想。

一、昭和23年黒正博士出席の下に結成。出席者18名。(45周年)  
二、同窓生、約800名。(平均的出席者数40〜45名)  
三、一年一回10月中に総会開催。

支部長 永川仁一

これからも和気あいあいと

淡路島支部

8月28日に淡路島支部の第4回総会を洲本市「四州園」において開催。当日は磯野会長、陰下事務局長と大学からは、教授陣のご出席をいただきました。

淡路島支部は37番目の支部として発足し、4年が過ぎ、会員数も優に1000名を越えるようになり



幅広い世代が一堂に会して

ました。総会には、第2回卒業の大先輩から今年卒業の若者まで、いろいろな年代の卒業生が三十数名集まり、和気あいあいの内に楽しい時間を過ごすことができました。

これからも同窓生としての縦のつながりを深めていきたいと思っております。

支部長 宝川雅嗣

同窓生の一致団結を

岡山支部

瀬戸大橋が完成してから5年を経過し、中・四国政治経済圏の動向も、ようやく定着化しつつあります。教育文化についても、とくに香川・岡山は、客観的に一体圏を形成している。

昨年来、母校の将来志向の中で、我が岡山を重要シフトにされていることは、ありがたいことであります。

ただ、問題は母校としてのPRはもちろん、我々の受皿・姿勢として、今後、大いに研究努力すべき点が多々あると考えます。

平成5年度支部総会は、母校父母会開催に併行して、十数名の来賓を迎え、去る7月24日(土)、「まきび会館」において開会し、盛大のうちに終了しました。今年も引

き続き、若い会員の参加ムードが高まりつつあり、老・壮・青とともに、「黒正イズム」を継承し、「雲・風・花」に向かつて「一致団結しようではありせんか。

支部長 村上 一夫



若手会員の参加ムードも高まり

親睦の輪を一層深め

岡山支部津山会

第2回の津山経大会を開催しました。当日は、台風13号のため、心配しましたが、定刻に予定会員の出席があり、一同ほっとしました。

地区会員も壮・青と拡大しつつあり、今後も毎年開催し、「親睦」を深めたいと思います。

一と き 平成5年9月3日(金) 午後6時30分～9時  
二、参加者 14名  
(津山周辺地区のみ)

一と ころ 津山市 桐生 竹本 巧(37)

経済講演会を開催

広島支部

(一)第51回総会開催について  
平成5年8月21日午後5時30分より広島市中区県民文化センターにおいて開催。

当日はセンチユリ証券須々木敏郎氏(9)が馳せ参じ、講演会を開催。株式はもとより、広く古今経済の歴史の流れ、並びに今後の見通しなどについて、含蓄ある内容に感銘いたしました。また総会には遠路はるばる上島学長、磯野同窓会会長、神田理事のご臨席を得まして、盛会のうちに閉会。文字通り時間の経つのも忘れた次第です。

(二)今後の支部運営の在り方について  
50年を経過した現在、この縦型の支部をどの様に運営していくか再検討の必要ありと考え、次のよ

を形成している模様であり、今後さらに同窓生から支店長が誕生してゆくのは確実であります。事業をする者にとって、こうした友人を持つことは一つの財産です。互いに有意義な関係をもって仲よく交流してゆきたいものです。

支店長 西山林一



同窓生は大切な財産

ゴルフコンペと家族会で親睦

徳島支部

今年はじめのゴルフコンペを7月17日徳島フォレストゴルフ倶楽部で開催。参加者は15人と少なかったが、みんな汗をかきながら頑張った。珍プレー続出の中、阿部好宣さん(30)が日頃の練習の成果を発揮し優勝。表彰式はビールで乾杯、楽しく交流した。

うに改めていく所存ですので何とぞよろしく願います。

①組織の再編成  
4～5回分を一班とし、班毎に分け1名以上の方に責任者に願います。

②平素のコミュニケーションをはかるため、従来の三水会を改め二金会として第2金曜日の18時に集合する。但し会費は従来の5000円を30000円以内に改める。

③支部機関誌の発行 会員の動向などについて発行費用は年会費で賄う。

④総会会費は時節柄50000円にダウンする。

なお一層の親睦をはかるため5年に1回一泊総会を実施する(夫



時間の経つのも忘れ...

婦同伴可)。支店長 佐々木一義

ただ今 会員急増中!

山口支部

我が支部は、全国同窓会支部きつての若手支部長のもと、同窓生の輪を広げようと活動を続けており、毎年2月頃行われる支部総会には、年々新しい同窓生が参加しています。

とくに、ここ2年間の同窓生の参加には目覚ましいものがあり、この参加者増加に相俟って、今まで連絡の取れなかった同窓生の消息が次々とわかってきました。その数約30名。それまでの会員数210名程度の我が支部にとってはたいへんな数です。

これも同窓会の輪がますます広がるよう県内を6つのブロックに分け、各ブロック長のもと緊密な接触を図るため、各々ブロック毎に懇談会を開催するなどの積極的な活動を行った結果と自負しています。

「同窓会って、若い人が来ないんじゃない?」...そんなことはないですよ!

これからも、各ブロックごとの集まりを積極的にを行いますので、一度参加してみてください。

8月7日には小雨の中、初めての家族会を開催。阿南市北脇海岸で30余人の家族が「ヨイショヨイショ」と地引き綱をひき、綱にかかったアナゴやハマチに子供たちは大喜び。さっそく徳島集会所で料理をしてもらい、和気あいあいの楽しいひとときを過ごした。

支店長 田中良昌



珍プレーが続出したゴルフコンペ

幅広い同窓生の参加を

熊本支部

同窓生諸兄姉、いかがお過ごしでしょうか。我が熊本支部の本年度総会を10月16日に「メルパルク熊本」で開催。本部より磯野会

きつと頼もしくして愉快な先輩に出会えますよ。

これからの同窓会の輪を作るのは君たち若者です。何でもできるパワーを持っています。そのパワーを山口県に注いでください。困ったときに力を貸してくれる先輩がたくさんいます。

それが同窓生です。同窓会はそのお手伝いをするところです。一度遊びにおいでよ。...待っています。

詳しくは、事務局 佐々木克彦「宇部商工会議所」 ☎311025111 にお問い合わせください。

佐々木克彦(47)

「支店長」続々と誕生

鳥取支部

会社近くの金融機関に新支店長が就任し、名刺交換すると2、3年後輩とのこと。すでに大経大同期生で、同じ金融機関の支店長になつていた友人もあり、順調に出世しているのは同窓生として嬉しい限りです。

昭和44年卒の頃、前後で3、4年の間に大経大卒業生が大量(30名位)に地元金融機関に就職しました。団塊の世代とはいえ、先の金融機関の場合、行内の中堅幹部クラスは大経大卒業生が最大学園

先に姿を消した経緯があります。母校も単科大学であるだけに、今後消滅の憂き目に一抹の不安を隠しきれない心情でした。卒業後をはじめ出席された同窓もおられ、名刺交換、自己紹介、学生時代の回想、「母校は遠くにありて想うもの」と同窓生の連帯感を感じた楽しい一夜でした。

大盛豊一(23)



母校は遠くにありて想うもの

支部長一覧

支部名	支部長	住所	電話番号
北海道支部	田中喜三郎		
東京支部	井阪 健一		
東海支部	加藤 正秋		
富山支部	重松 尚		
石川支部	柚木 繁		
福井支部	内田 甫		
三重支部	木戸 董		
岐阜支部	長崎 和夫		
滋賀支部	正村 公一		
京都支部	深田 稔		
和歌山支部	坂田 文治		
奈良支部	白井 武夫		
大阪市支部	太田 一澄		
大阪市役所支部	角谷 泰秀		
北摂支部	石川 裕		
豊中支部	筒井 英夫		
池田支部	渡辺 泰敏		
泉南支部	中川 克己		
尼崎支部	小谷 芳男		
西宮支部	中山 隆		
神戸支部	桐月 正邦		
丹有支部	梶村 文弥		
東播磨支部	永井 宏		
姫路支部	永川 仁一		
淡路島支部	宝川 雅嗣		
岡山支部	村上 一夫		
備後支部	小池 勝章		
広島支部	佐々木一義		
山口支部	江村 育己		
鳥取支部	西山 林一		
島根支部	渡部弘一郎		
香川支部	岡野 敦		
愛媛支部	小野 茂樹		
徳島支部	田中 良昌		
高知支部	横田 憲介		
北九州支部	鳴原 正孝		
熊本支部	浜 忍		
南九州支部	伊伏 彰		

母校での生活を再び...



就任ごあいさつ

岩谷宣治 (11回卒)

この度、理事会のご推挙により、図らずも専務理事の大役をお受けすることとなりました。

世界情勢の急激な変化とそれに伴う、日本の政治、経済の変動は、大学にとっても大きな変革を余儀なくされます。とくに若い世代の価値観の多様化と18歳人口の減少は、大学経営の根幹にかかわることがあります。

本学におきましても、すでに対策を進めておられますが、大学の維持発展のためには、厳しい現状を直視し、適切な施策を積極的に行い、スピードアップを図ることが急務と考えます。

私は昭和22年、日綿実業(現ニチメン)に入社しましたが、勤務の関係で内外各地を転々とし、昭和47年ニチ

メン衣料(ニチメンインフィニティ)に転じてからも、多忙にかまけて母校とのご縁は薄く、卒業後半世紀を経て母校に戻ってくることは、誠に感慨無量のものがあります。

私の過ごした昭和高校時代の青春は、「死」を身近に感じながら、「生き急ぎ」の毎日でしたが、それだけに充実した勉学生活でありました。復員後の学生生活と、それに続く社会人としての第一歩は、まさに文化大革命の怒濤に巻き込まれた数年でありました。

爾来幾星霜、今日の日本の繁栄にいたる過程を商社の第一線で経験し、少しでも社会に貢献したという満足感と充実感をもって、昨年6月末、現役を退きました。

そのような次第で、学校経営はもちろん、本学の現況についても全く不案内であります。しかし、実業人として得た知識経験が、今後の大学運営に少しでもお役に立ち、本学発展に寄与できるのならば、母校へのご恩返しになると存じ、努力いたす所存であります。

本学55,000の先輩、同窓のみなさまのご支援を切にお願い申し上げますとともに、みなさまのご活躍とご健勝をお祈り申し上げ、就任のごあいさつといたします。

平成5年中に開催された支部総会一覧表

開催月日	支部名	開催の場所	開催月日	支部名	開催の場所
4月18日(日)	池田支部	ステーションNビル	10月16日(土)	熊本支部	メルパルク熊本
4月23日(金)	尼崎支部	レストラン・ロンドン	10月16日(土)	豊中支部	千里阪急ホテル
5月15日(土)	東京支部	観光バスによる都内遊覧	10月22日(金)	大阪市役所支部	水桜会館
6月19日(土)	泉南支部	めだか	10月22日(金)	北海道支部	札幌第一ホテル
7月18日(日)	石川支部	金沢スカイホテル	10月22日(金)	姫路支部	北京閣
7月18日(日)	丹有支部	やすら樹	11月3日(祝)	愛媛支部	母校会議室
7月18日(日)	富山支部	ホテルニューオオタニ高岡	11月11日(木)	神戸支部	神戸支部
7月24日(土)	岡山支部	まきび会館	11月14日(日)	岐阜支部	リビエール長良
7月25日(日)	香川支部	リーガホテルゼスト高松	11月14日(日)	三重支部	和田金
8月7日(土)	南九州支部	ホテルフェニックス	11月26日(金)	東海支部	名古屋国際ホテル
8月21日(土)	広島支部	広島県民文化センター	12月1日(水)	福井支部	福井商工会議所ビル国際ホール
8月28日(土)	淡路島支部	四州園	12月5日(日)	奈良支部	奈良交通(株)本社ビル
9月5日(日)	和歌山支部	和歌山ターミナルホテル	12月10日(金)	徳島支部	徳島グランドホテル偕楽園
10月2日(土)	高知支部	高知第一ホテル			

平成4年10月26日、錦秋の高野山に足を伸ばした。海拔1,000メートルに開かれた真言宗の総



一目千本の吉野の桜を楽しむ

本山で、密教文化の真髄に触れてみようというわけである。期待の紅葉には少し早かったが、名物の精進料理をいただき、数々の有名人のお墓を拝んで歩いた。きれいな空気を満喫しながら、長い歴史のロマンに触れ、清遊を楽しんだ1日であった。

●参加者(10名)柴田(秀一)、柴田(真典)、柴田(安治)、沢田、伊藤、浅野、丹家、河田、村山(金沢から参加)、長尾

高野山へ、吉野山へ

友、遠方よりきたり。毎年このときながら昔を偲び今を語り、せめて、心だけでも若返りたいとお互いの健康を喜びあい、和気あいないうちに散会いたしました。年に一度のこの会が、よき思い出となりますよう……。

●参加者(写真左より上) 琴野、土肥、工東、岸本、藤沢、関田、村山、大谷、(中)岡田、宮崎、前田、藤本、富岡、糸瀬、丹羽、滝中、(下)石森、寺尾、川村、足立、藤岡、河田、浅野(敬称略)

ぼたん会(第8期生会)



温泉に入っのんびりと



次回は鳥羽・伊勢で……

●参加者(写真前列左より)内田・武田先生・宮平・山本(後列左より)佐々木・三木・平野・桜井・三木 薫(4)

昭八会(第6期生会)

自由行動。岡山市文化ゾーンの各美術館などを見学した。今回は琵琶湖周辺での開催を決定した。

大森侃二(6)

老いてますます元気な集い 九友会(第9期生会)

第19回同期生会を平成5年3月12日、13日の両日に、九州の唐津『唐津ロイヤルホテル』で開催しました。

同期生19名、同伴の奥様11名、ならびに唐津在住の先輩で、唐津焼御総家中野黨の中野陶痴先生に特別に出席していただきました。恒例の記念撮影後、幹事の歓迎あいさつ、出席者各人の近況報告と続き、また中野陶痴先生のユーモアにあふれた自己紹介があり、一年ぶりに顔を会わせた者、久方ぶりに再会して旧交をあたためる者など、時の経つのも忘れて話は大いに弾み、楽しく飲んで思い出の多い一夜を過ごしました。

●参加者(9名)柴田(秀一)、柴田(真典)、沢田、伊藤、琴野、河田、大谷、林、長尾、※、写真中の「旗」は例の、花に向かって花に立つの記念にいただいたハンカチで作ったもので、8期が集まる時の目印の旗にしました。

長尾 晃(8)

同期生のご健勝を祈ります。

岡田 清(8)

OB ネットワーク

年に一度の会合

昭寿会(第4期生会)

平成5年6月4日、赤穂簡保保養センターにおいて、昭和59年の有馬の会合から続いている10回目の昭寿会を開催。岡山より92歳の武田長太郎先生を内田君に同伴して来てもらいました。晩餐には赤穂のサワチ料理を賞味し、武田先生の長寿にあやかってみんなで乾杯。お互いの健康を祝しました。

翌日、忠臣蔵のふるさと赤穂城跡をはじめに、大石神社の義士史料館で、元禄の昔を徳富義士の木像を拝見。浅野の菩提寺で義士の寺、花岳寺に参詣。その後、赤穂駅前で、昼食をしながら、来年の再会を約束して解散しました。

私たち4期生は、卒業生が94名と少ない上に、物故者・不明者が多く、今では現存者26名となっています。その中でもクラス会に出



一期一会を大切に

新緑の日光・鬼怒川の旅

第20回を迎えた今年の例会は関東世話人の案内で、栃木県鬼怒川温泉、日光東照宮拝観の旅となり、

昭八会(第8期生会)

6月7、8日の二泊二日で、23名の参加を得て開催されました。「日光を見ずしてケッコウ」というなが



岡山文化・芸術に触れて

黒正先生のふるさと岡山

第7回の昭六会は、在学時代最も思い出の多い黒正先生のふるさと・岡山で開催された。5月11日、午後岡山駅に集合、今年は無常連以外に和田、井上両君が参加し総勢22名。お互いに久闊を叙した後、バスで天下の名園・後楽園へ。特別案内人の先導で限なく見学し、記念撮影後は、県立博物館を見学。行程終了後に郊外の苦田温泉へ移動した。

当日は「桃太郎風呂」で有名な「乃利武」に宿泊。岡山で今なお健在の武田先生、同窓会の陰下事務局長を招待し、50年前の在学時代の話に花が咲きました。夜のふけるのも忘れて楽しい一夜を過ごした。

翌12日は、岡山駅で解散した後、



ぜひご夫人を連れて参加してください

来年は岡山で開催

この会がいつまでも続くことを願  
い、名残りを惜しみつつ散会しま  
した。

●参加者  
矢上 信香(池田) 苗代 寿子(井上)  
杉本 政子(魚本) 鷹野 静子(大山)  
田中 禎子(北垣) 野島 ツルエ(小松)  
柴田 悦子 大塚 園子(田居)  
山田 成子(田中) 田辺 京子  
岡田 庸子(中島) 米虫 道子(馬場)  
本間 洋子 藤本和喜子(前田)  
榎山 和子(宮本) 筒井トシ子(桃井)  
上野満里子(守時) 中川睦子(吉村)  
鷹野千代子(米崎) 梶本 京子(門山)

第16・18期生合同会



オリーブの香りただよ小豆島で

杉山 節子(三好) 樽尾 悦子(山本)  
西川 登美子 両角 愛子(田中)  
杉山 節子(14)

平成5年5月9日、16、18回卒  
の合同同期会を中央区富屋町の富  
久屋ホテルで開催した。年々集ま  
りもよくなり、5年に1回が、3  
年に1回、2年に1回...と、そし  
てついに毎年ということになった。  
60歳の坂を越え、ようやく職場  
や家族などのしがらみから解放さ  
れ、ゆとりの人生に入ったとい  
うことなのだろうか。よく飲み、よ  
く食べ、そしてよく語り合い、ま  
たたく間の3時間であった。  
ただ残念だったのは、今年から  
夫人同伴ということであったのだ  
が、同伴者は一人だけ。まことに  
淋しい限りだった。来年は場所を



瀬戸内国際マリンホテルでの1コマ

鷺羽山に集う 奇多郎会(第24〜27期系道部OB会)

23期生も年齢的に60歳前後が多  
く、身体的にも仕事面でも転換期  
を迎えて、岡山開催ということにな  
った。日頃の労をねぎらうために

野も山もすべて春一色の4月17  
日(日)、18日(日)の両日、第9回奇多  
郎会を鷺羽山に近い「瀬戸内国際  
マリンホテル」で開催した。瀬戸  
大橋に夕日が落ちて行く遠眺はま  
さに額の中の油絵であった。  
奥様同伴の的笠、三輪、車野の  
三氏、それに大道、逸見、源、梅  
垣、西、高橋の各氏と当番幹事の  
吉田、上野を加え14名が参加した。  
一年ぶりに会う面々はみんなが働  
き盛りの元気な顔である。瀬戸の  
夕景色をバックに学生時代の思い

恒例の富久屋ホテルで会合

第23期生会

年に一度の顔合わせも今年で9  
回目となりました。今年には35名の  
友が恒例の2月11日、富久屋ホテ  
ルに集い、楽しく過ごしました。  
同窓会事務局長の陰下氏に、学校  
および同窓会の近況についてお話  
し願いました。代表幹事の西本君  
と事務局のお世話で、出席者名簿  
と欠席者通信欄コピーが全員に配  
布され、各自欠席者の文章を懐か  
しく読んでいました。

く、身体的にも仕事面でも転換期  
を迎えたといいてもよいでしょう。  
このような時こそお互い健康に留  
意して、年に一度は元気な顔を見  
せてください。お待ちしております。  
なお23期生ゴルフコンペも年に  
2回ぐらいやっています。今年には  
北本君が世話をしてくれています。  
ゴルフで楽しい時を過ごしたい人  
は北本君の方までご連絡願います。  
酒井 弘光(23)

小豆島の集い

第14期生会

本年の「ひとみ会」は、鎌倉・  
神戸・和歌山・京都・大阪から23



陽光あふれる春に開催

名の方にご参加いただき、平成5  
年4月2日、奈良の春日奥山の料  
亭「月日亭」で開催いたしました。  
厚生林・春日杉の香りに包まれ  
ての会席料理、くじ引きにもなご  
やかさが増し、昔にもどってしは  
し楽しいひとときを過ごしました。  
解散後、春の日ざしを背に山路  
を散策し、シルクロード博のなご  
りの地「新公会堂」でお茶をいた  
だき、またまた旧交を温めました。  
帰路、赤い鳥居と池の水面に映  
える氷室神社のしだれ桜を満喫。  
来年は「大阪」でとのこと。  
またみなさまお元気な姿でお目  
にかりましょう。  
飯田好子・岩崎寿美子・吉田慶(13)

久しぶりの参加者もあり、盛大に... 第11期生会



大阪の駅前で、懐かしい思い出に触れる

去る12月13日(日)、レストランパ  
レスに鈴木理事長および藤原先生、  
磯野同窓会長をお招きし、平成4  
年度の同期生会を開催しました。  
今回は近隣府県の同期生が多数  
出席できるよう配慮し、場所は大

●参加者 井上(豊)、伊東、井口、  
岩谷、大島、河津、篠田、坂田、  
坂上、酒井、武田、田中(行)、土  
屋、永田、北條、村田、桑津  
筒井英夫(11)

阪駅前、日時は日曜日の正午にし  
ました。  
会には、広島から永田康久君、  
宝塚から田中行雄君が卒業以来初  
めて出席。また久しぶりに岐阜か  
ら篠田徳夫君も。  
恒例となった各人からの近況報  
告が始まると大いに盛り上がり、  
各人の顔がいきいきとし若さが感  
じられました。  
平成6年は、昭和19年に卒業し  
てからちょうど50年になります。  
同期生会をさらに盛大に開催した  
くみなさまのご参加を期待してお  
ります。

翌13日は暖かな好天気恵まれ  
て朝食後、ホテルのバスで先輩中  
野陶痴先生の中野窯を訪ねました。  
唐津焼の歴史と古唐津についてお  
話を聞き、伝統と雅味のある作品  
の数々を見聞することができまし  
た。  
そして豊稜の秋祭「唐津くんち」  
の「曳山」14台が展示してある市

民会館へ回り、その豪壮な造型美  
と優れた曳山に一同はただうっと  
りと充実したひとときを過ごし  
ました。  
2日間の楽しい会合はこれで終  
わり、来年もまた元気に鳥羽・伊  
勢で再会することを楽しみに散会  
しました。  
松山義友・貞方孝夫(9)

桜の花に迎えられて

ひとみ会(第13期生会)

本年もOB会総会が、母校同窓会ホールにおいて、7月4日に行



同窓会ホールで、楽しい時を過ごす

母校同窓会ホールで総会開催

ワンダーフォーゲル部  
OB会

だき、事務局長からはOB会運営に関しアドバイスをいただくなど、たいへん中味の濃い盛大な総会となりました。

夜の懇親会では、内海ゼミ出身の参加者が多かったせいか、先生の講義を聴き、遠き日のキャンパスに想いを馳せた人もあったようで、たいへん盛り上がり、懐かしい話を咲かせました。

来年は姫路、赤穂周辺です。お楽しみに。

林 幸生(40)



学生時代の思い出が甦るひととき

われました。参加人数は17名、古久保、井手両先生にも出席いただきました。井手先生は、本年3月で大学を退職され、同時に顧問も退任されました。長い間ありがとうございました。後任には、池野重夫助教に就いていただいておりますので、OB会行事に参加いただけます時は、みなさまも奮ってご参加ください。

なお、学祭中の11月3日には、OB会と現役生との懇親会も予定しておりますので、その時も、たくさんのお出向をいただけますようお願いいたします。

高橋浩行(50)

出話に花が咲き、酒も進んで尽きることがない。来年還暦を迎える者もあり、話題も孫の自慢話が多くなってきた。

一夜明けた翌日は、鷺羽山展望

チームメイトの逝去を悼む

昭蹴会

吉田文雄(24)



これからも交友を温めていきます

台から瀬戸大橋を見学。倉敷美観地区および後楽園を観光遊歩、来年の再会を約束し、散る花を惜しみながら散会した。

葬儀委員長を務めた前神戸市長と彼が会ってから秘書、選挙参謀として公私にわたり市政を支えた功績を讃え、そして急逝を惜しむ切々とした弔辞が印象に残りました。

当日、ちょうど彼に召集された形で昭蹴会の仲間10名が顔を合わせるようになったので、告別式の後、三宮の国際会館の「兵庫倶楽部」に集まり、故人を追悼する昭蹴会例会を催すことにしました。仲間の1人が持つきたセピア色になった昔の蹴球(サッカー)少年たちの写真数枚を囲んで、当時の彼のプレーぶりを中心に、サッカー談義が弾みました。また、期末試験の時は出題傾向を読むことに長けていた彼が頼りであったことなど、尽きない話で彼を偲びました。

増えることのない会員一人を失ったわけですが、次回もお互いが元気で会えることを祈りながら散会しました。

●出席者  
石井 濟(8) 長尾 晃(8)  
木口正勝(9) 大谷一三(10)

加頭興治(10) 笹村康彦(10)  
諸田 実(11) 坂田文治(11)

光本数雄(12)

田中義一(10)

第2回旅研OB会総会開催 旅行研究会OB会

母校キャンパスで開催予定  
大八木傳一郎(37)

6月13日(日)、母校50周年記念館7館の同窓会ホールにおいて、OB約30名および現役諸君8名が参加して、第2回OB総会を開催いたしました。

来賓に内海教授・陰下同窓会事務局長をお招きし、ご祝辞を賜りました。

OBの中には、卒業以来二十数年ぶりに、母校のキャンパスを訪れ、母校のますますの充実ぶりに感慨深いものがあった人も多いうです。

総会の後の懇親パーティーでは、先輩・後輩および現役の隔てなく、和気あいあいとした雰囲気での交流を深めました。

なお、第3回の総会は平成6年6月中旬



母校での開催が、母校を訪れるキッカケ

年に一度甦る青春の熱き心 芸術会OB会

今年も来賓として、内海教授、陰下事務局長にお越しいただきました。自己紹介、現役現況報告、行事報告などのあと、内海教授からは大学の近況などをお話しいた

「大手前大樟会」発足

大手前大樟会



初めての会合は大成功でした

大阪国税不服審判所・税務大学校大阪研究所・国税庁(監督官・監察官)職員で構成する「大手前大樟会」が発足しました。

初めての会合ではありましたが、激務の合間をぬって39名が参加。発足にいたるまでの経過報告の後、会則の承認、幹事の選任を満場一致で議決しました。

また、正午からの懇親会では、ご多忙中にもかかわらず出席くださった磯野同窓会会長をはじめ、来賓の方々よりご祝辞をいただきました。全員で学歌・学園歌・追遥歌を斉唱するなど、大いに盛り上がり、来年の再会を約束して散会しました。

第2回総会を開催

税理士大樟会



研究会でのシーン

7月3日(土)、パークホテル 廣州飯店」において、大阪国税局・

税理士大樟会の第2回総会が去る7月10日、同窓会ホールで盛大に行われた。

総会に先立ち研究会が開催され、(一)松村文武教授の「世界経済の現状と課題」の講演、(二)松村寧雄先生のMY経営計画、(三)植村祐三会員のMY経営計画、経営計画導入事例発表など、意義のある勉強と資料をいただいた。総会は鈴木理



話題の同窓生

経大で学んだことを生かす実業家



経大を卒業すると、一応上場企業の課長、部長とサラリーマンのエリートコースを目指すのが普通だが、名古屋に43歳で6店の酒場を経営する青年実業家がいる。正式の肩書はニュー・ナゴヤ観光倶楽部取締役の梅垣高夫さん(39)。

社長は義兄だが、従業員は「社長さん」と呼び、実質的には6店舗を取りしきっている。経大を卒業すると、薬品業界の花形、富山化学(株)へ入社するが、入社して国立大学卒生をしり目に社員宣誓を読まれたというから、かなり高成績で合格したと思われる。大阪支店神戸営業所で2年、サラリーマン生活を楽しんだ。こんな頃、名古屋で幅広く飲食業を経営していた義兄から、あとを継いでくれないかと依頼された。堅実な月給取りから水商売への転向は、並々ならぬ決断を要したが、退職金より裸一貫で出直してみたいという男心と、上司のお供でたびたび訪れた神戸のバーの楽

しさが、何となく飛び込んでみたい世界だったとおっしゃる。ご多分に洩れず、世の中の景気を真正面から受ける水商売の試練は何度も体験した。外部から水商売と受けとられても、採算が合い、なるほどと思われる会社経営をしたいというのが、彼の真情である。だから昼食を終えるときは会社へ、デスクで6時頃まで帳簿と労務管理の実情をじっくり検討し、終わると現場をめぐる。6店を回ると、帰宅は夜明けの4時近くになる。最近の不況でも、ライブ、カラオケ、スナック、シヨットバー、クラブ、深夜バーの6店舗とも、客足の絶えることはない。お客は多少減っても、フトコロ次第でど

こかにご利用していただければ幸いです。とさすがは経大出身の経営方針である。売上は例年並みとはいえないが、年商でギリギリの3億は見込めますと、表情も意外に明るい。梅垣さんの経営哲学は「企業は人なり」で、このためには、「まず自分が変わることで」と強調する。「自分が変われば世界が変わると信じているのです」とは、さすが見上げた企業家精神である。名古屋北区楠味鉢51506の自宅には、中学時代の同級生で、6回目でやつとアタックできた愛妻の勢子さんと一人娘で高校2年生の春奈さんがいる。(加藤正秋記)

理事長をご来賓に仰ぎ、佐藤会長のあいさつの後、全議案とも全員賛成。来期のますますの発展を期し、無事終了した。懇親会は華やかに、楽しく、杯を重ね、あちこちにグループがで

年々増える同窓生

日立大樟会



年々参加者が増え、楽しさも一層です

日立金属グループに勤務するOBが集まった「日立大樟会」の会

きて、賑やかな歓談が続いた。趣味のアンケート結果報告もあり、楽しい催しが、企画されるとのこと。ぜひ誘い合わせて有意義に過ごしたいと念じている。清水幸子(15)

合が最初に開催されたのは昭和62年のことでした。それ以降、毎年11月に大阪梅田近辺で開催され、早いもので今年で第7回を迎えることになりました。

スタート時の会員18名も現在では27名、来年もさらに増える見込みがあります。これは非常に喜ばしく、目標である会員50名も間近であろうと期待しております。

会員は会長である日立金属田中専務を筆頭に重役が4名、部課長が13名もおり、大きなパワーの集団になりつつあるのは、非常に頼もしい限りで、「日立大樟会」当日は全国から会員が集まります。時の経つのも忘れ、大いに語り、大いに飲み、学生時代を懐かしみ、また明日へのエネルギーを蓄える賑やかな夜であり、この会がいままでも続くよう頑張りたいと思えます。

国代公寛(37)



座談会を兼ねた意義ある会合でした

誰かが知っている古都「京都」。学研都市や先端企業など新しい京都。歴史と先進性の二つの顔を持つ市に、私たちが勤める京都共栄銀行があります。そして銀行に勤める大阪経済大学出身者で結成しているのが、「経友会」であります。日頃全く違う部署で仕事をしているメンバーが年一回集まって、温かな雰囲気の中、有意義

な時間を持っています。大経大出身であることの誇りと、他の大学出身者に負けない闘争心と、同じ学舎で学んだ者同士の結束を深め、情報交換を通して自己啓発に努めています。会員は現在17名、ヤル気のある後輩の入行をお待ちしています。

杉本直士(32)

大樟会の近況



うるさいぐらいに、みんなが話好き

我が大樟会34名の恒例行事である新年会に、今年は母校から上島武学長はじめ3名もの人たちに参加いただいた。我が会のメンバー

川西市役所大樟会

は議論好きで、かしましい。アルコールが入るとなおさらで、歌なしでも3時間近く議論が続く。学長には最後までお付き合いいただき、ほんとうにありがたいことである。会員も口角泡をとばし、母校のこと、職場のことなど忌憚のない意見交換をしている。これが我がグループの明日へのエネルギーかと思う。

毎夏恒例のゴルフ大会も回を重ねて、今年で19回を終えた。会員も歳を経て、定年によるOB会員を出すこととなったが、団塊世代が多い会員は意気ますます盛んである。新しい会員ともども交流を深め、この会を継続していきたい。竹本 勇(35)

企業役員・経験者の座談会

春秋会

今回の春秋会は、東京証券取引所1部上場企業の役員および役員経験者による卒業生座談会で、3月19日に西新宿野村クラブにおいて、鈴木理事長、磯野同窓会長をお招きして行いました(上島学長は所用のためご欠席)。

島圭・高砂熱学(株)常務(ともに18)、井阪健一・東京証券取引所副理事長(19)、松谷嘉隆・国際証券(株)社長(22)、上岡豊晴・北興化学工業(株)取締役(23)、鈴木達郎・ダイエー(株)専務(29)が出席。式村健二・大成建設(株)常務(19)は急用のため欠席しました。

京都共栄銀行の同窓生が集合

経友会

な時間を持っています。大経大出身であることの誇りと、他の大学出身者に負けない闘争心と、同じ学舎で学んだ者同士の結束を深め、情報交換を通して自己啓発に努めています。会員は現在17名、ヤル気のある後輩の入行をお待ちしています。

杉本直士(32)

## 悠々自適ながら 陶芸と地域の振興に 情熱を燃やす

唐津焼中野窯4代目  
中野陶痴(末正)氏(5)



8月8日、日本陶芸界の名門唐津焼の代表的窯元中野先輩を、茶器に造詣の深い南部同窓会副会長とともにお訪ねした。当日は、異常気象の夏ながら快晴に恵まれ、JR唐津駅に降り立つや、まず駅前広場に鎮座する氏作の「唐津曳山像赤獅子」(唐津焼40年の歴史中最大の大きさを誇り、製作期間約1年)をカメラに収めた。

本店・窯場・陳列所を直々にご案内いただいたが、ざつくばらんなお人柄で、当方の幼稚な質問にユーモラスなお答えをいただき笑いが絶えなかった。ただし陳列所に並べられた作品をはじめ、数多

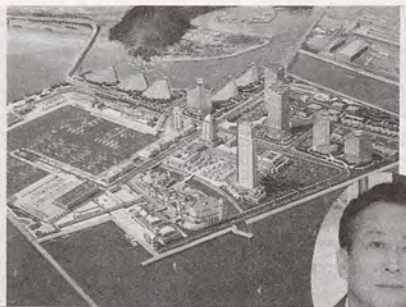


くの作品は陶芸美術館の感があり再度ゆっくり訪問したいと思った。信条は「運・鈍・根」とのことだが、文化人のほか各国大使や芸能人(三船敏郎、フランキー堺など)の訪問も多く、創造の世界に生きる俳優たちとはよく話が合うとのことであった。学生時代はサッカー部に所属し、趣味は神社仏閣(建造物)の鑑賞。二人の息子も後継者となり、優しい奥さんと嫁たちに囲まれ箱書(窯元のサイン)に忙しい日々の中野先輩であった。

唐津出身 77歳。昭和商卒業後帰郷家業に復帰、即、4代目となり今日に至る。唐津焼協同組合初代理事長、ロータリークラブ会員など各地元の諸役を兼務、本学同窓会の佐賀地区代表でもある(波根伸俊記)

## 世界リゾート博 開催に向けて

世界リゾート博協会事務局次長  
西本栄次氏(25)



世界リゾート博が平成6年7月16日から9月25日までの72日間、和歌山マリーナシティ(和歌山市毛見)で開かれようとしている。事務局次長の西本さんは今、和歌山県の売り込みに燃えている。片や、関西新空港の開港時期の問題もあり多忙な日々、その最中の8月26日、常任理事の車野修三・前田悦子氏とともに協会事務局を訪ねた。博覧会のテーマは、21世紀のライフスタイルの変更―余暇から計画的ゆとりへ―を踏まえて、リゾート体験することで「自由時間」を自ら考えるためのものとか。で

## ホットインタビュー

### 第41回二科賞受賞

心齋橋ギャラリー経営  
太田一澄(安昭)氏(17)



夏のある夜、超多忙の太田氏が経営する喫茶店にお訪ねした(ボリウムたっぷりのサンドイッチをごちそうさまでした)。

氏は、大学卒業後、従兄弟であり写真家の川上緑桜氏に誘われ(写壇)地懐社に入会、その年に地懐社の展覧会で入賞、以後同人(役員)となるまで川上氏とともに金賞銀賞を独占する。多忙中にも写真雑誌に応募活動を続け、多数の入賞を果たす。77(昭和52)年に、東大寺管長清水公照氏作品の泥仏を題材とした写真集『夢ぼとけ』(清水公照氏の肉筆入り)を刊行。本年『写真家の夢』といわれる第41回二科会写真部二科賞を受賞。写真とは「何を写すものでもなく、向こうから飛び込んでくるもの」、「空間をどうとらえるか」が大切に「二期一会」、だからこそ写真の評価に自分の存在感は薄いと謙虚に語る。将来は、写真の傍らをはじめ

### 若き町長に期待が集まる

奈良県高取町長  
筒井良盛氏(34)



平成5年1月、奈良県でも4番目に若いという48歳の新進の町長

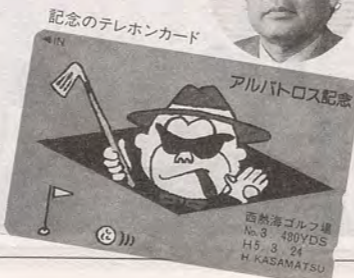


た絵画・書道の展覧会を自分のギャラリーで開きたいと年齢より10歳は若く見える顔をほころばせた。日本カメラ・アサヒカメラなど各社フォトコンテストで入賞多数/ライオンズクラブ国際協会ソーンチエアマン/大阪府飲食業環境衛生同業組合副理事長、ほか多数役員を兼任中/妻一男一女/モットー「誠」/昭和2年10月5日生まれ66歳(藤原広太郎記)

が誕生した。秋のおだやかな一日、高取町役場に筒井氏をお訪ねした。町の玄関口は近鉄の壺阪山駅、壺阪寺で有名なといえは大抵の方がご存知であろう。となりの明日香村とともに古代の歴史ロマンに彩られた町である。町内には二千基におよぶ古墳があつて何を造るにもまず発掘調査からとか。大学には2時間近くかけて通つたという筒井氏は生まれも育ちも高取町、郷土に対する愛着と誇りは人一倍のようで、檀原青年会議所会員時代から地域起こしの活動をされたという。町長になってからというものの超多忙で趣味のゴルフをする間もないと言われるが、働く間は町のために尽くすと忙しさも苦にならない様子。『大道長安に通ず』正道を歩めば事を成せるという言葉を座右の銘として、10年の目標で町の建設に望みたいとのこと。10年たったらまた町を見にきてくださいと言われたのが印象的であった。昭和43年卒業後八光信用金庫、檀原青年会議所会員、高取町議会議員を経て、現高取町長(吉村和利記)

## 話題の同窓生

### アルバトロス達成



重松 尚・同窓会富山支部長(23)は、去る3月西熱海カントリークラブにて、驚異の「アルバトロス」(パー5を2打でイン)を達成されました。

同氏は北陸地方の優良企業、カサマツ株式会社社長として、また富山問屋センター副理事長として経済界で活躍されておりますが、かねてから健康のためのスポーツとしてゴルフにも習熟されております。この度、氏の還暦という節目にあたり、記録的に記念すべきショットをされました。

全国の同窓生のみなさんへお知らせし、お祝い申し上げますとともに、氏の今後のますますのご健康を祈念いたします。

富山支部 高橋

西宮前市長  
八木米次大先輩を偲ぶ



平成4年12月6日朝、西宮市秘書室長進木伸次郎君(33)から八木米次大先輩の訃報が届いたとき、一瞬、眼前が真つ暗になり絶句してしまつた。

11月下旬に病氣療養専念のため、西宮市長勇退を決意され、病身をおしてわざわざ登庁され、涙のあいさつのうちに、後継を託して馬場助役現市長)とガツチリと握手しておられたの……。

第1回卒業生の前西宮市長・八木米次大先輩は、ふるさと西宮を、よく愛され、昭和26年西宮市議会議員に当選、以後、連続8期30年在職。この間議長を8期歴任、市長を通じて40年以上もの永い間、じつよりも住みよよい文教住宅都市・西宮のまちづくりに全力を捧げてこられたのであります。人と人との和を大切にされ、努力と情熱を惜しまず、無類の行動力で優れた行政手腕をいかんなく発揮され、また、温厚で人情味あふれる

お人柄は我々後輩はもちろん、市民からも慕われ、まさに私たちのリーダーとしてかけがえのない人でした。

亡き八木前市長は、「愛の行政」をモットーに我々市民の真の幸せを求めて昭和から平成への永い歳月、全力で市政にとり組んでこられ、多大な業績を挙げてこられました。この残された大きな功績は、今後も21世紀への西宮の発展の礎となつて、ふるさとに脈々と生き続けていくものと思ひます。

ここに故人を偲び、ご冥福をお祈りいたします。

西宮支部長 中山 隆 合掌

鈴木権平氏さんを偲ぶ



本大学評議員 鈴木権平氏さん(5)が、去る9月10日逝去された。

享年74歳。京阪電気鉄道(株)副社長を昭和60年6月まで勤められ、その後、大阪天満橋の大阪マーチャングイズ・マーチの社長として多忙な日々を送っておられた。死因は急性心筋梗塞であった。

終戦後、ニューギニアの密林から九死に一生を得て生還された強運な人だけあって、非常にタフで粘り強い人だった。仕事はいつもベストを求められたが、半面人情味のある優しい、シャイなところもある人だった。

私は「京阪」で長年警咳に接し黒正校長時代のガンバリズムを不言実行され見事に花咲かせた人として、尊敬と親しみをもちお近づきさせていただいた。ここに故人を偲ぶすがとして、心よりご冥福をお祈り申し上げます。

上田 正明(16)

TOPICS

1992年度学生奨学論文受賞作決定

学生諸君の学術研究活動を奨励するための「1992年度学生奨学論文」受賞作が、指定論題2編、自由論題3編、計5編の応募作品の中から、重本直利(審査委員長・経営学部)、松岡憲司(経済学部)、尾嶋史章(教養部)、六浦英文(学会評議員)の4審査委員による慎重審査の結果、次のとおり決定しました。授賞式は1月22日(金)、50周年記念館で行い、大阪経大会から賞状と副賞が贈られました。また、後援会から応募者全員に記念品が贈られました。

- 【入選】
  - 企業集団と資本空洞化 —実質資本コスト発生のかえ方— 経営学部4年 武久 功司
  - 【佳作】
    - 情報化と生活 経営学部4年 石田 亮
    - 情報化社会と労働者 経営学部4年 榎本 章代
    - 「生活小国」から「生活大国」への道は可能か? —「ものの豊かさ」から「心のゆとり」へ— 経営学部3年 小田 ちづる
    - 環境経済学
      - 人間と環境の共生的関係を考える— 経営学部4年 山根 若葉



受賞者の方々。左から武久さん、石田さん、榎本さん、小田さん、山根さん。

ブツク。ギヤラリー

『自失の時代』

伊藤音七郎(6)著  
イトー・フレンス出版部



れども、昭和商での学園生活が基調となつていようだ。前書には、『逆流の時』(昭和62年刊)『少年—遙かなる愛を見つめて—』(平成2年刊)『鬼灯の実るころ—ある横町の情景—』(平成3年刊)いずれも自費出版である。

(川崎 章記)

帰去来兮ノ辞

—帰りにない故郷へ—  
野尻忠正(19)著

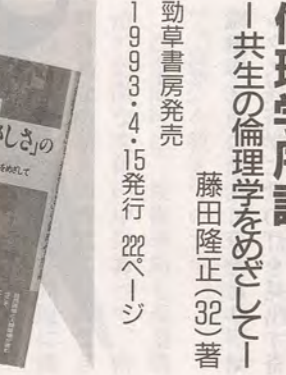


かつて秘境と呼ばれ、独特の山村文化を持つ奈良県十津川村は、日本一広い村としてもよく知られている。

十津川で半生を過ごした著者は、奈良交通副社長を辞し、今また村長として活躍されている。

「分かち合い」と「やさしさ」の

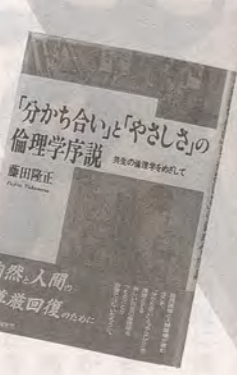
「倫理学序説」  
—共生の倫理学をめざして—  
藤田隆正(32)著



同書は署名の通り「帰りにない故郷へ」の心境を著者の半生と村の歳時記を織りまぜながら語つたものである。著者は十津川村へ寄せる「日本一親切な村・心の原点」と表現している。変わることにない十津川村への強い思いが、この本の主題なのである。

92年・編集工房まほら (吉村和利記)

勁草書房発売  
1993.4.15発行 222ページ



著者は学部では山本晴義教授に、大学院で鈴木亨教授(現理事

長)の指導を受けられた。本書は『大樟論叢』(大阪経済大学大学院刊)に発表した論文に改題・加筆してまとめられたものです。素人の私としては、全編書評することは到底困難。したがってタイトルにひかれて5章を読み、その感想に止めます。

いかにしてヒトから人間へ進化していったかを、チンパンジーと人間を対比しながら、猿人・原人・旧人と段階的行動を倫理的に考察し、我々両者の揚棄(アウフヘーベン)に到達する。また、その人間の我汝関係を「分かち合う」関係存在として把握しており、他者の役割を自己の役割へと置換しながら、他者の苦しみを思いやる「やさしさ」の感情として受け入れられる論調が分かりやすく述べられています。

倫理学の原理は、「分かち合い」が生み出した「苦しみ即やさしさ」の絶対矛盾の展開であると結び、先人たちは異なる論説を主張しています。読み進むうち、指導教授たちの雰囲気も漂ってきて、難解な命題も親しく今日の所論にわかりました。

(前田悦子記)

# 北から南から

## 芦屋の岩場

米田(北山)文子(13)

私が3年生の時、1年生に入學して来た男子学生の柴田さん、三原さんの尽力で、それまで途絶えていた山岳部が復活し、私が部長にまつりあげられました。

学舎の外壁に、ザイルを上階から下げてロッククライミングの訓練をして、本番は芦屋の岩場などに掛けた。また冬は比良山へスキーに15名ぐらいで参加するなど、戦中・戦後の青春をとり戻していったのを昨日のように覚えています。

今もなおはしごのぼり、高い木の刈込みが得意なのは山岳部で来たえたお陰かしら。

週1回のゴルフも雨多き昨今、やつとがまんしています。このお転婆さんも早67歳になります。

## 想い出ポロポロ

栗原 眞一(15)

神州不滅の筈だった日本が、よもやの敗戦の8月15日から半年余り。国の将来像は闇の中。マッカーサー元帥の絶対権威に、国民が右往左往の昭和21年春。本校に人生再出発の夢を託した私。同期に軍人が多かったのは、彼らもまた敗戦の精神的絶望からの脱皮を本校に求めたからでしょうか。学内では芭蕉のわびさびを求め、

## 会計実務の感激

持田 英彦(22)

織田作之助に憧れて筆をとり、マルクス経済学に世の灯を見出す奇妙な生活。一方、学外では労組などと連帯して財閥系企業などへ軍の隠匿物資の摘発に乗り込んだ一日。米軍MPの銃に囲まれて、せっかくな戦争で助かった命もこれまでと目を閉じた日の恐怖。遠くにおいて思う故郷のように、わが学生時代は懐かしさとほろ苦さの交錯でした。

私は田舎の商業高校時代に、簿記会計の実務を理屈抜きでたたき

## 職業奉仕

玉津島 順一(23)

卒業して、早36年の歳月が経過しているが、現在は高松(香川県)に帰り、家業の食品製造販売会社を経営しています。

「職業奉仕」は所属する奉仕団体(R.C.)の基本理念で、自分の職業を通じて地域社会に奉仕することを実践することです。

今年7月よりクラブ会長を拝命し1年間、精いっぱい努力するつもりです。なお、香川県支部は、例年7月頃に学長・理事長らをお招きして、父母懇談会・総会、そして懇親会を開催しています。今

## 母校への再会

小野 弘(23)

では約60〜70名の同窓会員が集まり、友好を温めております。母校のますますのご発展をお祈りいたします。

思えば卒業以来三十有余年。吹田は千里山の地に居を構えて20年。そして今年5月、これまた32年にわたって奉職した証券界を定年退職いたしました。

振りかえれば、母校のごく近くに住みながら、ただただ眺めるにとどまってきました。

ところが4、5年前のまだ総務に在籍しておりました頃のこと、当社恒例の近畿地区運動会が例年通り、茨木の野村證券グラウンドで開催され、私もそのスタッフの一員として参加しました。このグラウンドは駐車場が無いので、マイカーで参集する社員やその家族たちは、その上手にあるホンダ運送倉庫広場を利用しておりました。が、先様の作業の都合上、当日は使用不可。あわてふためいて見つけたのが、さらにその上手にある

広場です。助かったと思うと同時にこの大きなグラウンドは、いったい何処の所有地だろうと思いつつ入口にある小屋で尋ねると、なんと経大のグラウンドとのこと。三十何年振りにこんな形で母校と再会するとは……と、感激を新たにしました。

200台前後の車を駐車する場所として、これ以上の所はない、なんとかお借りできますようにと祈る気持ちでした。母校にお願いしたところ、当日はA社にソフトボール会場として貸しているとのこと。そこでA社にお願いして、千里山証券グラウンドをソフトボール会場としていただき、無事当社の運動会を開催することができました。ひや汗をかきながらも幸運に恵まれ、思わぬところで母校のお世話になった次第であります。

## 故鈴木先生へお礼

東 亨(25)

今は亡き鈴木正里先生のゼミのこと。先生は学生の質問に、たとえゼミのテーマとは異なっているとしても、その学生の方に体を向けて丁寧

答えておられました。大学卒業後、私も高校の教師となりました。鈴木正里先生のことを常に思い浮かべながら、生徒との対話に努めてまいりました。お陰さまで、生徒とはいい関係を保つことができました。ありがとうございました。

## 母校に望むこと

柴田 茂嘉(25)

昭和34年に卒業し、郷里の高校で「商業」を教えています。商業高校は、技術革新と産業構造の急激な変化の中にあつて、常に有為な産業人の育成に努めてきました。今さまざまな問題に直面しています。

そのひとつに大学進学があり、高学歴志向によって進学率が高まり、生徒の進路を保証し、商業教育の活性化をはかる努力がなされています。

一方、社会の変化に適切に対応した商業教育として、高資格取得

を目指した実務教育も積極的に実践。そこから、しっかりとした職業観や倫理観をもった魅力ある人材も多く育っています。そして、その者の多くは、商・経学部に進学を強く望んでいるのです。

## 母校への想ひ

藤原 一志(27)

確か昭和35年、体育の古久保先生を中心に、多くの人たちと日本アルプスに登ったときである。まづ上高地に入り、一日かけて徒歩で濁沢(からさわ)に行き、テントを張ったのである。テントの数は「大経大」名入りが30張り近くあった。各地からの大学名の入ったテントがあつたが、大経大の一番多かった。結束力のある大経大だなぁと思って日本アルプスに向けて胸を張った。何となく日本を勝ち取った思いがした。想い出よありがとう。



まるでタイムスリップしたように思い出しはきたものの、上新庄の駅の周りはずっかり今風の学生街に変貌し、まるで別の場所に立っているようでした。でも私たちマンドリンクラブのたまり場にたっていた某下宿・K荘は当時の姿のままでありました。これには本当に感激させられました。

今の学生はワンルームマンションとかで優雅に暮らしているようですが、当時は3畳とか4.5畳の間に、食べるのが精いっぱい貧乏生活。でも、それなりにみんなでお助け合った楽しい思い出があります。

いろいろな忙しくて学生時代を思い出す機会も少なかったのですが、息子の入学が、再び私たちにそのチャンスを与えてくれました。

勉強は決して頑張ったとはいえないけれど、私たちと同様、息子にはこの4年間に青春時代の思い出をいっぱい詰め込んでほしいと願っています。

今後ともどうぞ息子をよろしくお祈りします。

私のコメント

谷 喜吉(37)

まだまだ時が必要のようです。

つれづれに

宮地 秀憲(46)

今年の就職活動は、不景気を反映して非常にきびしいようです。私が4回生の頃も第二次オイルショックの影響で求人が減り、どの業界も就職競争が激しく、猛暑の中、汗をふきふき会社訪問をくり返したのを思い出します。

私の学生時代はみなさんと同じく、アルバイト・旅行の毎日でした。ただ、真剣に勉強するのはこれで最後になるかもしれないという思いから、卒業論文だけは納得いくものと、図書館で懸命に資料を集めて書き上げたのを覚えています。そして、その内容が会社訪問での面接の話題となり、思わず自分をアピールする結果になりました。

頑張ったことが、このような形で認められ、大学時代のよい思い出となりました。

卒業して22年目のこの夏、仕事に追われている毎日です。庭に植えた山野草や花木に手をかけて気持ちを和らげています。

毎年、家族(5人)で霧ヶ峰高原やアルプスなどの山路を歩き、自然の姿、息吹きを体で見聞きして潤いのある心を再生しています。

とくに霧ヶ峰は、私にとって1年に1度は必ず行かずにはいられない所であり、沢渡にあるヒュッテジャベルは第2の自宅です。同窓の方にもぜひおすすめします。

学生時代回顧

吉川 元嗣(40)

昭和45年、経大入学。おりしも大阪はEXPO'70で大賑わい。学内も全共闘・革マルの立看・アジ演説。落書きの「大阪警在大学」に苦笑する。マルクス経済批判会計学。見るも聞かぬも驚くばかり。奈良の田舎よりタイムスリップ。中国国交のタイミングよく中国語選択。ニーハオ仲間と意気投合。土曜の午後は「虹の街」へ。走れコートロー、帰ってこないヨッパライ、燃えたドラゴン…。なにげ

芝生の上での時間

藤戸 秀夫(47)

卒業して12年、国の地方出先機関に就職して、四国内を4回転動。現在は徳島に住んでいます。

大学時代で思い出すのは、芝生の上で友人たちとたわいのない話題で、のんびりと時を過ごしたことです。一見、無駄に思えるこの時間も私にとっては、貴重な気持ちの原点となっています。

ただ大学のことで残念に思うのは、経大の知名度が低いことです。山椒は小粒でもピリリとするように、存在感のある大学になることを期待しています。

貴重な4年間

渡辺 真一(49)

大学を卒業して、早10年が過ぎました。私が大学進学を志したのとは、今の職業(教師)に就きたいと思っただけです。

大学時代、私はクラブ活動をしななにかわりに、『大阪府立青少年海洋センター』という所で、ボラティアのキャンプリンターを利用していました。海洋センターを利用す

なく取った教員免許が生活の糧。母校にバックターン。甲子園目指して監督生活十数年。「ともに汗」「ともに感動」、いまだ青春中。全国と同窓生で高校野球に関わっておられるみなさん、一度機会があれば、奈良商業高校野球部とお手合わせを!

厄年

外村 公一(41)

卒業して早ふた昔。厄年も過ぎ、今年の後厄、体力の衰えは感じながらも「厄」なんて関係ないと思っはいたものの、バレーボールの試合でアキレス腱をブツツン。現在入院2週間目、暇な時間をどう過ごそうかと悪戦苦闘しています。そして、あと一カ月の特別休暇(?)をどうするかと、現在思案中。

厄年前後のみなさん、御払いよりも、運動するときは準備体操をくれぐれもお忘れなく。関係ないけれど、横浜ベイスターズの有働ガンバレ!

私の大学4年間は、この活動に没頭しました。今の私があるのは、この活動で得たさまざまな技術や経験が糧となっているからです。今、振り返ると、貴重な4年間だったと思います。

私の栄養剤

渡辺 圭一(52)

卒業とともに名古屋へ赴任してから、バブルの崩壊や政権の交代など、世の中は激しく変化しました。

日々の生活に追われ、世間の変化を十分感じることもないまま暮らす私ですが、そんな私の一服の栄養剤が、母校の後輩(とくに体育系)の活躍を知らせる新聞記事です。これは大阪を離れ、各地に生活する者にとって、母校をリアルタイムに感じさせてくれるものです。

どうか在学中の学生のみならず、より一層の活躍によって、全国の新聞で経大パワーを広めてくださ

Stepping Out Now!

西田 孝子(43)

昨年、経営情報学科の夏期セミナーのため、卒業以来初めて経大キャンパスを訪ねましたが、キャンパスとその周辺の変わり様には驚くばかりでした。

さて、私は現在、阪神間を中心に文化交流と国際相互理解を目指すボランティア団体「サークル・オッペ」の活動をしています。設立されたばかりの団体であるのと、仕事をもちながらの活動ですので、なかなか大変ですが、多方面の方々のご協力で、なんとか運営されています。

「外国語としての日本語」研究会や外国人によるレクチャーなどの活動をしています。当面の目標は、レベルアップされた日本語教師の養成と在日外国人との文化交流です。この活動ができるのはクラブ(ESS)とゼミ(岩井ゼミ)では資料として英文雑誌を使用)で、勉強した英語と樽本先生ににごかれ(?)学んだ中国語のお陰でしょう。

遅ればせながら、経大で培われた種が芽を出してきたようです。しかしながら、収穫までには、ま

大学でのオアシス?

島田 みどり(54)

このような題をつけましたが、経大を砂漠であると思っていたわけではありません。人は街のいろんな所でオアシスをつくっています。喫茶店、レストラン、そして映画館や美術館も街のオアシスのひとつでしょう。これらの場所には本来のオアシスが提供する「水と木陰」にかわって「コーヒー」があり、「ごちそう」があり、「絵画」があるということになるのでは

私にとっての経大でのオアシスは図書館でした。コーヒーはありませんが、図書があります。ひとり静かに、あるいは気の合った友人たちと本や雑誌を媒介しながら、日頃の教室とは異なったスペースとしてよく利用していました。街のオアシスも魅力的です。しかし、それ以上に大学には学生時代、大げさな言えば青春時代にしか味わえない魅力があります。仕事柄、会議などで「経大」の

お知らせ～事務局

本部役員一覧表

役職	氏名	卒回
会長	磯野 斉	3
副会長(組織部担当)	南部 俊一	9
〃(財務部担当)	玉岡 浩	12
〃(支部長会幹事担当)	太田 一澄	17
〃(広報部担当)	松本 義和	18
〃(総務部担当)	水納 敏也	25
事務局 局長	陰下 嘉典	16
参与(広報部担当)	前田 悦子	13
参与(財務部担当)	上野満里子	14
〃(組織部担当)	打出 清	20
〃(財務部担当)	鶴谷 利一	28
〃(財務部担当)	平尾 哲男	28
組織部 部長	車野 修三	27
〃 副部長	森 政彦	33
総務部 部長	津秋 靖博	29
〃 副部長	福元 輝雄	37
財務部 部長	中村 敏啓	31
〃 副部長	大西 健介	35
広報部 部長	波根 伸俊	32
〃 副部長	神田 博	30
(以上 常任理事)		
名誉 会長	渡辺 達好	3
〃 顧問	山上 善彦	2
〃 〃	比企 重	7
〃 〃	萩原 市郎	10
〃 〃	桑津 昇	11
〃 〃	長尾 晃	8
〃 〃	中村 美智子	13
〃 〃	植村 祐三	32

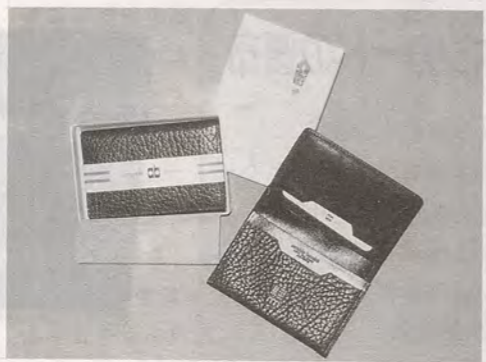
記念品販売のお知らせ

平成5年度同窓会総会の際、参加者に配布する記念品として、何方にもご利用いただける「経大」マーク入りの洒落た「牛革製の名刺入れ」をつくりました。

会員の好意で製造されたもので、数量に限りがありますが、格安価格で販売しています。(写真参照)

ご希望の方は、同封の振込用紙で同窓会事務局までお申込みください。販売価格 1コ ¥1,000

但し、売り切れの節はご容赦ください。



大阪経済大学で得たもの

山下 倫弘(55)

卒業して早4年が過ぎました。私も多くの経大生の例にもれず、ほとんど学業はほったらかしでした。しかし大学生活4年間で得たものは、アルバイトを通して見た実社会の仕組みであるとか、人づきあいの上でのマナーであるとか、形に残らない、いろいろな経験でした。

そして、4年間を通してつきあってきた友人も、社会に出てからの大きな財産であることを知りました。同様に在校中は面識もなかった先輩方の指導もあって、現在の自分があることに感謝する今日この頃です。

学生時代はそう思わなかったが、大経大で学べたことは、私にとって今後ますます大きな意義を持つのではないかと思っています。先輩方・後輩諸君のご活躍を期待しております。

「山」から教えられる

吉村 昌巳(56)

私が学生時代に出会えたものの

中で、最も大きな影響を受けたのは、やはり「登山」であった。山登りを通じ、いろんな人たちと出会えたし、普段の生活では味わえないようなことも体験することができた。しかし、そこにはいつも「登山」に対する私の真剣な態度があったことはいうまでもない。だからこそ、「山」も私にいろんなことを教えてくれたのだと思う。「誠意ある人には、誠意で答える」これが、私の人生の教訓である。

新しい未来へ

高山 務(58)

経大を卒業して早1年、まだ慣れない仕事に悪戦苦闘の毎日を通しております。

在学中、活発に活動していた日々がとても懐かしいのですが、忙しい毎日を過ごしているせい、卒業して1年しか経っていないのに、そうした日々が何年も前のことのように思えて不思議な感じがします。

大学を卒業して早1年、社会に出てまだ1年。時には楽しかった学生時代を思い出しながら、これからの新しい自分の未来を築いて

「澱江」購読料のお願い

「自らの購読料で、『澱江』を育てよう! 1,000円にご協力を」を合言葉に、昭和59年度からスタートしました澱江購読料は、お陰さまで深いご理解とご協力をいただき、感謝いたしております。

われわれ編集子一同は、この力強いご声援に応え、親しまれる『澱江』を目指し、一ふんばり、二ふんばり頑張っておりますので、引き続き購読料へのご協力のほど、よろしくお願いいたします。(ご送金は、同封の振込用紙をご利用ください。郵便局、三和銀行本支店をご利用になれば振込手数料は不要です)

今、私は...

岡崎 真也(58)

同期生のみなさん元気にやっていますか。卒業して早いもので一年半がたちました。仲の良かったクラスメイトも、東京や鹿児島へとバラバラになり、会う機会もめっきり少なくなりました。

私は、就職して岡山に配属となり、社会の現実に直面して悪戦苦闘の毎日です。建設関連業はとももきびしい状態です。

のんびりと過ごした学生時代を懐かしく思う今日この頃です。

皆さんにご投稿いただいたテーマ

- ★学生時代のエピソード (忘れえぬ思い出)
- ★母校で得た私の財産
- ★あなたの余暇は?
- ★母校に望むこと
- ★その他

異動のあったときは たちにご連絡ください。

- 住所変更 ●呼称変更
- 勤務先変更 ●所属部課
- 役職異動 ●電話番号変更

などの場合は、同封してあります「名簿作成調査表」をご利用のうえ、本部へお届けください。

とくに、官公庁、金融機関、損保関係、国公立学校にご勤務の会員のご協力をお願い申し上げます。

コンピュータシステムの 名簿をご利用ください。

同窓会会員名簿は、現在、同窓会独自でシステム化したコンピュータによる管理体制を採用しておりますので、

- 1、郵便番号による都道府県
- 2、市町村別会員名簿作成
- 3、卒業回数別会員名簿作成
- 4、クラブ別会員名簿作成
- 5、業種別会員名簿作成
- 6、封筒用漢字ラベル作成

などのアウトプットが可能です。

平成4年度版(平成5年3月発行)  
同窓会名簿を販売しています。

新名簿を販売しています。  
ぜひ購入して有効に活用してください。

〈収録概要〉

- ◇第1回卒業生より第58回卒業生(平成4年3月卒業)
- ◇創設時より平成4年3月までの大学院の卒業生

〈価格〉

◇一冊 ¥6,000 (送料込み)

〈申し込み方法〉

◇郵送振込

◇銀行振込

いずれの場合も同封の払込用紙をご利用ください。

(注)郵便局または、三和銀行本支店をご利用になれば払込手数料はいりません。

ただし、三和銀行本支店以外の銀行をご利用の場合は、払込手数料が必要ですのでご了承ください。

◇現金書留  
送付先/〒533  
大阪市東淀川区大隅  
21218  
大阪経済大学同窓会  
名簿係宛

〈お問合せ先〉

◇大阪経済大学同窓会事務局  
☎06・328・2431代



記念テレホンカードの頒布

経営情報学科の開設を記念して、新学舎をデザインしたテレホンカードをつくりました。ご希望の方は、同封の振込用紙で同窓会事務局までお申し込みください。

(価格 1枚/¥800)

「卒業」「成績」証明書等の申し込み方法

卒業生の皆さん、各種証明書をお申し込みされる場合は、日数に十分な余裕をもって、左記の要領でお申し込みください。特に、英文による証明書には学長のサインが必要のため、10日以上余裕をもってお申し込みください。

なお、電話による申し込みは間違い等ございますので、取り扱っておりません(母校教務部より)。  
①来学して申し込みの場合  
所定の用紙で申し込んでいただくと、約10分でお渡しいたします。

(手数料1通につき100円)  
②郵便で申し込みの場合  
氏名、生年月日、卒業学部(1・2部の別)、卒業年度、証明書の種類、必要枚数を記入したメモと、切手(手数料同右、送料62円)を同封のうえお申し込みください。

なお、お急ぎの場合は速達料金(210円)を追加してください。  
③英文による証明書の場合  
右記②と同様です。ただし、手数料が1通200円となります。なお、パスポートに記載の英字氏名を明記してください。

編集後記

▼引き続き激動の1993年でした。母校で学んだことを思い起こし、会員諸氏のご健闘を祈ります。

▼本年度は同窓会、母校とも役員改選が行われました。輝かしい母校の70周年を迎えるべく建学精神の再考が期待されます。

▼支部活動はますます活発ですが、職域、業種等、より一層の組織活動を模索し同窓会本部にご連絡ください。

▼「会員名簿」の購入、「淀江購読料」へのご協力をお願いします。

▼「淀江」編集スタッフとしては絶えず「これで良いのか」と自問自答しています。忌憚ないご助言、ご意見をお寄せください。

▼末筆ながら、多数のご投稿ならびに取材にご協力いただいた方々に心より感謝いたします。

学歌

作詞 秋本吉郎  
(元本学教授)  
作曲 柴田南雄  
(放送大学教授)

1. 大淀の 水は春ゆく  
ゆたかな春だ  
芽立つ葎原 緑が沁みる  
この若さ  
希望は明るい 蒼穹かけて  
永遠の青春 みなぎる学園  
大阪 大阪経済大学
2. 大樟の 蔭は裕々  
夏風そよぐ  
学徒師弟が 幹負いもちて  
諸汗に  
確かと植えた 融和の象徴  
繁れ自由の 花さく学園  
大阪 大阪経済大学

学園歌

作詞 黒正 巖  
(昭和高商初代校長)  
作曲 水野康孝  
(元本校教授)

1. 商都の東北<sup>てんこう</sup>澱江に  
臨みて高く聳り立つ  
我等が昭和学園は  
産業日本を双肩に  
担うて進む若人の  
力の糧の<sup>かて</sup>玄野原
2. 一千余年の其の昔  
大隅の宮の在りませし  
聖き跡の学園は  
忠孝日本を心肝に  
銘して学ぶ若人の  
教えの道の<sup>もとしるべ</sup>元標
3. 黒煙天をひた蔽い<sup>おほ</sup>  
船車どよもす<sup>はちまた</sup>八衛を  
静かに臨む学園は  
科学日本の究明に  
生命を注ぐ若人の<sup>そのふ</sup>  
心の花の咲く園生

逍遥歌

作詞 中村行男 (16回卒)  
作曲 松川圭一 (15回卒)

1. 比叟 城北に迎えたる  
紺碧<sup>こんぺき</sup>淀の春の夢  
惜春の賦のただよえば  
薰風静かに流れ来て  
逝きし苦節の十余年  
歴史は吾等に教うなり
2. 水や濁れる人の世に  
真理求めて遊ぶ子の  
友愛久遠に変わるまじ  
汝が悲しみに我は泣き  
吾が喜びに君や舞う  
惜しみて励め我が青春を
3. 踏めば<sup>おぐさ</sup>小草も柔き  
弥生の庭に集い来し  
我が学会の乙女子は  
生命<sup>いのち</sup>新たな比の曲に  
花咲く野山<sup>のやま</sup>花の下  
声美しく歌うかな

でんこう  
澱江  
1993

■発行日 1993年12月20日  
■編集 同窓会広報部  
■発行所 大阪経済大学同窓会  
〒533大阪市東淀川区大隅2-2-8  
電話(06)328-2431  
■印刷 凸版印刷株式会社  
〒553大阪市福島区海老江3-22-61  
電話(06)454-3256



經  
市